耳で学ぶ日本語

Mastering Japanese by Ear

わくわく文法リスニング99

指導の手引



Teacher's Manual & Tape Scripts

テープスクリプト付き

小林 典子
フォード丹羽順子
高橋 純子
藤本 泉
三宅 和子

4

んごの
人社

耳で学ぶ日本語

Mastering Japanese by Ear

わくわく文法リスニング99

指導の手引

Teacher's Manual & Tape Scripts

テープスクリプト付き

小林 典子

フォード丹羽順子

高橋 純子

藤本 泉

三宅 和子

にほんごの
BONJINSHA
凡人社

Waku Waku Bunpo Listening 99
Teacher's Manual & Tape Scripts
Mastering Japanese by Ear

by

KOBAYASHI, Noriko, FORD-NIWA, Junko, TAKAHASHI, Junko,
FUJIMOTO, Izumi and MIYAKE, Kazuko

Copyright ©1995 by KOBAYASHI, Noriko, FORD-NIWA, Junko, TAKAHASHI, Junko,
FUJIMOTO, Izumi and MIYAKE, Kazuko

ALL RIGHTS RESERVED. No part of this publication may be reproduced and distributed in any form or by any means, electronic or mechanical, retrieval system without permission in writing from the publisher.

Published and distributed by BONJINSHA CO., LTD. 1-3-13 Hirakawa-cho, Chiyoda-ku, Tokyo 102 Japan

Printed in Japan

ISBN 4-89358-309-3

ま　え　が　き

本書は『わくわく文法リスニング９９』のワークシートとテープを使って指導する先生方が、指導の参考になるよう、制作者の立場から気がついたことをまとめたものです。

この教材は文法項目を正確に聞きとる練習が中心になっている教材で、１文１文を正確に理解することを目的としています。文法のポイントを耳で学習し、聞きなれることをねらっています。あるまとまった内容のものを聞いて、全体の要旨をとらえるという練習ではなく、短い文や対話を１つ１つ正確に聞きとる練習です。取り上げた文法項目は、初級から中級の入口といったレベルのものです。 文法の提出順序や語彙は『Situational Functional Japanese』(VOL.1-3)に準拠しています。話し方の速度は最初の方の課では少しゆっくりですが、全体に自然な速度のものを録音してあります。したがって、音がくずれて聞きとりにくい場合もありますが、何度も聞かせて、この速さに慣れさせることが大切だと思います。絵を多く使うことによって、わかりやすく楽しくなるよう、また、教室練習の場合にはワークシートを切り取って教師が集められるよう、工夫してあります。

１．精密に聞きとる積み上げ練習

自然な速さで流れてくる日本語を、その速度で理解していかなければならないのが現実の聞きとりです。聞きとり練習には次の２つのタイプの練習方法が必要だと考えます。

①内容を大まかに把握する練習
②細部に注意を向けた精密な練習

わからない部分が多少あっても、そこで止まらずに、キーワードを聞き逃さないようにして全体の意味を把握する練習が必要であると、一般に言われています。私達の受け持つ聴解授業でもこのような練習を行っています。これは①のタイプの練習です。

しかし、語彙を手がかりに、文の意味をつかむことに必死で、文法に注意を払わないような学習者は、大きい誤解をしてしまうこともよくあります。文の構造を正確に把握していなければ、正しい理解に至ることはできません。

そこで、②のタイプで、文法項目の聞きとりを強化し、学習者のより正確に聞きとる能力を育てたいと、この教材を作りました。

2．文法を知る→文法リスニング→文法がわかる→よく聞けるようになる

文法項目を学習したあとに、この聞きとり教材を使ってください。練習問題の1つ1つの文の意味を考えて解答をしていくうちに、その文法項目の意味が見えてきます。その結果、よく聞けるようになっていきます。よく聞けるようになると、さらに文法がよくわかってきます。このようなサイクルで、何度も練習することを勧めます。

制作者はそれぞれの練習問題を実際に行ってみて、その練習が、目的にかなった効果を引き出す聞きとり行動を要求しているかどうか、全ての問題について吟味しました。つまり、解答するために集中して聞きとらなければならない学習目的部分が、文全体の意味を左右する聞き分けのポイントとなるような問題作りを心がけたつもりです。また、学習者に使ってもらいその意見も反映するようにしました。

3．日本語学習を始めたばかりの人にも、かなり続けている人にも

この教材は日本語の勉強を始めたばかりの人にも、200～300時間勉強した人にも適しています。それぞれ以下のような使い方ができます。

①日本語の勉強を始めたばかりの人の場合

学習した文法項目の聞きとり練習を選んでします。教師は、使用されている文法項目が既習かどうか、未習語彙はないかどうかを、この指導書の目次、及び教科書対応表(該当する教科書を使用の場合)、スクリプトなどでチェックしてください。解答作業にあまり関係のない部分の未習語彙は無視できますが、そうでない未習の語彙がある場合は、あらかじめ教えてください。

学習者は文法説明やドリルで理解していた文法項目に、単に聞きなれるだけではなく、この練習問題に集中することで、その文法的意味をより深く理解できるようになるでしょう。

②200～300時間勉強した人

初級文法の総復習になります。初めの方の課は話し方の速度もゆっくりですから、や

さしすぎるかもしれません。知識はあるが聞きとりは苦手という人に最適です。後半はかなり速くなります。自然な速度の日本語を聞くと同時に、意味をとらえ、問題に答えていくうちに、文法項目の確認もでき、速い話し方の聞きとりにも慣れてきます。学習者は教室以外での日本語の聞きとりにも自信がもてるようになるでしょう。中級レベルの学生の復習テキストとして使えます。

4．練習方法で注意すること

クラス活動として一斉に利用してもいいし、ＬＬ教室や自宅での個人学習で利用するのもいいでしょう。

時間割の中で、どのように扱ったらいいかは、対象の学生によっても、コースによっても違ってくると思います。１課分をすませるのに、通常のクラス活動の５～10分をこれにあてるという方法もいいですし、また、これを利用して文法を確認したり、発話練習をしたりして、じっくり時間をかけても有意義です。聞いているうちに、自然な速さにも慣れますから、継続していくことが大切です。

練習にあたって、次のことに注意してください。

①何を聞きとることが目的なのか、よく理解してから練習を始めます。

②いろいろな解答形式がありますから、まず解答用紙をよく見てやり方がわかってから、テープを聞きはじめます。予測問題などは、先に解答の文を読んでから始めます。また、絵は状況理解の一助となるものではありますが、文化背景の違いから、制作者の意図どおりに学習者が受け取らない場合もおこり得ます。学習者の反応を見ながら、絵の意味についても確認してください。

③例で、練習方法を確認してから始めてください。

④録音テープは解答を書き込む時間を十分に取っていないので、解答するときはテープを止めるといいでしょう。

⑤問題の途中に入っているビーッという信号音（ビープ音）は、そこでテープを止めて解答する合図です。（スクリプト上では▼がビープ音を示します。）

⑥１つの文、または、１つの対話を聞いただけで、状況を把握するのは、難しいものです。未習の語彙が１つでもあると、理解できなくなります。したがって、使用語彙は初級レベルでよく使用されているものに限り、状況がわかりやすいように配慮しました。それでも、学習者によっては理解しにくい問題があるかもしれません。そのような場合は、教師が状況理解を手伝ってください。この教材で使われている場面は日本です。また、大学での会話も多いです。例えば、「国に帰る」というのは、「日本から自分の国に帰る」という意味です。語彙（研究室、コンパなど）や場面などは必要に応じて解説をしてください。

５．『指導の手引』の構成

『指導の手引』には以下のものが含まれています。

①「指導の手引」

各課について＜学習目的＞と＜指導の留意点＞が書いてあります。練習する文法項目、語彙（必要に応じて）、指導のポイントがわかります。

②「スクリプト」

テープスクリプトには、学習者にも利用できるようにふりがながつけてあります。教師は指導の前に、語彙や文法を確認するために利用してください。また、テープの話し方の速度が学習者にとって速すぎる場合は、スクリプトを読み上げて練習するといいでしょう。

③「解答」

解答は、この本のほかにテープパッケージの中にも入っています。

④「他教科書との対応表」

使用者が多いと言われている教科書との対応表をつけました。利用できる方は利用してください。

目次

まえがき……　i
1　指導の手引……　1
2　スクリプト……　59
3　付　録……177
あとがき……199

1

指導の手引

1　中山さんはがくせいです

「～は～です」

学習目的

「～は～です」に聞きなれる。

留意点

学習者は、a．b．c．の中から正しいものを選ぶだけですが、「～は～です」という文を聞きなれると同時に、「AはBです」は「A＝B」であることを、目でも確認させます。

練習は3つの部分に分かれていて、以下のような文を聞きます。

Ⅰ.「○○さんはAです」

Ⅱ.「○○さんはAのBです」　練習1.～3.ではBの部分を選び、練習4.5.ではAの部分を選びます。

Ⅲ.「○○さんのAはBです」　練習1.～3.ではAの部分を選び、練習4.5.ではBの部分を選びます。

「これ／それ／あれは～です」は取り上げず、「○○さん（の～）は～」という文のみにしてあります。語彙も、以下の名詞のみです。

> 学生、留学生、先生、友達、大学、国（日本、イギリス）、
> 専門（経済、化学、教育）

「は」「の」の位置は混乱する場合があるので、「～は～です」という構造を理解させることが大切です。なお、学習者は解答する際にひらがなを読まなければならないので、練習の前に読んで選択肢を確認しておくといいでしょう。また、習得の早い学習者には、答え合わせをする際に文を再生させるといいでしょう。　（スクリプト➔61ページ）

2　中山さんはせんせいじゃありません

「～です」「～じゃありません」

学習目的

「～は～です」「～は～じゃありません」に聞きなれる。

留意点

「AはBです」は「A＝B」、「AはBじゃありません」は「A≠B」であることを、聞

きながら目でも確認させます。

「〇〇さん／先生は～です」という文を聞きます。語彙は、以下の名詞です。

学生、留学生、先生、友達、日本人、大学、日本、イギリス、経済

習得の早い学習者には、答え合わせをする際に文を再生させるといいでしょう。

さらに、クラスのメンバーの名前を使って文作りをするのもいい練習です。

（スクリプト➜61ページ）

3 サリーさんの国もイギリスです

「～の～」「も」

学習目的

「は」「も」「の」の使い方の違いがわかる。

留意点

テープを聞きながら（　　）の中に「は」「も」「の」を入れる練習です。

「～は～です」「～の～」「も」を学習したばかりのとき、例えば、「ジョンさんの国はイギリスです。」を「ジョンさんは国のイギリスです。」のように、「の」「は」「も」の位置をまちがえることがあります。練習をしながら、助詞に注意することが構文を捉えることになることを気づかせるようにしてください。「の」「も」は母音がどちらも［o］なので混乱する人がいます。語彙は、以下の名詞です。

学生、留学生、先生、友達、大学、国、カナダ、イギリス、専門、教育

（スクリプト➜62ページ）

4 25、205、250

すうじ

学習目的

数字（1の位から万の位まで）が聞きとれる。

留意点

数字の聞きとりは文法項目の聞きとり練習ではないのですが、初級の学習者には難しいので取り上げました。また、日本語の音になれるのにもいい練習です。

練習の際、次のことに気をつけてください。

①位取り　学習者は数字の位取りに失敗しがちなので、解答用紙では、混乱しやすい数字をグループにまとめて、位取りの聞きとりのコツが次第につかめるようにしてある。

②発音　300（さんびゃく）、600（ろっぴゃく）、800（はっぴゃく）、3,000（さんぜん）など百、千、の音、4（よん）、600（ろっぴゃく）、800（はっぴゃく）、8,000（はっせん）の下線の音に注意させる。

③いちまん　10、100、1,000　は「いち」を言わないが、10,000は「いちまん」と言う。

（スクリプト➜63ページ）

5　100円です

ねだん

学習目的

店でのやりとりの中での値段が聞きとれる。

留意点

「いくらか」という質問に対する「○○円だ」という答えの言い方では、店でよく使われる自然な表現がそのまま使ってあります。そのために「4,560円でございます」、のようなまだ勉強していない表現もあるかもしれません。しかし、数字を正しく聞きとるのがこの課の目的なので、値段を書きこむことに集中させます。値段に集中しながらも、「～です」、「～になります」、「～でございます」、という言い方にも次第に聞きなれるでしょう。また、「ええと」「あのう」などもこの課で初出です。

説明を求められた場合や、余裕のある場合は次のような説明をしてもいいでしょう。

①「いくら」は丁寧な言い方ではなく、「いくらですか」「おいくら」「いくらでしょうか」の方が丁寧である。

②「○○円でございます」は、店の人の言い方。合計して全部の値段を言うときは、「全部で○○円になります」という表現をよく使う。

（スクリプト➜63ページ）

6　だれといきますか

「だれ」「どこ」「なに」「いくら」「なんまい」

学習目的

「だれと」「どこで」のような＜疑問詞＋助詞＞を聞いて意味がわかる。

留意点

学習の初期の段階では、疑問詞は難しい項目の１つです。ここでは、１人の人が述べたことに対して、もう一方の人が「だれと」「どこで」「なにを」「なんの～」「いくらの～」のような質問をしています。学習者は疑問詞と助詞に集中して聞いて、すぐ答えられるようにします。練習の前に解答用紙の選択肢を読んで確認してから始めるといいでしょう。

「だれと」「なんの本」のようなくだけた会話の中では、省略された形で疑問文になることを説明するといいでしょう。

ここで使う動詞は以下の４つです。

行く、買う、見る、勉強する

（スクリプト➜65ページ）

7 きのうよみましたか

「～ます」「～ません」「～ました」「～ませんでした」

学習目的

「～ます、ません、ました、ませんでした」の形で話されている10の動詞を聞いてわかる。

留意点

ここで扱う動詞は以下のものです。

見る、聞く、行く、来る、帰る、読む、書く、買う、出す、勉強する

学習者は絵を選ぶことに集中しますが､やりながら何度もマス形の４つの形を聞きます。習得の早い学習者には①と②に同時に注意を払わせます。

①過去か、非過去か（「きのう、あした、毎日」の語彙を確認させる)。
②肯定か、否定か（「はい、ええ、いいえ」がヒントになる)。

「テレビを見ます｣､「新聞を読みます｣のようにすると､「テレビ｣や｢新聞｣が助けになって絵を選ぶことになるので、ここでは動詞に集中させるように補語は省略した形になっています。

練習の前に絵を確認してから始めるといいでしょう。日本語の会話では、質問に答えるとき相手が言った動詞をこの練習問題のように繰り返すということも指摘します。例えば「行きましたか」の答えとして「はい、そうです」というのは不適当であり、これは名詞文のときにだけ使えることを注意しておくといいでしょう。　（スクリプト➜66ページ）

8 四人です

助数詞「〜つ」「〜人」「〜名」「〜枚」

学習目的

助数詞を聞いてその表すものと個数がわかる。

留意点

ここで取り上げたのは4つの助数詞だけですが、それが何を数えるものか、またその個数がわかるようになる練習です。

「何名」に対して「〜人」と答える場合（練習1.）や「7人（ななにん）」を「7人（しちにん）」と確認したり（練習6.）、「4つ」なのか「8つ」なのか聞き返す場面（練習7.）もあります。まちがえやすいものなので注意を促すとよいでしょう。

「すみません」の「み」の音は「い」と発音されることが多く、ここでもそのように発音されていますから、スクリプトも「すいません」と書いてあります。

（スクリプト➜68ページ）

9 ともだちにとけいをあげました

授受動詞(1)「あげる」「もらう」「かす」「かりる」など

学習目的

誰から誰に物（事）が移動する（した）かという授受動詞の基本的な方向を捉えることができる。

留意点

この練習では最後の動詞まで聞かないと矢印が入れられません。同じ「〜に」でも、「あげる」か「もらう」かによって、物（事）の移動の方向が異なることを、よく確認してください。

「が格」はすべて主題化して「〜さんは」にしてあり、「私は」の場合は省略して、言っていません。ワークシートには「（わたし）」と書いてあります。「〜は」がないときはそれが「私は」であることを、はじめに確認してください。

ここで取り上げる動詞は以下のものです。「貸す」「借りる」は混乱する学習者が多いので注意してください。

あげる、もらう、貸す、借りる、教える、習う、(手紙を)書く、出す

＊「くれる」は使っていません。 (スクリプト➜69ページ)

10 田中さんはきってをかいました

助詞「を」「へ」「に」「で」＋動詞

学習目的

助詞「を」「へ」「に」「で」を聞いて、次に来る動詞が予測できる。

留意点

助詞の違いによって次に来る動詞の種類が違うことに注意させます。助詞の聞きとりは注意が不十分になりがちですが、これを確実に聞くことで、先が予測できることに気がつくでしょう。練習13.〜15.の「〜は」は「を格」であることに注意してください。

ここで使用する語彙は以下のものです。

名詞	国、うち、鉛筆、新聞、銀行、テレビ、大学、すし、本屋、日本語、はがき、図書館、漢字
動詞	行く、来る、帰る、勉強する、読む、見る、食べる、出す、書く、貸す、教える、習う、もらう

テープでは答えを選ぶ時間が十分ではないので、読むのが遅い学習者にはビープ音でテープをいったん止めるといいでしょう。 (スクリプト➜70ページ)

11 でんわがあります

「あります」「います」

学習目的

「が格」を聞いて「います」「あります」が選べる。

留意点

「います」と「あります」の区別は日本人には易しいことですが、学習者にとっては実

際に使い分けるのは難しいようです。練習はⅠ.とⅡ.に分かれています。Ⅰ.では、が格を聞いて「います」「あります」を予想します。Ⅱ.も同様の形式ですが、「Aに　Bが　います／あります」と「BはAに　います／あります」の2種類の文を使っています。こちらの方が学習者は難しく感じるでしょう。どれが「が格」か（Bのところ）をよく聞いて選ぶように指示してください。「Aに」のところには、「机の上に」など「～の～」の言い方も入っています。この言い方になれていない学習者には、ここでは「が格」をよく聞くように指示してください。

「います／あります」の選択問題をしているうちに、この構文に聞きなれるでしょう。

（スクリプト➜71ページ）

12　へやの中に男の子がいます

位置(1)

学習目的

「～にいます」「～にあります」の文の中にある人や物の位置がわかる。

留意点

「～の～に～が　あります／います」の文の中にある位置の言い方に注目させます。ここで取り上げる位置の言い方は以下の通りです。

～の　　中、上、下、右、左、前、後ろ、近く、となり

位置の表現「～の～」の語順は、学習者の母語とはかなり異なる場合があるので、理解に時間のかかるところです。「～は　～の　～に　あります／います」という文も実際にはよく使いますが、ここでは位置の言い方が目的なので取り上げていません。ここで注意してほしいのは、「テレビの右／左」という言い方です。テレビに向かって右／左であって、テレビから見て右／左ではないことを確認してください。

（スクリプト➜73ページ）

13　でんわはかいだんの近くにあります

位置(2)

学習目的

位置の表現がわかる。

留意点

Ⅰ.とⅡ.の2つに分けて練習します。Ⅰ.は電話の場所をたずねる会話、Ⅱ.は建物などの場所をたずねる会話です。Ⅱ.では、例の答えを見て、どこにいるのか基準になる地点を確認してから始める必要があります。答えには位置の言い方「～の中／上」等が含まれているので、そこをよく聞くように指示してください。Ⅱ-2.3.の「デパートの右／左」という言い方について、第12課と同様の注意をしてください。この練習で使用している質問の文は「～はどこでしょうか／どこにありますか／ありますか／ありませんか」などで、答えの方は「(～は) ～に　あります」「～です」を使って変化を持たせました。未習の語が入っていても、答えの方をよく注意して聞くように指示します。前の練習に続いてここでも以下にあげる位置の表現が聞きとれることがポイントです。

～の 中、上、下、右、左、前、後ろ、近く、となり

(スクリプト➔73ページ)

14 きく、たべる、くる、する

動詞の辞書形

学習目的

動詞の辞書形の音を聞いて意味がわかる。

留意点

この練習は、質問－答えの形式で辞書形の音を二度聞かせ、その意味を表す絵を選ばせます。二度聞くことにより、まだ辞書形になれていない学習者には、マス形から辞書形を考える時間を与え、辞書形になれてきた学習者には、聞きながら定着させることをねらっています。ここでは以下の動詞を使っています。

使う、泳ぐ、開ける、乗る、寝る、消す、入る、 待つ、出す、教える、注文する、あげる

練習の前にまず絵を見る時間を与え、どのような動詞が使われているかを考えさせるといいでしょう。補語をつけるとその助けで絵を選び、動詞そのものに注意を向けない傾向があります。そこで、この練習ではあえて補語をつけていません。(スクリプト➔75ページ)

15 かいてください

動詞の「て」形(1)

学習目的

動詞のテ形の音を聞き取り、その表記がわかる。

留意点

この練習の中心は、促音、撥音、長音の違いを聞き分け、表記の違いもはっきりわかることにあります。自然な発話では、濁音と清音の違いや母音の違いも聞きとりにくいものです。この聞き分けは文法項目の聞きとりではありませんが、学習者の母語によっては、中・上級のレベルになってもできないことがあるので、早い時期から練習させるといいでしょう。この練習で正解となる動詞は以下のものです。

する、食べる、帰る、使う、起きる、買う、飲む、来る、 消す、読む、待つ、出す、行く、書く、すわる

また聞き分けには音だけではなく、アクセントの違いに注意する必要があることを理解させます。同じ読み方でも、アクセントの違いで意味がまったく変わります。この練習ではそのような例はありませんが、時間の余裕があれば、例をあげて説明するといいでしょう（例えば練習 10. の「読んでください」の「よんで」は、アクセントが違うと「呼んで」の意味になります）。

（スクリプト ➜ 75 ページ）

16 どうぞたべてください

動詞の「て」形(2)

学習目的

「～てください」の表現に聞きなれ、意味がわかる。

留意点

ここでは、命令や依頼の「～てください」の表現に聞きなれ、すぐに意味がわかるようにします。使っている動詞は以下のような基本的なものばかりです。

飲む、買う、乗る、教える、消す、開ける、入る、勉強する

まず、絵を一通り見て、どのような動作を表すものかをつかんでから、練習を始めるといいでしょう。 （スクリプト➜76ページ）

17 お金がありませんからかいません

理由の「〜から」

学習目的

「AからB」という、理由を表す「〜から」を使った文で、「Aから」までを聞いてBの内容が予測できる。

留意点

「AからB」の「Aから」の部分だけを聞いてBを予測させます。Aの部分が理由でBに話者の意向や依頼表現が来ることをつかませます。学習者の中には、母語の影響からBが理由と考える人もいます。さまざまな内容の「〜から」を繰り返し聞くことによって「から」の前には理由が来ることを理解させ、「〜から」の後に続く表現を選ぶ練習を通して「AからB」の前後のつながりをつかませます。習得の遅い学習者にはテープをいったん止めて選択肢を選ぶ時間を与えるといいでしょう。 （スクリプト➜76ページ）

18 あたらしいです

形容詞(1)

学習目的

形容詞（活用形）を聞いて、意味がわかる。

留意点

形容詞のさまざまな形（肯定・否定、過去・非過去を、あらたまった言い方・くだけた言い方で）を聞いて、すぐに意味と結びつけられるようにします。ここでは単語のみを聞きます。

練習は2つの部分に分かれていて、Ⅰ.では「新しいです」のような肯定、非過去のあらたまった言い方のみを聞きます。Ⅱ.では「新しくなかった」などくだけた言い方も含めて、肯定・否定、過去・非過去のさまざまな形を聞きます。

使っている形容詞は以下のものです。

高い、安い、新しい、古い、おもしろい、おいしい、難しい、 簡単だ、重い、軽い、うるさい、静かな、長い、短い、きれいだ、 大きい、小さい、いい、有名だ、便利だ

（なお、否定形を示すために、つまらない、まずい、きたない、悪い、の絵もあります。）

絵は抽象的にしてあるので、練習に入る前に絵を見て形容詞の確認をするといいでしょう。

（スクリプト➜77ページ）

19　日本語はむずかしくないですね

形容詞(2)

学習目的

形容詞文を聞いて、その意味がわかる。

留意点

形容詞を文の中で聞いて、すぐに意味と結びつけられるようにします。形容詞は肯定・否定、過去・非過去、あらたまった言い方・くだけた言い方になっています。

使っている形容詞は、以下のものです。

高い、安い、新しい、古い、おもしろい、おいしい、難しい、 簡単だ、重い、軽い、うるさい、静かな、長い、短い、きれいだ、 大きい、小さい、いい、有名だ、便利だ

（なお、否定形を示すために、つまらない、まずい、きたない、悪い、の絵もあります。）

絵は18課と同じ絵なので、解答用紙をまちがえないようにしてください。同様に、抽象的にしてあるので、練習に入る前に絵を見て形容詞の確認をするといいでしょう。

（スクリプト➜78ページ）

20　うちへ帰ってべんきょうします

継起の「～て」

学習目的

継起を表す「～て～」を聞いて、２つの動詞の意味がわかる。

留意点

2つの動作が連続して行われる場合、「A(動詞)て、B(動詞)」になります。2つの動作を一度に聞いてから絵を選ぶので、1つずつ聞いて反応するのでは間に合いません。文全体の意味を理解しなければならないことに注意させてください。

この練習では同じ絵を何回も選ぶことがあります。

習得の遅い学習者には、絵を見て動詞のテ形を復習してから、聞きとり練習に入ってください。また、必要があれば、「〜(動詞)て」は文末の動詞のテンスやムードなどと同じであることを注意するといいでしょう。 (スクリプト➜79ページ)

21 へやでお茶を飲みました

「で」「に」

学習目的

助詞「で」「に」を手がかりにして、次に来る動詞を予測する。

留意点

先を予測することは、聞きとりにおいて大変重要です。ここでは助詞「で」「に」に焦点を当てて、どのような動詞が次に来るかに注意させます。

ここでの「で」「に」は、以下の使い方のものです。

＜場所＞で 動詞(動作:食べます、勉強します、.....)
＜場所＞に 動詞(存在·移動:います、あります、入ります、.....)

「＜場所＞で・に」までを聞いて、次に来る動詞を予測する(選ぶ)練習で、助詞に注意して聞く習慣をつけることをねらっています。

練習8.〜10.では、「が格」以外が主題化しているので、少し難しいかもしれません。必要があれば、説明してください。

①練習8.「メッセージを」が主題化して「メッセージは」となっています。
「ここにメッセージを書いてください」→「メッセージはここに書いてください」

②練習9.「バスに」が主題化して「バスは」となっています。
「東京駅でバスに乗ります」→「バスは東京駅で乗ります」

③練習 10.「この本を」が主題化して「この本は」となっています。

「図書館でこの本を借りました」→「この本は図書館で借りました」

テープでは「<場所>で・に」の後、答え(動詞)を選ぶ時間が十分ではないので、読むのが遅い学習者には、ビープ音でテープをいったん止めるといいでしょう。

(スクリプト➔79 ページ)

22 何時ですか

時刻

学習目的

聞いた音と時刻が結びつけられる。

留意点

練習は 2 つの部分に分かれています。

Ⅰ.は「ふん」と「ぷん」の対照です。10 分、20 分、30 分、などの場合は「ぷん」、5 分、15 分、25 分など 5 分が後につくものは「ふん」の発音になることを学習者に気づかせてください。

「じゅっぷん」「じっぷん」と両方の発音が録音してあります。

Ⅱ.はⅠ.で取り上げなかった数字が末尾に来るものです。 (スクリプト➔80 ページ)

23 10 時からです

時刻＋「から」「まで」「に」「ごろ」

学習目的

～時、～時半、～時～分のような時刻と、時刻を表す助詞「から」「まで」「に」「ごろ」を聞いてわかる。

留意点

時刻の聞きとりと同時に、助詞にも注意を向けなければできない問題です。また「何時からですか」「何時に行きますか」のような質問文をたくさん聞きます。解答の→や○などの印の確認をしてから始めてください。時刻は、学習者が聞きまちがえやすいものが選んであります。

4 時（よじ)、9 時（くじ)、10 分（じっぷん／じゅっぷん）などの音にも注意させてください。

必要があれば、問題のｂ．ｇ．はくだけた言い方で、親しい友だちどうしの会話であることを指摘するといいでしょう。
（スクリプト➜81ページ）

24　5月3日

日にち

学習目的

○月○日のような日にちを聞いてわかる。

留意点

1日（ついたち）2日（ふつか）3日（みっか）4日（よっか）5日（いつか）6日（むいか）7日（なのか）8日（ようか）9日（ここのか）10日（とおか）14日（じゅうよっか）20日（はつか）24日（にじゅうよっか）のような言い方に聞きなれさせます。4日と8日、3日と6日など混同しやすいので注意してください。始める前に学習者に言わせて確認しておくといいでしょう。
（スクリプト➜82ページ）

25　ちょっと休みたいです

「〜たい」「〜たくない」

学習目的

「〜したい」のか、「〜したくない」のかが、その動詞の意味とともにわかる。

留意点

練習問題は2つの部分に分かれています。Ⅰ．では、「〜たいです」「〜たくないです／〜たくありません」を聞き分けて、したいのか、したくないのか、文末に注意を集中しながら聞く練習です。Ⅱ．では、「〜たい」「〜たくない」を聞きながら、動詞の意味もすぐに分かるようにします。Ⅱ-1．はあらたまった言い方、Ⅱ-2．はくだけた言い方で、同じことを言っています。くだけた言い方は、家族や、上下関係のない友達どうしで使うことも確認してください。

また、Ⅰ．では、「〜たいです」「〜たくないです」と言っているのが、Ⅱ．では、「〜たいんです」「〜たくないんです」「〜たくないんだけど」等と、「〜んです」も使われています。

練習の前に、絵の動詞の意味を確認してから始めたほうがいいでしょう。×印のついたものは、否定の意味を表しています。

この課で使っている動詞は、以下のものです。

飲む、買う、休む、行く、帰る、すわる、会う、使う、働く、あげる、寝る、読む、練習する、旅行する、予約する、相談する、お願いする

（スクリプト➜82ページ）

26 あたまがいたいんです

「～んです」

学習目的

「～んです」を聞いて、どのような状況で使われているのかわかる。

留意点

「～んです」に無頓着な学習者が多いようです。きちんとした使い分けがあること、「んです」と言うのと言わないのとでは、かなり表現意図が違うということを聞きとらせます。練習するうちに、「～んです」がどのようなときに使われているのか、次第につかめるようになっています。「～んです」の機能には理由や事情の説明（例1.練習1.3.4.6.8.10.）、驚いてする確認（練習12.）、また、会話の切り出しによく使う「～んですけど」（練習7.）などがあります。一方、「～んです」を使っていないのは（練習2.5.9.11.）で、単に、肯定か否定か答えている場合です。

「普通体＋んです」という形は、ナ形容詞、名詞のときには、「病気なんです」のように「～なんです」となることにも注意させます。時々この「なん」を「何」とまちがえる学習者がいます。

練習3.と10.は男の人がくだけた言い方、女の人がていねいな言い方をしています。この場合、男の人の方が目上だと考えられます。

練習では、最初に、「んです」が入っているかどうか、集中して聞かせ、その後で、入っていない場合と比較して、違いに気づかせるようにします。そのためには会話の意味、状況がよくわかるように、指導する必要があります。男の人がどんな質問をしたのか、その内容を確認するといいでしょう。

（スクリプト➜84ページ）

27 ここには入らないでください

「〜ないでください」

学習目的

「〜ないでください」を聞いて、その意味がわかる。

留意点

動詞のナイ形の聞きとり練習で、「〜ないでください」を聞いて、意味（絵または動詞のナイ形）と結びつけられるようにします。

練習は２つの部分に分かれていて、Ⅰ．では「〜ないでください」を聞いて、その動詞のナイ形を書きます。Ⅱ．では「〜ないでください」を聞いて、絵を選びます。補語をつけると、その助けで絵を選ぶ傾向があるので、あえてつけていません。使っている動詞は以下のものです。

練習Ⅰ．	帰る、行く、来る、乗る、立つ、言う、待つ、見る、死ぬ、買う、寝る
練習Ⅱ．	入る、書く、消す、話す、捨てる、閉める、止める、遅れる、使う

必要があれば、練習の前に絵を見ながら、ナイ形の確認をするといいでしょう。

（スクリプト➔85ページ）

28 えんぴつで書いてもいいですか

「〜てもいい」

学習目的

許可を求める表現を状況から予測し、適切な動詞のテ形を選ぶことができる。

留意点

これは先を予測する練習です。許可を求める文を途中まで聞いて、後続の動詞を文脈から予測し、正しいものを選ぶことができるようにする練習です。練習６．では、「クレジットカード」ということばを確認してください。

習得の遅い学習者の場合は、例について絵を見て先に許可を求める表現を確認してからテープを聞かせるのもいいでしょう。

使っている動詞は、以下のものです。

書く、消す、つける、使う、返す、帰る、借りる、貸す、来る、 行く、入る、払う、習う、もらう、押す、置く、聞く、する

（スクリプト➜86ページ）

29 すわってもいいですか

「～てもいいですか」「～ないでください」

学習目的

絵の状況から適切な許可を求める表現とそれを禁止する表現を予測し、その表現が選べる。

留意点

各練習問題は「～てもいいですか」に対し、「いいえ、～ないでください」という会話になっています。

学習者は絵を見て、どんな状況で、これからどんな文を聞くのか、ある程度予測できます。音のまぎらわしい動詞、あるいは意味を取り違えやすい動詞などが出てきますが、正しいものを選ぶためには、正確な発音、知識が必要だということに気づかせてください。予測を意識化するため、事前によく絵の状況をつかむよう指示をした方がよいでしょう。

習得の遅い学習者の場合は、個々に解答用紙に記入する前にクラス全体で答えを予測してから始めてもいいでしょう。

使っている動詞は、以下のものです。

吸う、すわる、する、住む、起きる、つける、 開ける、入る、消す、貸す、閉める、すてる

（スクリプト➜87ページ）

30 あいています

状態の「〜ている」

学習目的

絵に描かれている状態の「〜ている」を聞いて選べる。

留意点

絵の示す状態とテ形を使った表現が結びつけられるようにする練習です。「開いている」「ついている」といっても様々な状況が考えられます。例えば、かばんが開いていたり、ドアが開いていたりします。学習者の中には母語の影響から「ついている」と「開いている」、「消えている」と「閉まっている」を混同しがちの人もいます。このような点を考慮して練習を作りました。

習得の遅い学習者の場合は、練習の前に絵を見てテ形を使った表現で言ってみてから始めてもいいでしょう。

ていねいな言い方「〜ています」と、くだけた言い方「〜ている」「〜てる」が混ぜてあるので注意してください。

この練習で使われている動詞は以下のものです。

開く、閉まる、つく、消える、落ちる

（スクリプト ➜ 88 ページ）

31 しっていますか

「〜ている」「まだ〜ていない」

学習目的

会話文の中で「〜ている／ていない」の形が使われているかどうかが聞き分けられる。

留意点

「〜ている」「まだ〜ていない」が使われているかどうかを聞き分けられるようにすることが目的です。男女の会話を聞きます。男女それぞれの話の中に「〜ている／ていない」の形が使われているかどうかを聞き分けます。スクリプトは「てない／でない」、「てる／でる」のように「い」の落ちた形で発音されているように表記してあります。

きょう、あした、きのうなど時間が特定されている場合は、「〜ます／ました」が使われ

ています。そのことに学生が気づくかどうかに注意してください。

「知っている」の否定形は「知らない」で、「知っていない」にはならないこと、肯定形は「知ります」ではなく「知っています」になることに、学生の注意を促してください。

この課もていねいな言い方とくだけた言い方の両方が使われています。会話を聞いてどのような人間関係なのか想像させるといいでしょう。

（スクリプト➜89 ページ）

32　車をもっていますか

「〜ている」「〜ていない」

学習目的

会話文の中で「〜ている／ていない」の形が使われているかどうかが聞き分けられる。

留意点

第 31 課「知っています」と同様に、会話文の中で「〜ている／ていない」の形が使われているかどうかが聞き分けられるようにすることが目的です。今回は少し長めの会話文を聞きますが、答え方の形式も同じです。会話の意味がよくわかっているか確認してください。文脈のつかみにくいものもあります。特に、練習 8．の「国」というのは「アリさんの国」のことで、話している人もアリさんも通常は日本に住んでいるという設定です。

（スクリプト➜91 ページ）

33　先生はいつ日本にいらっしゃいましたか

尊敬語(1)不規則形

学習目的

尊敬語の不規則形を聞いて意味がわかる。

留意点

ここでは、先生と学生の会話を聞き、学生が使用している尊敬語を聞いて、その動詞の辞書形を書きます。学生が先に話すので、聞き逃さないように指示してください。練習の前に［　　］の中にあげた動詞を見ながら、尊敬語を言ってみるといいでしょう。どれも不規則な形ですが、特に意味が複数ある尊敬語、例えば「いらっしゃる」（いる、行く、来るの尊敬語）があることに注意させてください。これらは文脈によって判断しなければなりません。

ここで取り上げる尊敬語は以下の通りです。

いらっしゃる（いる、いく、くる）、
めしあがる（たべる、のむ）、
おっしゃる（いう）、
ごらんになる（みる）、
なさる（する）、

（スクリプト➜92ページ）

34 先生はすぐいらっしゃいますよ

尊敬語(2)不規則形

学習目的

尊敬語の不規則形を聞いて意味がわかる。

留意点

この会話では、学生と事務室の人が先生について話しています。先生は話していませんが、こうした場面でも尊敬語は使われます。このことを知らない学生がいるので、練習の前に説明してください。この練習も始める前に［　　］の中にあげた動詞を見ながら、尊敬語を言ってみるといいでしょう。特に意味が複数ある尊敬語、例えば「いらっしゃる」(いる、行く、来るの尊敬語)があることに注意させてください。これらは文脈によって判断しなければなりません。ここで取り上げる尊敬語は以下の通りです。

いらっしゃる（いる、いく、くる）、
めしあがる（たべる、のむ）、
おっしゃる（いう）、
ごらんになる（みる）、
なさる（する）

（スクリプト➜93ページ）

35 おなかがいたいんです

体の部位

学習目的

体の部位を表す語を聞いてどこかがわかる。

留意点

ここは体の部位を表す語を聞き分ける練習です。医者が患者にたずねる会話を聞いて、体の部位を表すことばを確認します。単語は以下の10語です。

頭、手、鼻、耳、お腹、のど、足、歯、腰、肩

練習の前に、絵を見ながら部位の名前を復習すると答えやすいでしょう。「ころぶ」「けが」などはまだ学習してないかもしれません。わからない単語があっても体の部位を表す語に注意を向けて聞くように指示してください。

（スクリプト➜94ページ）

36 かぜをひいたので病院へ行きます

「〜ので」

学習目的

会話を聞いて、その中で示された行為の理由がわかる。

留意点

会話を聞いた後、理由の「AのでB」を使った文を選びます。「AのでB」は、はじめに理由を言って、その結果どうなのかをいう文です。ここでは、会話の中に理由を表す表現「〜んだ／んです」や「〜ので」が入っているので、それをよく聞くように指示してください。それでも、会話を聞いてすぐ3つの文から正しい文を選ぶのは難しい、と言う学習者もいるでしょう。その場合は繰り返して聞かせてください。ここで理由として使われている表現は以下のものです。

かぜをひく、　熱がある、　母が病気だ、　本屋が休みだ、
食欲がない、　暑い、　あした試験だ

（スクリプト➜95ページ）

37 きょうはおそくなると言っていました

「〜と言う」「〜って言う」

学習目的

「〜と言う」が「〜って言う」になる音の変化に惑わされず伝達部分がわかる。

留意点

「〜と言う」の形は、話すとき音が変化しやすいものです。「何と言っていましたか」という文は、話すとき「なんて言ってましたか」「なんて言ってた」「なんてってた」と変化します。答える場合も「〜と言ってました」「〜って言ってた」「〜てってた」「〜って」とさまざまです。「と」が「て」になる音の変化や、それに伴って使われる縮約形は、知らないといつまでも理解しにくい部分です。特に「〜って」で終わる文は、その機能がわかりにくいようです。ここではこうした自然な発音になれることがポイントです。難しそうなら、まず「〜と言う」の形と意味が理解されているのかを確認してください。また、答えのa.からk.までを先に読んで意味を確認してからテープを聞くとよいでしょう。

（スクリプト➔97ページ）

38 小さい、高い、しずかな、げんきな

名詞修飾(1)　「い」形容詞と「な」形容詞

学習目的

イ形容詞とナ形容詞の名詞修飾のしかたがわかる。

留意点

練習は２つの部分に分かれています。Ｉ.では絵を見せて、音声も聞かせます。形容詞を書き込むだけなので、比較的簡単でしょう。II.はテープを聞いて問題に抜けている音があれば書き込む練習です。「うるさい（　）人」のように音が抜けていないものもあります。また、学生がまちがえやすいものも混ぜてあります。例えば、ナ形容詞の中でも、「有名な」、「きれいな」のように「な」の前が「い」で終わっているものは、イ形容詞と混同されがちです。したがって、「きれい本」と思っている学習者は、「きれいな本」を「きれい＋なほん」と聞き違えることもあります。また、イ形容詞でも「おいしい」などのように「い」の前がイ段で終わっていると、最後の「い」はいらないと思ってしまう傾向があります。

なお、「緑」などは言語によっては形容詞の扱いをうけていますが、日本語では名詞であること、そのため名詞を修飾するには「の」が必要なことを理解させます。ここにあげた

形容詞は以下のものです。

暗い、短い、広い、古い、かんたんな、にぎやかな、おもしろい、低い、元気な、有名な、おいしい、静かな、狭い、大きい、きれいな、うるさい

（スクリプト➜98ページ）

39 アメリカのほうが日本より広いです

形容詞の比較

学習目的

形容詞を使って２つのものを比較する場合の比較関係がわかる。

留意点

同じ比較関係を表すのに、「～のほうが～より～です」とも言え、また、「～より～のほうが～です」とも言えます。それだけに、学習が初級の段階ではどちらの方がどうなのかが捉えにくいといえます。練習は２つの部分に分かれています。Ｉ．では全部の文に「～のほうが」が入っています。下の例のa.のように、「ＡのほうがＢ」のＡがもっと「速い／にぎやか／おいしい....」の形であること、語順が変わっても同じ関係であることを理解させます。II．では、「ＡはＢより形容詞」の形です。b.の例のように、Ａがもっと「背が低い／重い....」のパターンで、語順が変わってもこの意味するものは変わらないことを理解させます。II．にはまた、「背が低い／髪が短い....」のように「＜全体＞は＜部分＞が形容詞」の形の文も混ざっています。練習の前に表現を確認しておくといいでしょう。

①　ａ．アメリカのほうが日本より広いです。

②　ｂ．サリーさんは田中さんより背が低いです。

この練習で使った形容詞は以下のものです。

速い、にぎやかな、おいしい、大きい、いい、寒い、高い、便利な、ひまな、おいしい、低い、短い

（スクリプト➜99ページ）

40 もうお買いになりましたか

尊敬語(3)規則形「お〜になる」「お〜ください」

学習目的

尊敬語の「お〜になる」と依頼表現「お〜ください」の意味がわかる。

留意点

尊敬語の「お〜になる」と「お〜ください」を聞いて、もとの辞書形を書く練習です。辞書形にすること自体はあまり難しくありませんが、どのような場合に尊敬語が使われているかを、会話を聞きながらつかませます。例えば、練習２.の「コーヒー、お飲みになりますか」は、相手の意向を聞いていますが、実際にはコーヒーを勧める表現です。また、「お〜ください」はていねいな依頼という形をとりながら勧誘する表現にもなります。例えば練習３.の「どうぞお入りください」は依頼というより勧誘です。「お〜になる」自体も「なる」の部分が変わると（例えば「お〜になってください」「お〜になりませんか」など）さまざまな意味・機能がでてきます。この練習で使った動詞は以下のものです。

待つ、飲む、入る、読む、会う、疲れる、すわる、わかる、書く、聞く

（スクリプト➜100ページ）

41 この家はやねがチョコレートです

「〜は〜が〜」

学習目的

「<全体>は<部分>が....」という文型を聞いて、その意味がわかる。

留意点

「東京は物価が高い」という文型は習得しにくいようで、学習者は「東京の物価は高い」とよく言っています。自分が話せない文型は聞きとりにも失敗します。そこで、この文型を多数聞いて、聞きなれさせ意味の理解も正確になるようにします。

例１.から練習４.までは、「おかしの家」を想像しながら聞かせてください。「おかしの家」が想像できないと、学習者は混乱してしまうでしょう。解答にカタカナ語が多いので、もしカタカナが未習の場合は、先にことばの意味を確認しておいてください。

学習者のそれぞれがどんなおかしの家を作るか、自分の先生はどんな先生か、彼らが住

んでいる町はどんな町か、彼らの着ている服はどんな服かなど、発話活動に持っていくとこの文型がよく理解できるようになります。 （スクリプト➜101ページ）

42 あした雨がふったらへやで勉強します

「〜たら」

学習目的

「AたらB」という文のABの関係がわかる。

留意点

「AたらB」は、Aという条件・状況のもとでBをするという意味を表します。ここでは「〜たらどうしますか」（練習7.〜10.では「〜たらどうする」）という文を聞いて、正しい答えを選ぶことができるようにします。

「（動詞）たら」の中でも「〜なったら」や「あったら」、また否定形の「〜なかったら」は理解しにくいものです。答えを選ばせるだけでなく、「〜たら」の部分でテープを止め、後件を作ってもらうのもいい練習です。

「〜たら」で使っている語彙は、以下のものです。

降る、終わる、ある、来る、いる、なる、ない、暑い、寒い、〜だ

（スクリプト➜102ページ）

43 むずかしいと思います

「〜と思う」

学習目的

肯定か否定かを聞いて、「〜と思う」の接続の形がわかる。

留意点

聞きとりは、ただ音声を聞くのではなく、頭の中にある文法知識を使って聞くことが大切です。この文法知識がまちがっていれば、まちがったように聞いてしまいます。

「〜と思う」は「＜普通体＞と思う」（「高いと思う」「元気だと思う」）ですが、イ形容詞、ナ形容詞、名詞の場合に「だ」の有無のまちがい（「高いだと思う」「元気と思う」）がよく見られます。学習者が「だ」の有無に関してまちがえて答えを選んだ場合、テープで正しい答えを聞くことと、文字で確認することの両方によって、学習することができるで

しょう。くり返し、このパターンの練習を聞くので、１問ごとに解答をしていった方がより効果的な学習ができるでしょう。

読むのが遅い学習者には、テープを止める必要があるでしょう。

（スクリプト➜103ページ）

44 右にまがるとありますよ

条件の「〜と」と道順

学習目的

条件の「〜と」を使った表現に聞きなれると同時に、道順に出てくる語彙、表現がわかる。

留意点

以下のような道順に関する語彙、表現が聞きとれるようにします。練習の前に、これらの意味を確認しておいたほうがいいでしょう。

手前、先、向い、ひとつめ　ふたつめ、右、左、信号、橋、歩道橋、 バス停、交差点、角、公園、まっすぐ行く、右に曲がる、橋を渡る

ここでは、道を教える人が、「あの交差点の手前です。」と言うと、質問している人が「交差点の手前ですね。」と確認するので、重要な部分は二度聞けるようになっています。習得の早い学習者には、確認のしかたにも注意を向けさせるといいでしょう。問題をしているうちに「〜と〜」の構文にも聞きなれてきます。

（スクリプト➜104ページ）

45 はやく帰ったほうがいいですよ

「〜たほうがいい」「〜ないほうがいい」

学習目的

「〜たほうがいい」「〜ないほうがいい」を使った文を聞いてその意味がわかる。

留意点

あらたまった言い方も、くだけた言い方も混ざっています。くだけた言い方をまだ学習していない場合でも、このような自然な会話を聞いて「〜たほうがいい」と言っているのか「〜ないほうがいい」と言っているのかだけに注意すれば、どんなアドバイスをされているのかわかります。

動詞のタ形、ナイ形が定着していないと、意味をつかむのが難しくなりますから、練習の前に、タ形、ナイ形の確認をしておくのもいいでしょう。使用している動詞は以下のものです。

帰る、買う、行く、見せる、使う、起きる、 決める、閉める、開ける、説明する、予約する、注文する

タ形を使う表現のために、過去のことだと誤解している学習者が時々いるので注意しましょう。

（スクリプト➜105ページ）

46 おきてからコーヒーを飲みました

「～てから」「～たあとで」「～るまえに」

学習目的

「～てから」「～たあとで」「～るまえに」を使った文を聞いて、その時間的な順序がわかる。

留意点

動詞のテ形＋「から」、タ形＋「あとで」、辞書形＋「まえに」、という組み合わせを聞いて、その動詞の意味と時間的な前後関係が把握できるようにします。動作が絵で示してあるので、答えは先にする動作に数字の１、後の方に２を入れさせます。練習問題の文は全部「～ました」になっており、過去形ですが、「～てから」「～たあとで」「～るまえに」は時制と関係ないことも指摘してください。例えば、練習２.「バスに乗る前に、お金を払いました」は過去のことを言っていますが、「前に」の前の動詞は「乗る」で、非過去形であることに注意します。

練習の前に、絵を見ながら、動詞の語彙を確認しておくといいでしょう。この課で使われている動詞は以下のものです。

起きる、飲む、見る、書く、読む、（テニスを／電話を／食事を）する、 払う、帰る、勉強する、買う、（たばこを）吸う、開ける、出かける、 入る、働く、開ける、（電気を）つける

（スクリプト➜106ページ）

47 何をしていますか

進行の「〜ている」

学習目的

進行の「〜ている」を使った文を聞いてわかる。

留意点

現在その動作が行われているという進行の「〜ている」の文を聞きます。絵の中の「A」〜「H」のアルファベットが見つけにくいようなので、先にこれを確認させてから始めてください。

テープには「〜ている」の「い」の音が落ちた「〜てる」「〜てます」で収録したものも入っています。

この課で使われている動詞は以下のものです。

（絵を）描く、待つ、歩く、（ギターを）弾く、見る、読む、散歩する

（スクリプト➜107ページ）

48 すずきさんがくれました

授受動詞(2)「あげる」「もらう」「くれる」「さしあげる」「いただく」「くださる」

学習目的

誰から誰に物が移動する（した）かという授受動詞の方向を捉えることができる。

留意点

第9課の授受動詞(1)と同様の解答形式で、（　　）に←／→を書きます。この練習では、山田さんとサリーさんの会話を聞いて、誰から誰に物が移動する（した）のか、矢印を書きます。山田さんとサリーさん以外の第三者も出てくるので、解答用紙の人名をよく見て練習を始めるように注意してください。

練習4.は「鈴木さんがくれたセーターなんです」と、名詞修飾になっています。

練習9.は「このお菓子もらってもいいですか」と、「〜てもいい」と共に使われています。

（スクリプト➜107ページ）

49 山田さんが行ったきっさてんです

名詞修飾(2)

学習目的

会話の内容を理解して、名詞修飾に使われている動詞の形を聞き分け、正しい名詞修飾文が選べる。

留意点

最初に会話を聞いて次に説明文を聞きます。説明文の名詞修飾部が「行った喫茶店」なのか「行く喫茶店」なのかというような「〜る」「〜た」「〜ている」に注目する練習です。そのためには、会話全体を理解する必要があります。習得の遅い学習者には、練習の前に例を使って「行きました」「行きます」のどちらが使われているかに注意するように指示してください。絵を見て名詞の確認をしてから始めるといいでしょう。

ここで使われている動詞は以下のものです。

行く、借りる、読む、見る、作る、住む、会う、くれる、あげる

（スクリプト ➜ 108 ページ）

50 駅前でバスをおります

助詞＋動詞

学習目的

助詞「が」「を」「で」「に」を聞いて動詞が予測できる。

留意点

これは助詞を聞くことで、次に来る動詞を予測しながら聞く練習です。

助詞「が／を」と自動詞・他動詞の使われ方、「を／に」と移動動詞の使われ方などに注意を払わせましょう。例えば「電気が」の後は「消えた」「ついた」などの自動詞が続きますが、「電気を」の後には、「消す」「つける」のような他動詞がきます。「まっすぐ行くと、橋が」の後には、「ある」が続くはずだし、「まっすぐ行って、橋を」の後は「渡る」という動詞が予測できます。

ここで使われている動詞は以下のものです。

行く、呼ぶ、会う、見る、相談する、歩く、渡る、
見つける、書く、貸す、読む、もらう、(きれいに) する、
(高く/少なく) なる、消える、消す、ある

(スクリプト→110ページ)

51 田中さんが日本語をおしえてくれました

「〜てもらう」「〜ていただく」など

学習目的

「〜てもらう」「〜ていただく」などを聞いて行為を受けた人がわかる。

留意点

ここでは、「〜てもらう」「〜てあげる」「〜てくれる」「〜ていただく」「〜てさしあげる」「〜てくださる」を使った文を聞いて、どちらがその行為を受けたかを答えます。「〜てくれる」「〜てくださる」のときは、自分が受け手になります。まだこれらの言い方がよく理解できない人には「＜物＞をもらう」「＜物＞をあげる」「＜物＞をくれる」の文をもう一度復習させてください。

(スクリプト→112ページ)

52 サリーさんは漢字が100読めます

可能形

学習目的

動詞を聞いて、可能形かどうかがわかる。

留意点

ここでは可能形かどうかを聞きとることが目的です。練習の前に、ここに出てくる動詞の可能形が言えるかどうかを確認するといいでしょう。ここに出てくる動詞は以下のものです。

五段動詞	会う、使う、飲む、渡る、帰る、歌う、読む、変わる
一段動詞	食べる、起きる、寝る、着る、止める
不規則動詞	来る

なお、「する」の可能形「できる」はここでは取り上げていません。

（スクリプト➜113ページ）

53 作ってくれませんか

依頼の「〜てもいいか」「〜てくれるか」など

学習目的

依頼文を聞いて、誰が動作をするかわかる。

留意点

「〜てもいいか」「〜てくれるか」など種々の依頼文を聞いて、誰が動作をするかわかるようにします。あらたまった言い方とくだけた言い方を合わせて、依頼文は多様なので、練習の前にバリエーションを確認するといいでしょう。

また、依頼の場合、「〜てもらえるか」「〜ていただけるか」が常に可能形であることに注意を促してください。

ここで取り上げた表現は以下のものです。

話し手が動作をするもの	「〜てもいい」「〜てもいいですか」 「〜てもいいでしょうか」 「〜てもよろしいでしょうか」
聞き手が動作をするもの	「〜てくれる」「〜てくれない」 「〜てくれませんか」「〜てくださいますか」 「〜てくださいませんか」「〜てもらえない」 「〜てもらえませんか」「〜ていただけますか」 「〜ていただけませんか」

なお、練習2.の「ここに送っていただけますか」は、荷物などをここ（この住所）に送ってほしいという状況です。

（スクリプト➜113ページ）

54 食べてみてください

「～てみる」

学習目的

「～てみる」の動詞を聞きとり、その使い方がわかる。

留意点

動詞のテ形の聞きとりは15、16課でも一度学習しましたが、ここでは会話の中に現れる「～てみる」を聞きとらなくてはいけません。会話の中なので状況が見えやすく、そのため「きて」と「きいて」など、単なる聞きまちがいは少なくなるかもしれません。しかし、練習では「～てみる」が男の人が言うのか女の人が言うのか決まっていませんし、どこに出てくるかもわからないので、集中しつづけなければなりません。また、各練習文では「～てみる」以降が次のようにさまざまに変化します。

練習1．	着てみてもいいですか（許可求め）、
練習2．	勉強してみたら（提案）、
練習3．	飲んでみてもいいかな（許可求め）、
練習4．	開けてみるよ（意志）、
練習5．	行ってみたいな（願望）、
練習6．	調べてみますから（意志）、
練習7．	聞いてみてくださいよ（依頼）、
練習8．	使ってみてもいいですか（許可求め）

練習の後で、練習1．は店で買物をしている状況、練習6．は、本屋や図書館での状況だとわかったか確認してみてください。 （スクリプト→115ページ）

55 ふくしゅうをしておきます

「～てある」「～ておく」

学習目的

「～ておく」と「～てある」の使い方の違いがわかる。

留意点

意味を考えながら練習をしていくうちに「～ておく」と「～てある」の意味の違いが理

解できるように作りました。ここで取り上げた「〜ておく」の意味は以下の２つです。

① 将来のために何かの行動をとる（練習１．３．９．10.）。
② 何かの行動の結果としての状態を将来のために保つ（練習４.）。

一方、「〜てある」の表現は、ある行動の結果としての状態を表しています。したがって練習１．２．５．９．のように話し手が過去のある時点でとった行動が現在の状態を作り出している状況では、「〜ておいた」と「〜てある」の入れ替えが可能です。しかし、練習３．４．10.のような将来にとる行動の場合は「〜てある」は使えません。また、練習７．８．のように誰がとった行動の結果かわからないものに関しては、「〜ておく」は使えません。

練習1.と2.はお母さんと男の子の会話です。文脈が捉えられているか確認してください。

練習は会話で使われている「〜てある」と「〜ておく」を聞き分けるだけですが、練習を進めるうちにその使い方の違いに自然に気づいていくことをねらっています。

（スクリプト➜116ページ）

56 映画を見てきました

「〜てくる」「〜ていく」

学習目的

「〜てくる」と「〜ていく」は、どのような動作をすることかわかる。

留意点

「〜ていく」は何かの動作をしてから行くことを意味します。したがって「食べていく」は「食べる」動作を終えてから「行く」ことを意味します。一方、「〜てくる」には意味が２つあり、動作の起点をどこにおくかで意味が変わります。まず、「来る」動作の起点が話し手と同じ場所にあれば、「食べてくる」の意味は「行って食べて、もどって来る」になります。しかし、「来る」動作の起点が話し手と同じ場所になければ、「食べて来る」の意味は「どこかで食べることを終えてから、話し手のところへ来る」ことになります。「〜てくる」と「〜ていく」には変化の意味（例えば「寒くなってきた」など）もありますが、ここでは扱っていません。

自然な発話では、「〜ていく」の「い」が落ちて「〜てく」と聞こえることがあります。学習者はこの「〜てく」を「〜てくる」とまちがえやすいので注意する必要があります。

（スクリプト➜117ページ）

57 だれが来ましたか

「だれが」「だれか」「だれも」など

学習目的

疑問詞＋「か」/「も」と、疑問詞＋「が」/「を」/「へ」などを聞き分け、意味の違いがわかる。

留意点

「が」と「か」の音の聞き分けは、学習者の母語によってはかなり難しいものです。会話形式にしてありますから、相手の答えからどちらであるかのヒントが得られるはずです。また、イントネーションも違います。例１.と例２.を比べて、その違いに注意を向けさせるといいでしょう。また、「だれか」の後では「が」、「を」などの助詞が落ちる傾向があります。

なお、練習9.からは、会話がくだけた言い方になり、縮約形になったり助詞が抜けたりしますから、注意してください。 （スクリプト➜119ページ）

58 本を読もうと思うんだ

「～(よ)うと思う」

学習目的

ヨウ形を聞いて、どの動詞のヨウ形かわかる。

留意点

ヨウ形を聞いて、どの動詞のヨウ形かわかるようにします。また話し手の意志を他者に伝える場合は、「～(よ)う」だけで使うのではなく、「～(よ)うと思う／思っている」の形で使うことにも注意させてください。

使っている語彙は、以下の動詞です。

読む、買う、帰る、使う、着る、来る、やめる、 借りる、いる、会う、寝る、する、言う

「言おう」と「いよう」、「来よう」と「着よう」など学習者がよくまちがえるものがあるので、練習の前に確認するといいでしょう。 （スクリプト➜120ページ）

59 たくさん食べろと言っていました

命令形と「〜(よ)う」形

学習目的

命令形、ヨウ形を聞いて区別できる。

留意点

命令形とヨウ形はとり違えやすいものです。練習では、命令形とヨウ形が、一つの動詞でペアにして提示されているので、比べて聞くことができます。ヨウ形は常に長音であることに注意させてください。

なお、ここでのヨウ形は、勧誘を表す機能です。第58課のヨウ形は、意志を表すもので、機能が異なることを確認してください。

使っている語彙は、以下の動詞です。

食べる、帰る、電話する、やる、聞く、やめる

なお、学習目的ではありませんが、「山田さんは何て言っていましたか」という質問文を何度も聞くことによって、「何て言っていましたか」が耳に残るようになっています。「何て言っていましたか」から「言ってましたか」、「言ってた」まで、自然な話し方で提示されています。この言い方について注意を促してもいいでしょう。（スクリプト➜122ページ）

60 山田さんは田中さんが買った本を読みました

名詞修飾(3)

学習目的

名詞修飾の範囲が聞いてわかる。

留意点

「山田さんは田中さんが買った本を読みました」のように、1文の中に「山田さん」と「田中さん」という2人の人が常に出てきます。名詞修飾の中では「〜さんが」となりますが、主節では「〜さんは」であることを確認してください。また、名詞修飾は1つのまとまりで話されることに気づかせてください。練習するうちにイントネーションの特徴になれて、簡単に聞けるようになってくるでしょう。（スクリプト➜123ページ）

61 音楽を聞くのが好きです

「〜の」「〜こと」

学習目的

「〜の」「〜こと」を使う場合と使わない場合がわかる。

留意点

「〜の」「〜こと」を使う場合の文と使わない場合の文が同じ述語でペアにしてあります。2つを比較しながら聞くことによって、意味の違いを理解させてください。

練習 11.「〜病気なのを知っていますか」は「〜の」の前の接続の形に注意させてください。確認のために、この文を再生させるのもいい練習となるでしょう。

以下の述語を使っています。

「〜のが好きだ／上手だ」	「〜のは難しい／有名だ」
「〜のを見る」「〜のが聞こえる」	「〜のを待つ／知っている」
「〜は〜ことだ」	

（スクリプト➜123ページ）

62 写真をとってほしいんですが

「〜たい」「〜てほしい」

学習目的

依頼しているのか許可を求めているのか聞き分けられる。

留意点

会話の中で「〜たい」または「〜てほしい」のどちらが使われているかに注意し、依頼をしているのか、許可を求めているのかわかり、最終的にその動作をするのが誰なのかわかるようになるための練習です。男の人と女の人の会話を聞いて、その動作をする方を選びます。動作をする人は、依頼文なら聞き手、許可求めの文では話し手であることをつかませてください。練習 4.は結婚を考えている男の人と女の人の会話です。これは依頼の表現ですから、女の人が、男の人の両親に会うというように単純に捉えて下さい。

（スクリプト➜124ページ）

63 さいふをとられたんです

受身形(1)

学習目的

受身形が使われているかどうか聞き分けられる。

留意点

同じ動詞で受身形が使われている文と使われていない文とがペアで出てきます。受身文とそうでない文を対比することによって、受身文の動作をする人が誰かをはっきりさせようという意図からです。時間の余裕がある場合は、「誰が～しましたか」というような質問で内容理解のチェックをしてみてもいいでしょう。

ここで使われている動詞は以下のものです。

捜(さが)す、なくす、取る、頼む、ほめる、誘う、踏む、言う、笑う

（スクリプト➜126ページ）

64 先生にしかられたんだ

受身形(2)

学習目的

受身文を聞いて、どの動詞の受身形が使われているのかがわかる。

留意点

受身形を聞いてどの動詞が使われているのかがわかるためには、文全体の把握が必要です。様々な受身文になれさせることがこの練習のねらいです。受身文で使われる頻度の高い動詞が出てきます。練習11.の「捨てられた」は、女の人にふられたという意味、練習12.の「笑われた」は嘲笑されたという意味だとわかっているか確認してください。

ここで使われている動詞は以下のものです。

しかる、取る、誘う、壊す、頼む、ひく、 ほめる、盗む、招待する、捨てる、笑う

（スクリプト➜128ページ）

65 サリーさんは先生に呼ばれました

受身形(3)

学習目的

受身文かそうでないかを聞き分けて動作をする人が誰かがわかり、文全体の意味がつかめる。

留意点

受身形(1)(2)で練習した段階をさらに進めた練習です。学習者は、受身形が使われているかどうかを判断し、誰が誰に対しての行為なのか選びます。習得の遅い学習者には受身形の場合、「(人)に」など、に格が動作主であることに気づかせることが大切です。

この課で使われている動詞は以下のものです。

呼ぶ、ほめる、誘う、しかる、断わる、頼む、踏む、 笑う、(写真を) 撮る、起こす、注意する、割る

(スクリプト ➜ 129 ページ)

66 田中ともうしますが

謙譲語(1)不規則形

学習目的

謙譲語の不規則形を聞いてその動詞の意味がわかる。

留意点

ここでは、先生と学生の会話を聞きます。学生と先生なので、謙譲語は常に学生の方が使うことになります。謙譲語の動詞が表している動作は、話し手自身の動作です。ここでは学生の動作を表す動詞の謙譲語を聞いて、その動詞の辞書形を書きます。学生が先に話したり、先生が先に話したりしますが、学生のことばに注意して謙譲語を聞きとるように指示してください。この練習を始める前に [　　] の中にあげた動詞を見ながら、その謙譲語を言わせてみるといいでしょう。ここで取り上げる謙譲語は以下のものです。

もうす（言う）、いただく（食べる、飲む）、まいる（来る、行く）、
おる（いる）、お電話する（する）、うかがう（聞く）、
拝見する（見る）、お目にかかる（会う）

（スクリプト➜131ページ）

67 その荷物お持ちします

謙譲語(2)規則形「お～します」

学習目的

謙譲語の規則形を聞いてその動詞の意味がわかる。

留意点

ここでの会話には「お～する」「お～します」「お～しましょう」という謙譲語の規則形が出てきます。それらを使った会話を聞き、その辞書形を書かせる練習です。「お～する」などの「～」の部分によく注意して聞くように指示してください。会話を聞いてどんな場面なのか想像させることも大切です。練習5.の「お送りする」は、女の人が自分の車を持っていてその車で駅まで送るという意味であることがわかっているか、確認してください。

ここで取り上げる動詞は以下のものです。

持つ、　待つ、　つける、　手伝う、　渡す、
入れる、　送る、　聞く、　会う、　電話する

（スクリプト➜132ページ）

68 本をおかりしました

尊敬語と謙譲語

学習目的

尊敬語または謙譲語を聞いて、その動詞の意味がわかる。

留意点

ここでは会話ではなく文を聞きます。その文の動詞が先生の動作なのか学生の動作なのかを考える練習です。文の中には、尊敬語の規則形や不規則形、謙譲語の規則形や不規則形が使われています。動詞が尊敬語か謙譲語かで、どちら側の動作かがわかります。尊敬

語の場合は先生がしたことになり、謙譲語の場合は学生がしたことになります。ですから、尊敬語と謙譲語を聞いてわかるかどうかがポイントになります。できなかったら、もう一度敬語を復習させてください。

ここで取り上げた尊敬語と謙譲語は以下のものです。

尊敬語	お借りになる、お休みになる、いらっしゃる、めしあがる、お持ちになる、いらっしゃる、おっしゃる、お書きになる、お話しになる、出席なさる
謙譲語	お借りする、お貸しする、お会いする、お電話いたす、おる、お持ちする、お送りする

（スクリプト➜133ページ）

69 もう京都へ行ったかどうか聞きました

「〜かどうか」「〜か」

学習目的

「〜かどうか」と「〜か」を使うときの使い分けがわかる。

留意点

例で提示したように、聞く内容が「はい／いいえ」で答えられる疑問文のときは「〜かどうか」を使い、疑問詞のある疑問文のときは「〜か」を使います。ここの練習では使い分けの理由がわかればよいので、「〜かどうか」があるかないかの違いで答えます。練習そのものは簡単ですが、「〜かどうか」と「〜か」の使い方の違いを練習をしながら確認させてください。

ここで取り上げた疑問詞は以下のものです。

いつ、どこ、どんな、だれ、どうやって、何

（スクリプト➜134ページ）

70　五百円しかありません

「〜しか...ません」

学習目的

「〜しか...ない」という否定の形で終わる文の意味がわかる。

留意点

「五百円しかありません」という文を聞いて「五百円がない」とまちがえて捉える学習者の問題は、「しか」と否定形「〜ません」の呼応関係に関する知識があやふやだったりするためですが、「しか」が現れたら必ず「〜ません」など否定形の対応があることに注意させ、意味は「〜だけ...ある／する」になることを徹底させます。

練習 1. と 3. は問題文ではなくて、質問の選択肢 a．b．c．の方に「〜しか...ない」が使われています。

（スクリプト➜ 134 ページ）

71　雨がふりそうです

様態と伝聞の「〜そうだ」

学習目的

様態と伝聞の「〜そうだ」の接続の違いと使われ方の違いからどちらの意味かがわかる。

留意点

様態の「〜そうだ」と伝聞の「〜そうだ」の聞き分け練習です。会話でどちらが使われているかは、内容が理解できればわかるはずですが、「そうだ」の前の接続の形に注意させましょう。特に、「おいしいそうだ」と「おいしそうだ」のように、「しい」か「し」かの聞き分けは難しいです。イントネーションの違いにも充分注意を向けさせてください。

この練習で使った「〜そうだ」の表現は以下のものです。

「おいしそうです」「悪かったそうです」「結婚するそうです」
「はき気がするそうです」「うれしそうです」「行っているそうです」
「話すそうです」「食べないそうです」「きびしそうです」「良さそうです」

（スクリプト➜ 137 ページ）

72 会議は3時からですよ

「～ですよ」「～でしょう」

学習目的

「～ですよ」と「～でしょう」の違いが、発音、イントネーション、会話の流れからわかる。

留意点

「～ですよ」は、自分の方が多く持っている情報を相手に伝える言い方で、「～でしょう」は、自分の持っている情報を確認する言い方です。「～ですよ」と「～でしょう」は、学習者には同じように聞こえることがありますが、全体のイントネーションが違いますから、そこにも注意して聞くように指導してください。また、会話の答えからも、どちらかがわかるはずです。練習を重ねるにつれてこの3点が見えるよう工夫してあります。

（スクリプト➜138ページ）

73 先生はもう帰られました

尊敬と受身

学習目的

尊敬と受身の意味を持つ動詞の活用形を聞いて、会話の場面からどちらの意味かがわかる。

留意点

尊敬と受身の意味を持つ動詞の活用形は同じなので、活用形だけではどちらの意味で使われているかわからない場合が多いものです。この練習では、そのどちらであるかを構文と会話から聞き分けます。テープでは、尊敬／受身の表現は必ず女の人が使うように作ってあります。この練習で使った動詞は以下のものです。

さそう、たのむ、注意する、仕事をする、結婚する 聞く、行く、ほめる、もどる、急ぐ

（スクリプト➜139ページ）

74 あのレストランへ行ったことがありますか

「〜たことがある」

学習目的

「〜たことがある」を聞いて、意味がわかる。

留意点

「〜たことがある」を使った会話を聞きます。あらたまった言い方の「〜たことがありますか」から、くだけた言い方の「〜たことある」まで、さまざまな言い方が入っています。解答用紙では、動詞のタ形を書くことによって、「〜たことがある／ない」という文が完成します。「〜たことが〜」と、タ形であることにも、あらためて注意させてください。

また、余力があれば、経験の回数を表す言い方、「〜度／回、何度も〜ある」「一度も〜ない」にも注意を向けさせてください。

会話にも注意を向けさせ、内容の確認をするといいでしょう。（スクリプト➜ 140 ページ）

75 日本に来るとき買ったんです

「〜とき」

学習目的

「〜るとき」「〜たとき」の違いがわかる。

留意点

「〜るとき」はその動作が未完了、「〜たとき」はその動作が完了した「とき」を表します。

例）日本に来るとき、カメラを買った。→自分の国で買った。
　　日本に来たとき、カメラを買った。→日本で買った。

これは学習者の母語の影響が大きい項目なので、「〜るとき」か「〜たとき」かは主節のテンスとは無関係であって、動作の完了・未完了で決まるということをよく確認してください。

練習の前に、例えば「日本に来るとき〜した」と「日本に来たとき〜した」を比較して、どこでその動作をしたかを確認するといいでしょう。

練習 5. 6. の「とちゅう」ということばがわからない人のために、さし絵が入れてあります。

なお、ここでは「～ているとき」は取り上げていません。（スクリプト➜142ページ）

76 よく読めばわかります

● 条件の「～ば」●

学習目的

「AばB」文の前後のつながりを聞いてわかる。

留意点

「AばB」の文は基本的にはAの条件を満たしたとき、Bが実現されることを表します。練習を通してAとBのつながりがつかめるようになり、学習効果が出てくるように工夫しました。練習5.や7.のように慣用的に使われるものもあります。

なお、習得の遅い学習者には、ビープ音でテープを止めて、選択肢を読む時間や選ぶ時間を与えるとよいでしょう。（スクリプト➜143ページ）

77 どうしたんですか

●「どうしたんですか」「どうするんですか」など●

学習目的

「どうした」「どうする」というときの「どう～」の形の意味がわかる。

留意点

「どう」は初級のはじめで学ぶことばです。しかし会話の中で使われると、わかりにくくなるようです。「どうしたんですか」や「どうした」などの疑問文は、会話の中で、動作や状態の理由をたずねるのによく使われます。また、「どうするんですか」「どうする」は、これからの動作の選択を求める機能があります。しかし、学習者にはこうした機能を理解していないため、誤解が起こったり会話が不自然になったりします。「どう～」には、他にもさまざまな言い方、例えば「どうして」「どうやって」などがありますが、ここでは、先にあげた2つにしぼりました。また、この練習では、文脈がよくわからないと難しい場合があるので、明確にどちらかが選べるような文にしました。答え合わせをするとき、なぜその答えにしたかを言わせて、どんな文脈を学生が考えていたかを確認してみるといいでしょう。（スクリプト➜144ページ）

78 少し話せるようになりました

「～くなる」「～になる」「～ようになる」

学習目的

変化を表す「～くなる」「～になる」「～ようになる」の意味がわかる。

留意点

「ようになる」が続くために前の動詞がわかりにくくなる傾向があります。この練習では、同時に、「ようになる」が次のような変化の表現と同じ使い方であることに気づかせます。

名詞＋になる	（先生になる）
ナ形容詞＋になる	（元気になる）
イ形容詞＋くなる	（暑くなる）

「ようになる」の前に来る動詞は、習慣（練習 3. 10.）や状態を表すもので、可能形（例 2. 練習 5. 7.）や、否定形などがよく使われます。

あらたまった言い方、くだけた言い方、過去、非過去が混ざっているので、注意させます。（スクリプト➜ 146 ページ）

79 まいにち歩くようにしてください

「～ようにしてください」「～てください」

学習目的

「～ようにしてください」という指示が聞きとれる。

留意点

「～てください」という指示は聞きとれても、「～ようにしてください」という指示になると聞きとれない学習者が多いです。「～ように」がつくのは、例えば「日本語が話せるようになりました。」のように、習慣的なことや、繰り返しその行為をする場合です。「～ようにしてください」は、婉曲な指示になります。これに対して、「～てください」は直接的です。ある具体的なその場限りの行為を指示するときには、「ように」は使わないで、「～てください」といいます。練習では、状況がわかりやすいように、I. では、医者と患者の会話、II. では、先生と学生の会話にしました。練習するうちに、この 2 つの言い方の使い分

けが理解できるようになるでしょう。最初に「ように」が入っているかどうか、チェックさせて、そのあとで、もう一度テープを聞かせ、それぞれの動詞を書かせます。書くのに時間がかかるので、テープは止めながら使用してください。「〜ください」の前にはテ形、「〜ようにしてください」の前には辞書形が来ていることにも注意させます。ここでは「〜ないように」は取り上げていません。

それぞれの会話の状況がよく理解できていることが大切です。（スクリプト➜147ページ）

80 忘れないように書いておきます

目的の「〜ように」

学習目的

「AようにBする」という構文を聞いて、Aは＜目的＞、Bは＜そのための行為＞という意味関係がわかる。

留意点

「ように」の前には可能形や否定形が来ることが多いです。それは、＜話し手の意志で決められないこと＞に「ように」が接続するからです。

練習では、前半部分「〜ように」までを聞かせ、その目的にあった後半部を選ばせます。学生がすぐにできないようであれば、ビープ音でテープを止める必要があるでしょう。その後で、全文をもう一度聞いて自分の答えを確認させてください。これは予測の練習で、予測して聞く、つまり「頭で聞く」ことが大切です。

ここでは以下のような表現を取り上げました。

> 見えるように、聞こえるように、覚えるように、上手になるように、
> 忘れないように、太らないように、落とさないように、眠らないように、
> ころばないように、風邪をひかないように、聞こえないように

（スクリプト➜149ページ）

81 お金がなくて買えませんでした

原因・理由の「〜て」

学習目的

「Aて、B」の文型を聞いて、Aが原因・理由を示しているのか、そうでないのかを、

区別できる。

留意点

「Aて、B」の文型で、AとBの意味関係がすぐつかめるためには、Aのテ形がよく聞きとれる必要があります。練習6. 8.は倒置になっていることを指摘しないと理解できない学習者もいます。

クラス全体で答え合わせをすると、学習者の意外な誤解なども発見できます。

（スクリプト➜150ページ）

82　子どもにそうじをさせます

使役(1)

学習目的

使役文を聞いて誰が実際の動作をするかがわかる。

留意点

「(私) はBに～させます」という文では「私」は文に現れていません。学生は助詞「に」を聞いて判断します。解答用紙には (私) という形で示してあります。「(私は)」で始まる文以外はすべて「AがBにさせる」という形をとっていますので、実際に動作をするのは常にBになります。数多くその形を聞くことによって、使役文の構造を定着させる練習です。

ここで取り上げた動詞は以下のものです。

する、洗う、すてる、習う、手伝う、待つ、飲む、言う、 計算する、持ってくる、おこる、泣く、喜こぶ、笑う

（スクリプト➜151ページ）

83　ちょっと待たせていただけますか

使役(2)

学習目的

使役形を使った許可を求める表現と使役形を使わない依頼や忠告の表現を聞き、誰が動作をするかがわかる。

留意点

「～てください」は相手に動作を促す依頼や忠告の表現ですが、「使役形＋てください」は「相手」ではなくて「自分」が何かするための許可を求める表現で、それぞれ動作をする人は異なります。使役形の音に聞きなれるとともに依頼表現、許可を求める表現を短い会話文を聞くことによって習得させることをねらっています。

ここで取り上げた表現は以下のものです。

話し手が動作をするもの	「～させてください」
	「～させてくださいませんか」
	「～させていただけますか」
	「～させていただきたいんですけど」
	「～させてもらってもいいですか」
	「～させていただきます」
聞き手が動作をするもの	「～てください」「～たほうがいいですよ」
	「～ていただけますか」「～ていただけませんか」

（スクリプト➜151ページ）

84 これ使わせてもらえませんか

依頼の「～してくれるか」「～させてくれるか」など

学習目的

依頼文を聞いて、誰が動作をするかわかる。

留意点

「～してもいいか」「～してくれるか」「～させてくれるか」など種々の依頼文を聞いて、誰が動作をするかわかるようにします。依頼文は多様なので、あらたまった言い方、くだけた言い方を合わせて、練習の前にバリエーションを確認するといいでしょう。

「～してくれる」「～させてくれる」などでは、～部分が使役形かどうかに注意することが大切です。また、「～したい」「～してほしい」の対立に加えて、「～」部分が使役形かどうかで、動作主が違ってくるので、同様に注意することが必要です。

ここで取り上げた表現は以下のものです。

話し手が動作をするもの	「～させてくれる」「～させてください」 「～させてくださいませんか」 「～させてもらえませんか」 「～させてもらってもいいでしょうか」 「～てもいいでしょうか」「～てもよろしいですか」 「～たいんだけど」「～させてほしいんですが」
聞き手が動作をするもの	「～てくれる」「～てくれない」 「～てもらえませんか」「～ていただけますか」 「～ていただけないでしょうか」「～てほしいんですけど」 「～ていただきたいんですが」

（スクリプト➜153ページ）

85 カメラをこわしてしまったんです

●「～てしまう」●

学習目的

「～ちゃった」「～ちゃう」「～じゃった」「～じゃう」など「～てしまう」のさまざまな言い方を聞いて、その意味がわかる。

留意点

習得の遅い学習者の場合は、以下の音の変化の形を復習してから始めるといいでしょう。

「～てしまった」→「～ちゃった」	「～てしまう」→「～ちゃう」
「～でしまう」→「～じゃった」	「～でしまった」→「～じゃった」

クラスで「～てしまう」「～てしまった」の部分を「～ます」「～ました」を使って言うとどんな違いがあるのかなど話し合ってもいいでしょう。 （スクリプト➜154ページ）

86 いいんじゃない

「〜んじゃない」

学習目的

「〜と思う」という機能を持つ「〜んじゃない」の意味を理解し、話者の意見がわかる。

留意点

「いいんじゃない」「やすいんじゃない」「わかったんじゃない」など、よく日常会話で使われる表現ですが、なれていない学習者は否定の意味に理解してしまいます。「〜んじゃない」が「〜と思う」という意味で使われていること、そして「〜んじゃない」の部分が1つのかたまりとして捉えられるように指導してください。 （スクリプト➜156ページ）

87 行くんじゃないかと思います

「〜んじゃないかと思う」

学習目的

「〜んじゃないかと思う」の部分がかたまりとして捉えることができ、話者の意見がわかる。

留意点

前の「いいんじゃない」の練習と同じ形式の練習です。

「〜んじゃないかと思う」と「〜んじゃないと思う」では意味が違います。「〜んじゃないかと思う」の「か」が聞き分けのポイントになるのですが、何回も聞いて「〜んじゃないかと思う」の部分を1つのかたまりとして捉えるように学習者に指示してください。

（スクリプト➜158ページ）

88 写真をとられました

使役と受身

学習目的

使役文や受身文を聞いて実際に動作した人が誰なのかわかる。

留意点

受身文や使役文を聞いて、誰がするのか、誰がされるのか、誰が命じたり、許可したりするのか、といった人間関係をつかむのは、かなり難しいようです。助詞、「が」「を」「に」と動詞の形に注意を向けさせながら、聞かせてください。Ⅰ.では、単文を聞いてこの関係

を聞き分けます。最初に質問文があります。その後、a～dの文を聞きながら、先の質問に対してそれぞれ「はい」か「いいえ」を選びます。やり方をよく確認してから始めてください。II. では、会話を聞いてその状況をつかんでから、この状況説明を正しく説明している文を選びます。

（スクリプト➜159ページ）

89 シャワーをあびに行くところなんだ

「～ところだ」

学習目的

「～ところだ」を含む文を聞いて、どの場面を説明しているかがわかる。

留意点

「～ところだ」の「～」には、動詞の辞書形か「～ている」かタ形がきます。辞書形のときは今からその動作をすることを表し、「～ている」の形のときは今その動作をしていることを表し、タ形のときは今その動作をしたことを表しています。ここでは、その動作を順番に示した絵を見て、どの段階かを選びます。「～ところ」の「～」の部分をよく聞くようにさせます。ここで取り上げた動作は以下の通りです。

シャワーを浴びに行く	手紙(返事)を書く
浴びてきた	書いた
浴びている	
そうじ する	カレーを作っている
している	作った
した	

（スクリプト➜161ページ）

90 レポートを書かなければなりません

「～なければならない」「～なきゃ」など

学習目的

「～なければならない」のさまざまな変形を聞いてわかる。

留意点

話しことばでは「～なければならない」はさまざまに変化します。「～なければならない」

の「～なければ」のところは、「～なくちゃ」「～なきゃ」「～なけりゃ」と変化します。ここでは「～なくちゃ」と「～なきゃ」の2つを練習します。また「ならない」の部分は、「なりません」「いけません」というマス形の他に、「なんない」「いけない」などの言い方があります。また、この部分は省略されることもあります。こうしたことばは日常の生活で非常によく使われますが、学習者には理解しにくいでしょう。どの形も意味は同じですから、練習で音になれるようにさせます。I.は動詞の部分を選択するものですが、音の違いに気がつくようにする練習です。II.は動詞の部分を書くことによって、「～なきゃならない」のところよりその前の部分の方が、意味の理解には重要であることを知らせる練習です。II. 8.の「送んなきゃ」のように「ら」が「ん」と発音されていることにも言及するといいでしょう。

ここで取り上げた動詞は以下のものです。

練習I.	書く、見る、覚える、来る、働く、使う、 持って行く、帰る、勉強する
練習II.	手伝う、返す、行く、払う、飲む、相談する、 洗濯する、読む、送る

（スクリプト➔162ページ）

91 これから出かけなきゃならないんです

「～なきゃならない」など

学習目的

「～しなければならない」のさまざまな変形を含む会話を聞いて意味が理解できる。

留意点

ここでは男女の会話を聞き、その中で使われている「～なきゃならない」などを理解し、女の人が何をしなければならないと言っているかを動詞の辞書形で書きます。自然な会話なので一度聞いただけでは難しいかもしれません。何度か聞かせてもいいでしょう。どの練習も、会話の最後に女の人が「～なきゃ」の形を使っています。会話の後半の女の人のことばに特に注意して聞くよう指示してもかまいません。ここで取り上げた主な動詞は以下のものです。

出かける、帰る、勉強する、遊ぶ、入れる、 書く、返す、終わらせる、できる

（スクリプト ➜ 163 ページ）

92 レポートは書かなくてもいいでしょうか

「～なければならない」「～なくてもいい」

学習目的

「～なければならない」と「～なくてもいい」の意味の違いがわかる。

留意点

会話を聞いて、男の人がそれをしなければならないのか、しなくてもいいのかを判断する練習です。「～なければ」の部分の音は変化しやすいのですが、ここではそれがたくさん使われています。また反対の意味になる「～なくてもいい」も入っています。会話は自然な話しことばなので、難しいものもあります。聞く前に、練習の各文を読んで発音と意味を確認したり、テープを繰り返し聞いたりしてください。この言い方になれていない場合は前の課を学習してからこれをやるといいでしょう。ここで取り上げた動詞は、以下のものです。

書く、乗る、買う、やる、払う、行く、食べる、買っておく、出す

（スクリプト ➜ 164 ページ）

93 日本語を勉強するために来ました

原因と目的の「～ため(に)」

学習目的

「Aため(に) B」文を聞いてAが原因か目的かわかる。

留意点

「Aため(に) B」のAが動詞の辞書形のとき、目的の意味になりやすいです。Aが名詞の場合は「の」が必要です。Aが動詞の否定形、過去形、イ形容詞、ナ形容詞のときは、原因の意味になりやすいです。練習 1. と 2.、練習 3. と 4. はそれぞれ同じ動詞を使って、AとBとのつながりの違いが明確にわかるように工夫してあります。練習するうちに学習効果が上がるはずです。例 1. 2. を使って文法の確認をするといいでしょう。

なお、習得の遅い学習者には、途中でテープを止めて選択肢を読んだり、選んだりする時間を与えてください。 （スクリプト➜165ページ）

94 引っこしなのにまだかたづけていません

「〜(な)ので」「〜(な)のに」

学習目的

「A（な)のでB」と「A（な)のにB」のAを聞いて、Bを予測する。

留意点

「A（な)のでB」の文は、AにBの理由となるものが入ります。一方「A（な)のにB」の文は、Aから当然予測されることに反することがBに来ます。練習1.から4.までは「A（な)のでB」と「A（な)のにB」の2つの文をペアで提出して、その違いがよくわかるようにしました。それ以降の学習効果を上げるためです。

なお、習得の遅い学習者には、途中でテープを止めて、選択肢を読んだりする時間や選んだりする時間を与えてください。 （スクリプト➜166ページ）

95 雨がふったら中止ですか

「〜たら」「〜ても」

学習目的

「AたらB」と「AてもB」のAを聞いて、Bを予測する。

留意点

「AたらB」の文と「AてもB」の文とが出てくる会話で、Bを予測します。「AてもB」が先に出てくる会話は、練習1.と6.だけで、他の会話は全部、「AたらB」で始まり、会話の相手が「AてもB」を使います。「AたらB」と「AてもB」が同じ会話の中で使われることによって、その使われ方の違いがわかりやすくなり、学習効果が上がります。

なお、習得の遅い学習者には、途中でテープを止めて選択肢を読んだり選んだりする時間を与えてください。 （スクリプト➜167ページ）

96 読むならかしてあげる

「〜なら」「〜たら」

学習目的

「AならB」と「AたらB」のAを聞いて、Bを予測する。

留意点

この練習では「AならB」の場合Aの動詞は非過去、「AたらB」の場合Aの動詞は過去にしてあります。また、練習1.と2.、練習3.と4.は同じ動詞を使って「AならB」と「AたらB」がペアで出してあります。その使われ方の違いがよくわかり、学習効果が上がります。

なお、習得の遅い学習者には、途中でテープを止めて、選択肢を読んだり選んだりする時間を与えてください。 (スクリプト➜169ページ)

97 田中さんが入れたんですよ

「は」「が」

学習目的

何が質問の焦点なのかによって、「は」「が」が選ばれていることがわかる。

留意点

「は」「が」を聞きとって、(　　)に入れさせます。自然な日本語ではこのような助詞はあまりはっきり聞こえないので、「は」「が」を聞きとるためには、文脈がよくわかり、どこに聞きとるべき情報の焦点があるのかがわかっていなければできません。ここでは、質問の焦点やその質問に対する返答の情報が主部にあるときは「が」、述部にあるときは「は」ということを理解させます。例えば、例1.の「このコーヒー、おいしいですね。誰が入れたんですか。」「これ、田中さん（が）入れたんです。」という返答では、「田中さん」が焦点ですから、「が」となります。例2.「あれ、田中さんは？」というのは「どこにいますか」が省略されていて、この省略されている部分に質問の焦点があります。これに対する答え「田中さん（は）今、コーヒーを入れています。」は、述部の情報が大切ですから、「は」です。 (スクリプト➜170ページ)

98 1時間も待たされたんだ

使役と使役受身

学習目的

使役と使役受身の聞き分けができる。

留意点

使役と使役受身の区別は初級ではかなり難しいでしょう。ここでは、会話を聞いた後、使役または使役受身を使った文で、会話の内容について質問が出ます。会話は、一度聞い

ただけでは難しいかもしれません。繰り返し聞かせてください。どんな場面の会話かなど確認しながら進めてかまいません。質問の文が使役なのか使役受身なのかによく注意して聞くよう指示してください。

この質問の文で使われる使役と使役受身の形は、以下のものです。

使　役	待たせる、手伝わせる、飲ませる、すわらせる、歌わせる
使役受身	待たされる、飲まされる、買いに行かされる、やめさせられる、持たされる、払わされる、させられる

（スクリプト ➜ 172 ページ）

99 駅まで送りましょうか。

「〜ましょうか」「〜ませんか」など

学習目的

「〜ましょうか」「〜ませんか」を聞いて、誰が動作をするかわかる。

留意点

「〜ませんか」「〜ない」（「食べませんか／食べない」）は誘いを表す表現です。一方、「〜ましょうか」「〜(よ)うか」（「持ちましょうか／持とうか」）は申し出を表す場合と、誘いを表す場合の両方があります。文を聞いたときに、自分が誘いを受けているのか、申し出をされているのかがわかるようにする練習です。

誘いの「〜ましょう」は知っていても、「〜ましょうか」に申し出の表現があることを知らない学習者は多いので、練習の前に確認するといいでしょう。また、くだけた言い方の「〜ない」や「〜(よ)うか」は、聞きなれていない学習者も多いので、同様に確認するといいでしょう。

（スクリプト ➜ 174 ページ）

2

スクリプト

第1課　中山さんはがくせいです

正(ただ)しいものを選(えら)んでください。

Ⅰ．例　　中山(なかやま)さんは学生(がくせい)です。

練習　1．山田(やまだ)さんは先生(せんせい)です。

2．ミカさんは留学生(りゅうがくせい)です。

3．田中(たなか)さんは学生(がくせい)です。

4．サリーさんは留学生(りゅうがくせい)です。

Ⅱ．例　　中山(なかやま)さんは筑波大学(つくばだいがく)の学生(がくせい)です。

練習　1．田中(たなか)さんは山田先生(やまだせんせい)の学生(がくせい)です。

2．サリーさんは田中(たなか)さんの友(とも)だちです。

3．ミカさんは千葉大学(ちばだいがく)の留学生(りゅうがくせい)です。

4．山田先生(やまだせんせい)は経済(けいざい)の先生(せんせい)です。

5．木村先生(きむらせんせい)は日本大学(にほんだいがく)の先生(せんせい)です。

Ⅲ．例　　中山(なかやま)さんの専門(せんもん)は経済(けいざい)です。

練習　1．田中(たなか)さんの先生(せんせい)は木村先生(きむらせんせい)です。

2．ミカさんの専門(せんもん)は教育(きょういく)です。

3．サリーさんの国(くに)はイギリスです。

4．和田先生(わだせんせい)の専門(せんもん)は化学(かがく)です。

5．ミカさんの先生(せんせい)は山田先生(やまだせんせい)です。

第2課　中山さんはせんせいじゃありません

否定文(ひていぶん)のときは、例(れい)のように×(ばつ)をつけてください。

例1　中山(なかやま)さんは学生(がくせい)です。

例2　中山(なかやま)さんは先生(せんせい)じゃありません。

練習

1．田中(たなか)さんは学生(がくせい)です。

2. 田中さんは先生じゃありません。

3. サリーさんは留学生です。

4. マリさんは日本人じゃありません。

5. 田中さんは筑波大学の学生じゃありません。

6. サリーさんは田中さんの友だちです。

7. 木村先生は経済の先生です。

8. サリーさんはイギリスの留学生です。

9. 中山さんは木村先生の学生じゃありません。

10. マリさんはイギリスの留学生じゃありません。

第3課　サリーさんの国もイギリスです

テープを聞いて、(　　)にひらがなを書いてください。

例1　中山さんは学生です。

例2　中山さんは筑波大学の学生です。

練習

1. 田中さんは学生です。

2. 中山さんも学生です。

3. ミカさんはカナダの留学生です。

4. 中山さんは木村先生の学生です。

5. 田中さんは日本大学の学生です。

6. サリーさんは田中さんの友だちです。

7. 中山さんも田中さんの友だちです。

8. ジョンさんの国はイギリスです。

9. サリーさんの国もイギリスです。

10. ミカさんの専門は教育です。

第4課　25、　205、　250

正(ただ)しい数字(すうじ)を選(えら)んでください。

例1　25（にじゅうご）　　例2　250（にひゃくごじゅう）

練習

a. 18（じゅうはち）
b. 81（はちじゅういち）
c. 56（ごじゅうろく）
d. 65（ろくじゅうご）
e. 605（ろっぴゃくご）
f. 69（ろくじゅうきゅう）
g. 96（きゅうじゅうろく）
h. 906（きゅうひゃくろく）
i. 48（よんじゅうはち）
j. 418（よんひゃくじゅうはち）
k. 408（よんひゃくはち）
l. 110（ひゃくじゅう）
m. 111（ひゃくじゅういち）
n. 350（さんびゃくごじゅう）
o. 305（さんびゃくご）
p. 3,035（さんぜんさんじゅうご）
q. 801（はっぴゃくいち）
r. 810（はっぴゃくじゅう）
s. 811（はっぴゃくじゅういち）
t. 1,600（せんろっぴゃく）
u. 1,160（せんひゃくろくじゅう）
v. 16,100（いちまんろくせんひゃく）
w. 267（にひゃくろくじゅうなな）
x. 2,607（にせんろっぴゃくなな）
y. 7,850（ななせんはっぴゃくごじゅう）
z. 78,500（ななまんはっせんごひゃく）

第5課　100円です

ねだんを書(か)いてください。

例1　男：いくら。
　　女：25円（にじゅうごえん）です。

例2　男：いくらですか。
　　女：100円（ひゃくえん）です。

練習

1. 男：いくら。
　女：50円（ごじゅうえん）です。

2. 男：ええと、いくらですか。
　女：85円（はちじゅうごえん）です。

3. 男：これ、いくら。

女：ええと、200円（にひゃくえん）です。

4. 男：いくらですか。

女：890円（はっぴゃくきゅうじゅうえん）です。

5. 男：あれは、いくらですか。

女：あれは、1,980円（せんきゅうひゃくはちじゅうえん）です。

6. 男：これ、いくらですか。

女：あ、これ、605円（ろっぴゃくごえん）です。

7. 男：いくら。

女：138円（ひゃくさんじゅうはちえん）です。

8. 男：いくらですか。

女：えええと、2,390円（にせんさんびゃくきゅうじゅうえん）です。

9. 男：おいくら。

女：ええと、4,560円（よんせんごひゃくろくじゅうえん）でございます。

10. 男：いくらですか。

女：ぜんぶで、9,180円（きゅうせんひゃくはちじゅうえん）になります。

11. 男：いくらでしょうか

女：ええと、13,000円（いちまんさんぜんえん）です。

12. 男：おいくらですか。

女：はい、ぜんぶで、5,015円（ごせんじゅうごえん）になります。

13. 男：いくらですか。

女：ぜんぶで、48,300円（よんまんはっせんさんびゃくえん）になります。

14. 男：いくらでしょうか。
　　女：15,980(いちまんごせんきゅうひゃくはちじゅうえん)円です。

15. 男：いくらですか。
　　女：ええと、ぜんぶで67,300(ろくまんななせんさんびゃくえん)円です。

第6課　だれといきますか

適当(てきとう)な答(こた)えを選(えら)んでください。

例　　女：アメリカへ行(い)きます。
　1．男：だれと。
　2．男：アメリカのどこ。

練習

1．　女：本(ほん)を買(か)いましたよ。
　1．男：何(なん)の本(ほん)。
　2．男：ふうん、どこで。
　3．男：それ、いくら。

2．　女：テレビを見(み)ました。
　1．男：何(なに)を見(み)ましたか。
　2．男：だれと。
　3．男：どこで。

3．　女：切手(きって)を買(か)いました。
　1．男：いくらの切手(きって)。
　2．男：何枚(なんまい)。
　3．男：どこで。

4．　女：毎日勉強(まいにちべんきょう)します。
　1．男：何(なに)を。
　2．男：どこで。
　3．男：だれと。

第７課　きのうよみましたか

適当な絵を選んでください。同じ絵を何度も選んでいいです。

例１　男：田中さんは見ますか。
　　　女：ええ、見ます。

例２　女：きのう読みましたか。
　　　男：いいえ、読みませんでした。

練習

1．男：うちへ帰りますか。
　　女：いいえ、帰りません。

2．男：中山さんも見ますか。
　　女：ええ、見ます。

3．男：あした大学へ来ますか。
　　女：ええ、来ます。

4．男：きのう東京へ行きましたか。
　　女：はい、行きました。

5．男：毎日読みますか。
　　女：ええ、読みます。

6．男：手紙を出しましたか。
　　女：はい、出しました。

7．男：これ、買いますか。
　　女：ええ、買います。

8．男：きのう勉強しましたか。
　　女：いいえ、勉強しませんでした。

9．男：田中さんも書きますか。
　　女：いいえ、書きません。

10. 男：中山さんは聞きましたか。
　　女：ええ、聞きました。

11. 女：あしたも行きますか。
　　男：ええ、行きます。

12. 女：きのう来ましたか。
　　男：いいえ、来ませんでした。

13. 女：きのう書きましたか。
　　男：ええ、書きました。

14. 女：田中さんも買いますか。
　　男：いいえ、買いません。

15. 女：きのう読みましたか。
　　男：いいえ、読みませんでした。

16. 女：毎日見ますか。
　　男：いいえ、見ません。

17. 女：毎日手紙を出しますか。
　　男：いいえ、出しません。

18. 女：きのう、聞きましたか。
　　男：いいえ、聞きませんでした。

19. 女：中山さんも帰りますか。
　　男：ええ、帰ります。

20. 女：毎日、勉強しますか。
　　男：ええ、勉強します。

第8課　四人です

適当（てきとう）な絵（え）を選（えら）んでください。

例1：すいません。4人（よにん）なんですけど。

例2：5つ（いつつ）お願いします。

練習

1．男：何名様（なんめいさま）ですか。
　　女：5人（ごにん）です。
　　男：はい、5名様（ごめいさま）ですね。

2．男：いくつ。
　　女：2つ（ふたつ）。
　　男：2つ（ふたつ）。
　　女：そう。2つ（ふたつ）。

3．女：3つ（みっつ）ですね。
　　男：いいえ、違（ちが）います。6つ（むっつ）です。
　　女：すいません。6つ（むっつ）ですね。
　　男：はい。

4．男：何枚（なんまい）ですか。
　　女：10枚（じゅうまい）です。

5．女：何人（なんにん）ですか。
　　男：1人（ひとり）。
　　女：え、1人（ひとり）ですか。
　　男：そう、1人（ひとり）です。

6．男：何人（なんにん）ですか。
　　女：7人（しちにん）です。
　　男：7人（ななにん）ですね。
　　女：はい、そうです。

7．男：いくつですか。
　　女：4つ（よっつ）です。
　　男：8つ（やっつ）ですか。
　　女：いいえ、4つ（よっつ）です。

8．男：これ、9つ（ここのつ）お願（ねが）いします。
　　女：はい、9つ（ここのつ）ですね。

9．男：何枚（なんまい）ですか。
　　女：7枚（ななまい）です。

10．女：すいません。これ、8つ（やっつ）。
　　男：はい、8つ（やっつ）。どうぞ。

11．男：いくつ食（た）べましたか。
　　女：3つ（みっつ）食（た）べました。

12．女：いくつ食（た）べましたか。
　　男：1つ（ひとつ）ですよ。

第9課　ともだちにとけいをあげました

（　　）に　←　か　→　を書いてください。

例1　山田さんはサリーさんに時計をもらいました。

例2　友だちに時計をあげました。

練習

1. サリーさんにプレゼントをあげました。
2. サリーさんは友だちに手紙をもらいました。
3. 山田さんは友だちに切手をあげました。
4. サリーさんに本をもらいました。
5. 山田さんは友だちにノートを借りました。
6. 山田さんはサリーさんに辞書を貸しました。
7. アリさんは友だちにお金を借りました。
8. サリーさんにお金を借りました。
9. アリさんにラジオを貸しました。
10. 先生は学生に日本語を教えます。
11. 和田先生は学生にスペイン語を習います。
12. サリーさんは山田さんにひらがなを習いました。
13. 山田さんはサリーさんに漢字を教えました。
14. サリーさんにコンピュータを習いました。
15. サリーさんは友だちに手紙を出します。
16. サリーさんに手紙を出しました。
17. サリーさんに手紙をもらいました。
18. サリーさんに手紙を書きました。
19. アリさんは先生に手紙を書きました。
20. サリーさんとアリさんに手紙をもらいました。

第10課　田中さんはきってをかいました

テープを聞(き)いてからaかbか選(えら)んでください。その後(あと)で確(たし)かめてください。

例1　田中(たなか)さんは切手(きって)を▼
　　田中(たなか)さんは切手(きって)を買(か)いました。

例2　中山(なかやま)さんは東京(とうきよう)へ▼
　　中山(なかやま)さんは東京(とうきょう)へ行(い)きました。

練習

1. サリーさんは国(くに)へ▼
   サリーさんは国(くに)へ帰(かえ)りました。

2. サリーさんは国(くに)で▼
   サリーさんは国(くに)で勉強(べんきょう)しました。

3. 田中(たなか)さんはうちへ▼
   田中(たなか)さんはうちへ帰(かえ)りました。

4. 田中(たなか)さんはえんぴつを▼
   田中(たなか)さんはえんぴつをもらいました。

5. 中山(なかやま)さんは新聞(しんぶん)を▼
   中山(なかやま)さんは新聞(しんぶん)を読(よ)みました。

6. 田中(たなか)さんは銀行(ぎんこう)へ▼
   田中(たなか)さんは銀行(ぎんこう)へ行(い)きました。

7. 中山(なかやま)さんはテレビを▼
   中山(なかやま)さんはテレビを見(み)ました。

8. 田中(たなか)さんは大学(だいがく)へ▼
   田中(たなか)さんは大学(だいがく)へ来(き)ました。

9．サリーさんはすしを▼
サリーさんはすしを食(た)べました。

10．田中(たなか)さんは本屋(ほんや)へ▼
田中(たなか)さんは本屋(ほんや)へ行(い)きました。

11．山田(やまだ)さんに日本語(にほんご)を▼
山田(やまだ)さんに日本語(にほんご)を習(なら)いました。

12．中山(なかやま)さんははがきを▼
中山(なかやま)さんははがきを出(だ)しました。

13．手紙(てがみ)は図書館(としょかん)で▼
手紙(てがみ)は図書館(としょかん)で書(か)きました。

14．辞書(じしょ)は田中(たなか)さんに▼
辞書(じしょ)は田中(たなか)さんに貸(か)しました。

15．ボールペンは銀行(ぎんこう)で▼
ボールペンは銀行(ぎんこう)でもらいました。

16．サリーさんに漢字(かんじ)を▼
サリーさんに漢字(かんじ)を教(おし)えました。

第11課　でんわがあります

Ⅰ．テープを聞(き)いてから正(ただ)しい方(ほう)を選(えら)んでください。その後(あと)で確(たし)かめてください。

例1	電話(でんわ)が▼	電話(でんわ)があります。
例2	ねこが▼	ねこがいます。

練習

1．	時計(とけい)が▼	時計(とけい)があります。
2．	かさが▼	かさがあります。

3．男の人が▼　　男の人がいます。

4．犬が▼　　犬がいます。

5．車が▼　　車があります。

6．コピー機が▼　　コピー機があります。

7．子どもが▼　　子どもがいます。

8．喫茶店が▼　　喫茶店があります。

9．女の子が▼　　女の子がいます。

10．お手洗いが▼　　お手洗いがあります。

II．テープを聞いてから正しい方を選んでください。その後で確かめてください。

例1　あそこにコピー機が▼

あそこにコピー機があります。

例2　研究室に鈴木さんが▼

研究室に鈴木さんがいます。

練習

1．机の上に本が▼

机の上に本があります。

2．田中さんの部屋にサリーさんが▼

田中さんの部屋にサリーさんがいます。

3．大学の中に郵便局が▼

大学の中に郵便局があります。

4．木村先生の研究室にサリーさんが▼

木村先生の研究室にサリーさんがいます。

5．駅の前にバス停が▼

駅の前にバス停があります。

6．電話はテレビのとなりに▼

電話はテレビのとなりにあります。

7．中山さんは研究室に▼
　　中山さんは研究室にいます。

8．コンピュータは先生の机の上に▼
　　コンピュータは先生の机の上にあります。

9．先生は2階の教室に▼
　　先生は2階の教室にいます。

10．電話はテレビの右に▼
　　電話はテレビの右にあります。

第12課　へやの中に男の子がいます

絵を見ながらテープを聞いて、正しいものには○、間違っているものには×を書いてください。

例1　部屋の中に男の子がいます。

例2　机の上に花があります。

練習

1．部屋の中にねこがいます。

2．部屋の中にくつがあります。

3．テレビの右に花があります。

4．テレビの左に雑誌があります。

5．女の人の後ろに女の子がいます。

6．女の人の前に犬がいます。

7．机の上に本があります。

8．机の下にラジカセがあります。

9．男の子の近くにねこがいます。

10．男の子のとなりに女の子がいます。

第13課　でんわはかいだんの近くにあります

I．絵を見ながらテープを聞いて、正しいものを選んでください。

例　女：すいません。電話はどこでしょうか。
　　男：電話は階段の近くにあります。

練習

1．女：あのう、電話(でんわ)はどこでしょうか。

　　男：電話(でんわ)は、ええと、あ、階段(かいだん)の下(した)にありますよ。

2．女：この辺(へん)に、電話(でんわ)、ありますか。

　　男：電話(でんわ)ですか。電話(でんわ)は、階段(かいだん)の上(うえ)にあります。

3．女：すいません。電話(でんわ)ありませんか。

　　男：え、電話(でんわ)。机(つくえ)の右(みぎ)にありますよ。

4．女：あのう、電話(でんわ)はどこでしょうか。

　　男：あの机(つくえ)の上(うえ)です。

5．女：すいません。電話(でんわ)はどこにありますか。

　　男：電話(でんわ)は、ええと、あ、あの机(つくえ)の左(ひだり)にあります。

II．絵(え)を見(み)ながらテープを聞(き)いて、正(ただ)しいものを選(えら)んでください。

例　女：すいません。本屋(ほんや)はどこでしょうか。

　　男：本屋(ほんや)は、デパートの左(ひだり)にあります。

練習

1．女：銀行(ぎんこう)はどこでしょうか。

　　男：銀行(ぎんこう)は、レストランのとなりにありますよ。

2．女：あのう、病院(びょういん)はどこにありますか。

　　男：病院(びょういん)は、デパートの右(みぎ)にあります。

3．女：すいません、この辺(へん)に郵便局(ゆうびんきょく)ありませんか。

　　男：郵便局(ゆうびんきょく)は、デパートの前(まえ)にあります。

4．女：あのう、お手洗(てあら)いはどこでしょうか。

　　男：お手洗(てあら)いは、公園(こうえん)の中(なか)にあります。

5．女：この辺(へん)に、駐車場(ちゅうしゃじょう)ありますか。

　　男：駐車場(ちゅうしゃじょう)は、公園(こうえん)のとなりにあります。

第14課　きく、たべる、くる、する

正しい絵を選んでください。

例　a．女：聞く。
　　　　男：うん、聞く。

　　b．女：これ食べる。
　　　　男：うん、食べる。

練習

Ⅰ．a．女：使う。
　　　　男：うん、使う。

　　b．女：ここで泳ぐ。
　　　　男：うん、泳ぐ。

　　c．女：開ける。
　　　　男：うん、開ける。

　　d．女：これに乗る。
　　　　男：うん、乗る。

Ⅱ．a．女：早く寝る。
　　　　男：うん、寝る。

　　b．女：消す。
　　　　男：うん、消す。

　　c．女：きょう入る。
　　　　男：うん、入る。

　　d．女：ここで待つ。
　　　　男：うん、待つ。

Ⅲ．a．女：きょう出す。
　　　　男：うん、出す。

　　b．女：あしたも教える。
　　　　男：うん、教える。

　　c．女：これ、注文する。
　　　　男：うん、注文する。

　　d．女：田中さんにあげる。
　　　　男：うん、あげる。

第15課　かいてください

何と言っていますか。a、b、cの中から正しいものを選んでください。

例1　書いてください。

例2　消してください。

練習

1．してください。

2．食べてください。

3．帰ってください。

4．使ってください。

5. 起きてください。

6. 買ってください。

7. 飲んでください。

8. 来てください。

9. 消してください。

10. 読んでください。

11. 待ってください。

12. 出してください。

13. 行ってください。

14. 書いてください。

15. すわってください。

第16課　どうぞたべてください

この人は何をしますか。正しい絵を選んで(　　)にアルファベットを書いてください。

例1　どうぞ食べてください。

例2　ここにすわってください。

練習

1. これを飲んでください。

2. これを買ってください。

3. これに乗ってください。

4. すみません。教えてください。

5. 消してください。

6. 開けてください。

7. ここに入ってください。

8. ここで勉強してください。

第17課　お金がありませんからかいません

テープを聞いてからaかbか選んでください。その後で確かめてください。

例1　お金がありませんから▼

お金がありませんから、本を買いません。

例2　国の友だちが来ますから▼

国の友だちが来ますから、浅草へ行きます。

練習

1. あしたテストがありますから▼

あしたテストがありますから、きょうの夜勉強します。

2．きょう部屋(へや)にいますから▼
　きょう部屋(へや)にいますから、電話(でんわ)してください。

3．きのうコンピュータを買(か)いましたから▼
　きのうコンピュータを買(か)いましたから、きょうお金(かね)がありません。

4．日本語(にほんご)がわかりませんから▼
　日本語(にほんご)がわかりませんから、英語(えいご)で話(はな)してください。

5．きのう経済(けいざい)の本(ほん)を買(か)いましたから▼
　きのう経済(けいざい)の本(ほん)を買(か)いましたから、きょう読(よ)みます。

6．あしたは日(にち)よう日(び)ですから▼
　あしたは日(にち)よう日(び)ですから、大学(だいがく)へ行(い)きません。

7．電車(でんしゃ)がありませんから▼
　電車(でんしゃ)がありませんから、バスに乗(の)ってください。

8．病院(びょういん)へ行(い)きますから▼
　病院(びょういん)へ行(い)きますから、タクシーを呼(よ)んでください。

第18課　あたらしいです

適当(てきとう)な絵(え)を選(えら)んでください。

I．例　新(あたら)しいです。

練習

1．古(ふる)いです。
2．難(むずか)しいです。
3．長(なが)いです。
4．静(しず)かです。
5．簡単(かんたん)です。
6．重(おも)いです。
7．短(みじか)いです。
8．うるさいです。
9．有名(ゆうめい)です。
10．おもしろいです

II. 例1　おもしろかった。　　例2　おもしろくありません。

練習

1. きれいじゃなかった。
2. 大(おお)きくない。
3. 短(みじか)かった。
4. 静(しず)かでした。
5. 簡単(かんたん)じゃなかった。
6. 古(ふる)くありません。
7. よかったです。
8. 軽(かる)い。
9. 高(たか)かったです。
10. おいしくなかった。

第19課　日本語はむずかしくないですね

適当(てきとう)な絵(え)を選(えら)んでください。

例1　このテープは高(たか)いです。

例2　日本語(にほんご)は難(むずか)しくないですね。

練習

1. このかばんはあまり大(おお)きくないですね。
2. この荷物(にもつ)は軽(かる)くありません。
3. この時計(とけい)は安(やす)かったんですよ。
4. ここは本当(ほんとう)に静(しず)かですね。
5. きのうのテストは簡単(かんたん)でした。
6. ここはとてもきれいですね。
7. となりの部屋(へや)がうるさかったんです。
8. きのう大学(だいがく)の食堂(しょくどう)へ行(い)きました。おいしかったですよ。
9. これ、あまり重(おも)くないよ。
10. きのうの映画(えいが)は長(なが)かったですね。
11. この辞書(じしょ)はよくないですよ。
12. この本(ほん)、高(たか)かった。
13. きのうのテレビはおもしろくなかったです。
14. あのスカートは短(みじか)いですね。
15. あれ有名(ゆうめい)ですよ。見(み)ましょう。

16. きのう映画を見ました。よかったですよ。

17. 私の車はちょっと古いんですけど。

第 20 課　うちへ帰ってべんきょうします

正しい絵を選んでください。

例　うちへ帰って、勉強します。

練習

1．ごはんを食べて、お金を払いました。

2．ここに名前を書いて、はんこを押してください。

3．ここに来て、このいすにすわってください。

4．事務室へ行って、聞きました。

5．サリーさんに電話して、聞きます。

6．カレーを作って、友だちと食べます。

7．図書館に行って、ビデオを借りました。

8．みなさん、電気を消して寝てください。

9．テープレコーダーを借りて、勉強しました。

10. うちに帰って、ごはんを作ります。

第 21 課　へやでお茶をのみました

テープを聞いてから、a か b か選んでください。その後で確かめてください。

例　田中さんは部屋で▼

田中さんは部屋でお茶を飲みました。

練習

1．あしたは図書館で▼

あしたは図書館で勉強します。

2. サリーさんは教室（きょうしつ）に▼

サリーさんは教室（きょうしつ）にいます。

3. 大学（だいがく）の食堂（しょくどう）に▼

大学（だいがく）の食堂（しょくどう）にいてください。

4. 事務室（じむしつ）の前（まえ）で▼

事務室（じむしつ）の前（まえ）で待（ま）ちます。

5. 電車（でんしゃ）の中（なか）で▼

電車（でんしゃ）の中（なか）で本（ほん）を読（よ）みます。

6. この教室（きょうしつ）に▼

この教室（きょうしつ）に入（はい）ってください。

7. 電話（でんわ）は本屋（ほんや）に▼

電話（でんわ）は本屋（ほんや）にありますよ。

8. メッセージはここに▼

メッセージはここに書（か）いてください。

9. バスは東京駅（とうきょうえき）で▼

バスは東京駅（とうきょうえき）で乗（の）ります。

10. この本（ほん）は図書館（としょかん）で▼

この本（ほん）は図書館（としょかん）で借（か）りました。

第22課　何時ですか

正（ただ）しい時刻（じこく）を選（えら）んでください。

I. 例1　男：今（いま）、何時（なんじ）ですか。

女：10時10分（じゅうじじゅっぷん）です。

練習

1．3時20分（さんじにじゅっぷん）です。　2．1時50分（いちじごじゅっぷん）です。　3．4時40分（よじよんじゅっぷん）です。
4．6時10分（ろくじじゅっぷん）です。　5．1時5分（いちじごふん）です。　6．2時45分（にじよんじゅうごふん）です。
7．9時15分（くじじゅうごふん）です。　8．7時35分（しちじさんじゅうごふん）です。　9．11時20分（じゅういちじにじゅっぷん）です。
10．12時55分（じゅうにじごじゅうごふん）です。

Ⅱ．例2　女：今度（こんど）のバス、何時（なんじ）ですか。
男：2時12分（にじじゅうにふん）です。

練習

1．2時4分（にじよんぷん）です。　2．5時6分（ごじろっぷん）です。　3．3時33分（さんじさんじゅうさんぷん）です。
4．10時57分（じゅうじごじゅうななふん）です。　5．12時8分（じゅうにじはっぷん）です。　6．8時（はちじ）です。
7．9時42分（くじよんじゅうにふん）です。　8．4時38分（よじさんじゅうはっぷん）です。　9．7時16分（しちじじゅうろっぷん）です。
10．1時19分（いちじじゅうきゅうふん）です。

第23課　10時からです

例（れい）のように印（しるし）を入（い）れてください。

例1　男：何時（なんじ）に行（い）きますか。
女：7時半（しちじはん）に行（い）きます。

例2　男：何時（なんじ）からですか。
女：10時（じゅうじ）からです。

例3　男：何時（なんじ）ごろ寝（ね）ますか。
女：11時半（じゅういちじはん）ごろですね。

練習

a．男：何時（なんじ）までですか。
女：2時（にじ）までです。

b．男：何時（なんじ）から。
女：8時半（はちじはん）から。

c．男：何時（なんじ）に始（はじ）まりますか。
女：1時（いちじ）に始（はじ）まります。

d．男：何時（なんじ）ごろ終（お）わるんですか。
女：ええっと、5時（ごじ）ごろです。

e．男：何時（なんじ）に開（あ）きますか。
女：4時（よじ）に開（あ）きます。

f．男：バスは何時（なんじ）に来（き）ますか。
女：6時10分（ろくじじゅっぷん）に来（き）ます。

g. 男：図書館(としょかん)は何時(なんじ)まで。
　女：夜(よる)9(く)時(じ)半(はん)までよ。

h. 男：何時(なんじ)ごろ起(お)きましたか。
　女：7時20分(しちじにじゅっぷん)ごろです。

i. 男：昼休(ひるやす)みは何時(なんじ)から何時(なんじ)までですか。
　女：12時15分(じゅうにじじゅうごふん)から1時15分(いちじじゅうごふん)までです。

j. 男：この授業(じゅぎょう)は何時(なんじ)から何時(なんじ)までですか。
　女：7時40分(しちじよんじゅっぷん)から9時10分(くじじゅっぷん)までです。

第24課　5月3日

正(ただ)しい数字(すうじ)を書(か)いてください。

例　12月23日(じゅうにがつにじゅうさんにち)

練習

a. 1月1日(いちがつついたち)
b. 4月4日(しがつよっか)
c. 2月3日(にがつみっか)
d. 6月10日(ろくがつとおか)
e. 7月16日(しちがつじゅうろくにち)
f. 8月9日(はちがつここのか)
g. 3月3日(さんがつみっか)
h. 5月5日(ごがついつか)
i. 9月2日(くがつふつか)
j. 10月8日(じゅうがつようか)
k. 11月6日(じゅういちがつむいか)
l. 12月7日(じゅうにがつなのか)
m. 2月12日(にがつじゅうににち)
n. 6月11日(ろくがつじゅういちにち)
o. 7月20日(しちがつはつか)
p. 9月28日(くがつにじゅうはちにち)
q. 12月19日(じゅうにがつじゅうくにち)
r. 4月24日(しがつにじゅうよっか)
s. 3月18日(さんがつじゅうはちにち)
t. 8月27日(はちがつにじゅうしちにち)

第25課　ちょっと休みたいです

I. したいと言(い)っていますか。したくないと言(い)っていますか。例(れい)のように○(まる)か×(ばつ)か書(か)いてください。

例1　水(みず)が飲(の)みたいです。

例2　あれは買(か)いたくないです。

練習

1. ちょっと休(やす)みたいです。
2. あしたは行(い)きたくないです。

3．うちへ帰(かえ)りたいです。

4．きょうは練習(れんしゅう)したくないです。

5．ここにはすわりたくないです。

6．来週(らいしゅう)旅行(りょこう)したいです。

7．田中(たなか)さんには会(あ)いたくありません。

8．切符(きっぷ)を予約(よやく)したいです。

9．あの人(ひと)には相談(そうだん)したくありません。

10．先生(せんせい)にお願(ねが)いしたいです。

II．適当(てきとう)な絵(え)を選(えら)んでください。

例1　うちへ帰(かえ)りたいんですが。

例2　すわりたくないです。

練習II-1

1．これが使(つか)いたいですね。

2．日本(にほん)では働(はたら)きたくないんです。

3．ビールは飲(の)みたくないんですけど。

4．あの人(ひと)に会(あ)いたいですね。

5．いっしょに旅行(りょこう)したいですね。

6．あれは買(か)いたくないですね。

7．その本(ほん)が読(よ)みたいんです。

8．あしたは行(い)きたくありません。

9．あの人(ひと)にあげたいんです。

10．早(はや)く寝(ね)たいんですけど。

練習II-2

1．これ、使(つか)いたいね。

2．もう働(はたら)きたくないよ。

3．早(はや)く寝(ね)たい。

4．ビールは飲(の)みたくないんだけど。

5．あの人(ひと)にあげたいんだ。

6．あしたは行(い)きたくないんだけど。

7．その本、読みたい。

8．あれは買いたくないね。

9．いっしょに旅行したいね。

10．あの人に会いたいね。

第26課　あたまがいたいんです

女の人は「～んです」を使っていますか。使っていたら、（　　）に○を書いてください。

例1　男：どうしたんですか。

女：頭が痛いんです。

例2　男：あした来ますか。

女：ええ、来ます。

練習

1．男：いいカメラですね。

女：ええ、先週買ったんです。

2．男：もしもし、山本さんですか。

女：はい、山本です。

3．男：ねえ、ちょっと来て。

女：あ、すみません、今から出かけるんです。

4．男：あした、いっしょに映画に行きませんか。

女：ああ、あしたは友だちのうちへ行くんです。

5．男：いっしょに食事しませんか。

女：あ、いいですね。行きましょう。

6．男：どうしたんですか。

女：わたしのかばんがないんです。

7．女：もしもし。

男：はい、グランドホテルでございます。

女：あの、あしたの晩(ばん)、予約(よやく)したいんですけど。

8．男：田中(たなか)さんは、いませんね。

女：ええ、田中(たなか)さん、きのうから病気(びょうき)なんです。

9．男：その本(ほん)おもしろいですか。

女：ええ、とてもおもしろいですよ。

10．男：山田(やまだ)さんに電話(でんわ)した。

女：いいえ、電話番号(でんわばんごう)がわからないんです。

11．男：サリーさんのアパートは静(しず)かですか。

女：ええ、とっても静(しず)かですよ。

12．男：ぼくは来月会社(らいげつかいしゃ)をやめるんですよ。

女：えっ、やめるんですか。

第27課　ここには入らないでください

Ⅰ．(　　)(かっこ)に動詞(どうし)の「ない形(けい)」を書(か)いてください。

例　まだ帰(かえ)らないでください。

練習

1．行(い)かないでください。

2．まだ来(こ)ないでください。

3．これに乗(の)らないでください。

4．立(た)たないでください。

5．言(い)わないでください。

6．待(ま)たないでください。

7．見(み)ないでください。

8．死(し)なないでください。

9．まだ買(か)わないでください。

10．ここで寝(ね)ないでください。

Ⅱ．正(ただ)しい絵(え)を選(えら)んでください。

例　ここには入(はい)らないでください。

練習

1．書かないでください。
2．あっ、消さないでください。
3．話さないでください。
4．ここにすてないでください。
5．閉めないでください。
6．ここに止めないでください。
7．遅れないでください。
8．これは使わないでください。

第28課　えんぴつでかいてもいいですか

aかbか選んでください。

例　あの、ペンを持っていないんですけど、えんぴつで

a．書いてもいいですか。

b．消してもいいですか。

練習

1．あのう、ちょっと暑いんですけど、ヒーターを

a．つけてもいいですか。

b．消してもいいですか。

2．すいません、これ、コピーしたいんですけど、コピー機

a．使ってもいいですか。

b．消してもいいですか。

3．ちょっと頭が痛いので、

a．返してもいいですか。

b．帰ってもいいですか。

4．かさがないんですが、このかさ

a．借りてもいいですか。

b．貸してもいいですか。

5．映画(えいが)に行(い)くんですか。私(わたし)もいっしょに

a．来(き)てもいいですか。

b．行(い)ってもいいですか。

6．これ、買(か)いたいんですけど、クレジットカードで、

a．入(はい)ってもいいですか。

b．払(はら)ってもいいですか。

7．たくさんりんごがありますね。1(ひと)つ

a．習(なら)ってもいいですか。

b．もらってもいいですか。

8．このかばんここに

a．押(お)してもいいですか。

b．置(お)いてもいいですか。

9．もう寝(ね)るので、電気(でんき)を

a．貸(か)してもいいですか。

b．消(け)してもいいですか。

10．先生(せんせい)、あの、ちょっと質問(しつもん)を

a．聞(き)いてもいいですか。

b．してもいいですか。

第29課　すわってもいいですか

絵(え)を見(み)てa、b、cの中(なか)から選(えら)んでください。

例1-1　a.吸(す)ってもいいですか。

b.すわってもいいですか。

c.してもいいですか。

例1-2　a.いいえ、すわらないでください。

b.いいえ、吸(す)わないでください。

c.いいえ、しないでください。

練習

1-1. a.あの、吸(す)ってもいいですか。
b.あの、住(す)んでもいいですか。
c.あの、すわってもいいですか。

1-2. a.いいえ、吸(す)わないでください。
b.いいえ、住(す)まないでください。
c.いいえ、すわらないでください。

2-1. a.起(お)きてもいいですか。
b.つけてもいいですか。
c.開(あ)けてもいいですか。

2-2. a.いいえ、起(お)きないでください。
b.いいえ、開(あ)けないでください。
c.いいえ、つけないでください。

3-1. a.開(あ)けてもいいですか。
b.つけてもいいですか。
c.入(はい)ってもいいですか。

3-2. a.いいえ、入(はい)らないでください。
b.いいえ、開(あ)けないでください。
c.いいえ、つけないでください。

4-1. a.消(け)してもいいですか。
b.貸(か)してもいいですか。
c.閉(し)めてもいいですか。

4-2. a.いいえ、貸(か)さないでください。
b.いいえ、閉(し)めないでください。
c.いいえ、消(け)さないでください。

5-1. a.これ、すててもいいですか。
b.これ、してもいいですか。
c.これ、すわってもいいですか。

5-2. a.いいえ、すわらないでください。
b.いいえ、しないでください。
c.いいえ、すてないでください。

第30課　あいています

絵(え)を見(み)てａ、ｂ、ｃの中(なか)から選(えら)んでください。

例１　ａ．開(あ)いていますよ。
ｂ．ついていますよ。
ｃ．消(き)えていますよ。

例２　ａ．開(あ)いていますよ。
ｂ．ついていますよ。
ｃ．消(き)えていますよ。

練習

１．ａ．消(き)えていますよ。
ｂ．ついていますよ。
ｃ．閉(し)まっていますよ。

２．ａ．閉(し)まってる。
ｂ．消(き)えていますよ。
ｃ．開(あ)いていますよ。

3．a．あ、落ちているよ。
　　b．消えているよ。
　　c．閉まっているよ。

4．a．開いているよ。
　　b．閉まっているよ。
　　c．ついているよ。

5．a．閉まってる。
　　b．落ちてる。
　　c．消えてる。

6．a．ついていますね。
　　b．開いていますね。
　　c．消えていますね。

7．a．開いていますね。
　　b．ついていますね。
　　c．落ちていますね。

8．a．ついていますよ。
　　b．閉まっていますよ。
　　c．消えていますよ。

9．a．閉まってる。
　　b．消えてる。
　　c．落ちてる。

10．a．落ちてますよ。
　　b．消えていますよ。
　　c．閉まっていますよ。

11．a．消えています。
　　b．開いています。
　　c．ついてるよ。

12．a．閉まっていますよ。
　　b．落ちていますよ。
　　c．消えていますよ。

第31課　しっていますか

「～ている」「～ていない」が入っているときは○、入っていないときは×を書いてください。

例　男：あの人、知っていますか。
　　女：いいえ、知りません。

練習

1．男：ペン、持っていますか。
　　女：いいえ、持っていません。

2. 男：もう、聞きましたか。
女：ええ、きのう聞きました。

3. 男：もう、聞きましたか。
女：まだ、聞いていません。

4. 男：きのう、行きましたか。
女：ええ、行きました。

5. 男：もう、行きましたか。
女：いいえ、まだ行っていません。

6. 男：結婚してる。
女：ええ、してます。

7. 男：いつ結婚したんですか。
女：先月したんです。

8. 男：もう、始まっている。
女：ええ、今始まりました。

9. 男：これ、もう読んだ。
女：ううん、まだ読んでない。

10. 男：これ読む。
女：あ、それもう読んだ。

11. 男：この漢字、知っていますか。
女：知りません。

12. 男：この漢字は知ってる。
女：うん、知ってる。

13．男：手紙、もう出した。

　　女：いいえ、まだ出していません。

14．男：手紙、もう出した。

　　女：あした出します。

第32課　車をもっていますか

「～ている」「～ていない」が入っているときは○、入っていないときは×を書いてください。

例　男：ねえ、車持っていますか。

　　女：去年持っていたけど、今は持っていないんです。

練習

1．男：もうこの漢字、習いましたか。

　　女：いいえ、まだです。来週習います。

2．男：田中さん来ましたか。

　　女：いいえ、きょうは来ません。あした来ますよ。

3．男：もう図書館に本、返しましたか。

　　女：まだ返していないんです。

4．男：子どものとき、どこに住んでいたんですか。

　　女：アメリカに住んでいました。

5．男：レストランの予約、きょうするんですか。

　　女：予約。もうしましたよ。きのうしたんです。

6．男：もうおふろ入った。

　　女：まだです。今入ります。

7．男：私の名前、もう忘れたんですか。
女：いいえ、忘れていません。

8．男：アリさん、もう国から帰ったんですか。
女：さあ、きのうはまだ帰っていませんでしたけど。

9．男：ヒーターついてる。
女：もうついてるわよ。

10．男：この辞書、新しいですね。
女：ええ、まだぜんぜん使っていないんです。

11．男：サリーさんにもうプレゼントあげましたか。
女：まだ買ってないんです。

12．男：あれっ。ボールペンがない。どこかなあ。
女：そこに落ちてますよ。

13．男：サリーさんは鈴木さんと結婚するんですか。
女：えっ。サリーさんはもう結婚しているんですよ。

14．男：まだ終わっていないんですか。
女：ええ、今始まるんです。

15．男：まだ始まってないんですか。
女：今終わったんですよ。

第33課　先生はいつ日本にいらっしゃいましたか

先生と学生が話しています。学生が使っている尊敬語はどの動詞ですか。下から選んで、書いてください。

［いる　行く　来る　食べる　飲む　言う　見る　する］

例　　学生：グリーン先生、先生はいつ日本にいらっしゃいましたか。

　　　先生：今年の４月です。

練習

1．学生：先生、あしたは何時まで研究室にいらっしゃいますか。

　　先生：あしたですか。１時ごろまでいますよ。その後会議がありますから。

2．学生：先生は休みの日、何をなさいますか。

　　先生：うーん、そうですね、子どもといっしょにテニスとか。

3．学生：先生、ここから駅までは、バスでいらっしゃいますか。

　　先生：いや、車です。

4．学生：先生はお酒をめしあがりますか。

　　先生：いえ、ぜんぜんだめなんですよ。

5．学生：先生はこの映画をご覧になりましたか。

　　先生：ええ、おもしろい映画ですね。

6．学生：あしたのコンパでは、何をめしあがりますか。

　　先生：そうですね、サンドイッチとピザがいいですね。

7．学生：先生、今何ておっしゃたんですか。

　　先生：来週、試験をします。

第 34 課　先生はすぐいらっしゃいますよ

事務室の人と学生が先生について話しています。どの動詞の尊敬語を使っていますか。下から選んで書いてください。

［いる　行く　来る　食べる　飲む　言う　見る　する］

例　　学生　：あのう、木村先生は会議ですか。

　　　事務員：いや。でも、すぐいらっしゃいますよ。

練習

1．学生　：あのう、木村先生は今研究室ですか。
　事務員：いや、研究室にはいらっしゃいませんよ。今、会議中ですから。

2．学生　：すみません。木村先生はきょうお休みですか。
　事務員：ええ、かぜで休むとおっしゃっていました。

3．学生　：木村先生はどちらですか。
　事務員：図書館で仕事をなさっています。

4．学生　：きょうのコンパは、ビール20本でいいですか。
　事務員：ああ、そうですね。先生方もめしあがりますから。

5．学生　：あのう、木村先生はおすしをめしあがりますか。
　事務員：ええ、よくめしあがりますよ。

6．学生　：あの、木村先生はどちらでしょうか。
　事務員：木村先生。あ、あそこです。テレビをご覧になっていますよ。

7．学生　：今週は、木村先生の授業、ないんでしょうか。
　事務員：ええ、会議があるので、アメリカへいらっしゃったんです。

第35課　おなかがいたいんです

どこがよくないですか。正しいものを選んでください。

例　医者：どうしましたか。
　患者：あの、おなかが痛いんです。

練習

1．医者：どうしましたか。
　患者：ころんで、手にけがをしたんです。

2．医者：どうしたんですか。

患者：ちょっと鼻(はな)が。

3．医者：どうしましたか。

患者：きのうから、右(みぎ)の耳(みみ)が痛(いた)いんですけど。

4．医者：どうしたんですか。

患者：きのうの夜(よる)から、頭(あたま)が痛(いた)いんです。

5．医者：どうなさいましたか。

患者：のどが痛(いた)いんです。

6．医者：どうしました。

患者：自転車(じてんしゃ)に乗(の)っていて、ころんで足(あし)にけがをしたんです。

7．医者：どうしましたか。

患者：この歯(は)が痛(いた)いんです。

8．医者：どうしましたか。

患者：重(おも)い物(もの)を持(も)って、腰(こし)が痛(いた)くなったんです。

9．医者：どうしましたか。

患者：コンピュータを使(つか)っていて、肩(かた)が痛(いた)くなったんです。

第36課　かぜをひいたので病院へ行きます

会話(かいわ)を聞(き)いてください。その後(あと)で、正(ただ)しい文(ぶん)をａ、ｂ、ｃから選(えら)んでください。

例　女：鈴木(すずき)さん、どこへ行(い)くの。

男：ああ、病院(びょういん)。ちょっとかぜひいたんだ。

ａ．鈴木(すずき)さんは病院(びょういん)へ行(い)ったのでかぜをひきました。

ｂ．鈴木(すずき)さんは病院(びょういん)へ行(い)ったのでよくなりました。

ｃ．鈴木(すずき)さんはかぜをひいたので病院(びょういん)へ行(い)きます。

練習

1．女：鈴木さん、どうして宿題をしなかったんですか。

男：すみません。きのうは熱があったんです。

a．鈴木さんは熱があったので宿題をしませんでした。

b．鈴木さんは宿題をしたので熱がありました。

c．鈴木さんは熱があったので宿題をしました。

2．男：サリーさん、国へ帰るんですか。

女：ええ、母が病気なんです。

a．サリーさんは、国へ帰るのでお母さんが病気です。

b．サリーさんは、お母さんが病気なので国へ帰ります。

c．サリーさんは、お母さんが病気なので国へ帰りません。

3．女：鈴木さん、本は買いましたか。

男：いいえ、まだです。本屋が休みだったので。

a．鈴木さんは、本を買ったので本屋が休みでした。

b．鈴木さんは、本屋が休みだったので本を買いました。

c．鈴木さんは、本屋が休みだったので本を買いませんでした。

4．女：鈴木さん、昼ご飯を食べないんですか。

男：ええ、食欲がないんです。

a．鈴木さんは食欲がないので食べません。

b．鈴木さんは食欲があったので食べました。

c．鈴木さんは食べたので食欲がありません。

5．女：鈴木さん、ここ暑いですね。

男：ええ、じゃあ、窓、開けましょう。

a．窓を開けたので暑いです。

b．暑いので窓を開けました。

c．暑いので窓を開けませんでした。

6．A：今晩、カラオケに行く。

B：いやあ、今晩はちょっと。あした試験なんだ。

a．あした試験なのでカラオケに行きます。

b．カラオケに行くのであした試験があります。

c．あした試験なのでカラオケに行きません。

第37課　きょうはおそくなると言っていました

サリーさんは何と言いましたか。下から選んでください。

例　男：サリーさんから電話ありましたか。（はい）何て言ってましたか。

女：きょうは遅くなると言っていました。

練習

1．男：サリーさんから電話ありましたか。（はい）何て言ってましたか。

女：どうぞよろしくと言ってました。

2．男：サリーさんから電話ありましたか。（はい）何て言ってましたか。

女：あした会いたいと言ってました。

3．男：サリーさんから電話ありましたか。（はい）何て言ってましたか。

女：楽しかったと言ってました。

4．男：サリーさんから電話あった。（うん）何て言ってた。

女：どうもありがとうって言ってた。

5．男：サリーさんから電話あった。（うん）何て言っていた。

女：今、駅についたって言ってた。

6．男：サリーさんから電話あった。（うん）何て言っていた。

女：2時間待ったって言ってた。

7．男：サリーさんから電話あった。（うん）何てってた。

女：2時に帰ったって言ってた。

8．男：サリーさんから電話あった。（うん）何てってた。

女：国へ帰るって。

9．男：サリーさんから電話あった。（うん）何てってた。

女：元気だって。

10．男：サリーさんから電話あった。（うん）何てってた。

女：うん、さようならって。

第38課　小さい、高い、しずかな、げんきな

I． 絵を見ながらテープを聞いて（かっこ）に形容詞を書いてください。

例　高い山ですね。

練習

1．暗い道があるから気をつけて。
2．短いかみがいいよ。
3．広い部屋に住みたいな。
4．あの古いビルのとなりです。
5．簡単な問題でした。
6．にぎやかな町に行きました。
7．おもしろい映画を見ました。
8．低いテーブルを買いました。

II．（かっこ）に「い」か「な」か「の」を書いてください。いらないときは、×を入れてください。

例　あれはやさしいテストでした。

練習

1．元気な子どもですね。
2．あれは有名な大学ですよ。
3．きのう緑のバッグを買いました。
4．おいしいコーヒーが飲みたいですね
5．あの店は静かな店ですね。
6．日本はせまい道が多いです。
7．もう少し大きいセーター、ありますか。

8．たんじょう日にきれいな花をもらいました。

9．あの人はうるさい人ですね。

10．先週、おもしろい映画を見ました。

第39課　アメリカのほうが日本より広いです

I． aかbか選んでください。

例　アメリカのほうが日本より広いです。

練習

1．電車のほうがタクシーより速いです。

2．東京のほうが京都よりにぎやかです。

3．うどんよりそばのほうがおいしいです。

4．月より地球のほうが大きいです。

5．赤のほうが青よりいいです。

6．東京よりパリのほうが寒いです。

7．ロンドンより東京のほうが物価が高いです。

8．自転車のほうが車より便利です。

9．今週より来週のほうがひまです。

10．これよりあれのほうがおいしいです。

II． 正しいものには○、間違っているものには×を書いてください。

例　ピーターさんはサリーさんより背が高いです。

練習

1．サリーさんは田中さんより背が低いです。

2．アリさんはピーターさんより年上です。

3．木村さんはサリーさんよりかみが短いです。

4．田中さんは木村さんより背が高いです。

5．アリさんは木村さんより年上です。

6．ピーターさんはサリーさんより年下です。

第40課　もうお買いになりましたか

女の人の使っている動詞の辞書形を書いてください。

例1　女：あの本、もうお買いになりましたか。

男：いえ、まだなんですよ。

例2　女：どうぞお使いください。

男：あ、すいません。

練習

1．女：もう少し、お待ちになりますか。

男：ええ、そうします。

2．女：コーヒー、お飲みになりますか。

男：あ、すいません。いただきます。

3．女：どうぞお入りください。

男：じゃ、しつれいします。

4．女：この本、もうお読みになりましたか。

男：いいえ、まだなんです。

5．女：きのう田中さんにお会いになりましたか。

男：ええ、お元気でしたよ。

6．女：お疲れになりましたか。

男：いえ、だいじょうぶです。

7．女：どうぞおすわりになってください。

男：あ、すいません。

8．女：おわかりになりましたか。

男：ううん、まだちょっと。

9．女：この本、林先生がお書きになったんですよ。

　　男：ああ、そうですか。いい本ですね。

10．女：クラシック音楽、お聞きになりませんか。

　　男：ええ、いいですね。

第41課　この家はやねがチョコレートです

右と左のことばを線でむすんでください。

例　この家はやねがチョコレートです。

練習

1．この家はドアがビスケットです。
2．この家は窓がドーナツです。
3．この家はかべがキャンディーです。
4．この家はテーブルがおせんべいです。

5．私の先生は目が大きいです。
6．私の先生は足が短いです。
7．私の先生はかみが少ないです。

8．東京は物価が高いです。
9．東京は人と車が多いです。
10．東京は電車が便利です。

11．このコートはポケットがたくさんあります。
12．このコートはちょっとそでが長いです。
13．このコートはデザインがあまりよくないです。

第42課　あした雨がふったらへやで勉強します

ａかｂか選んでください。

例　あした雨が降ったら、どうしますか。
　ａ．外で勉強します。
　ｂ．部屋で勉強します。

練習

1．暑かったら、どうしますか。
　ａ．ヒーターをつけます。
　ｂ．ヒーターを消します。

2．きょう仕事が終わったら、どうしますか。
　ａ．買物をします。
　ｂ．仕事をします。

3．お金がなかったら、どうしますか。
　ａ．友だちに貸します。
　ｂ．友だちに借ります。

4．熱があったら、どうしますか。
　ａ．休みます。
　ｂ．働きます。

5．荷物が来なかったら、どうしますか。
　ａ．電話をします。
　ｂ．荷物を送ります。

6．山田さんがいなかったら、どうしますか。
　ａ．山田さんと話します。
　ｂ．他の人と話します。

7．部屋が暗くなったら、どうする。
　ａ．電気をつけます。
　ｂ．電気を消します。

8．寒かったら、どうする。
　ａ．ヒーターをつけます。
　ｂ．ヒーターを消します。

9．部屋がきれいだったら、どうする。
　ａ．そうじします。
　ｂ．そうじしません。

10．スーパーが休みだったら、どうする。
　ａ．スーパーへ行きます。
　ｂ．スーパーへ行きません。

第43課　むずかしいと思います

鈴木さんが意見を言います。ａかｂか選んでください。

例　Ａ　：鈴木さん、この本は難しいですか。

鈴木：ええ。▼難しいと思います。

練習

１．Ａ　：鈴木さん、田中さんはきょう来ますか。

鈴木：ええ。▼来ると思います。

２．Ａ　：鈴木さん、この本はいいですか。

鈴木：ええ。▼いいと思います。

３．Ａ　：鈴木さん、田中さんは今教室にいますか。

鈴木：いいえ。▼いないと思います。

４．Ａ　：鈴木さん、山下さんは元気ですか。

鈴木：ええ。▼元気だと思います。

５．Ａ　：鈴木さん、あの人はもう結婚していますか。

鈴木：いいえ。▼結婚していないと思います。

６．Ａ　：鈴木さん、図書館は今開いていますか。

鈴木：ええ。▼開いていると思います。

７．Ａ　：鈴木さん、あのデパートはきょう休みですか。

鈴木：ええ。▼休みだと思います。

８．Ａ　：鈴木さん、あの映画はいいですか。

鈴木：いいえ。▼よくないと思います。

９．Ａ　：鈴木さん、田中さんはもう帰りましたか。

鈴木：ええ。▼帰ったと思います。

10. A　：鈴木さん、これ何だと思いますか。

鈴木：ううん。▼食べ物だと思います。

第44課　右にまがるとありますよ

絵を見てａ、ｂ、ｃの中から選んでください。

例　男Ａ：バス停はどこですか。

男Ｂ：あの交差点の手前にありますよ。

男Ａ：交差点の手前ですね。

練習

1．男Ａ：あの、この辺に郵便局ありますか。

男Ｂ：あの信号の先ですよ。

男Ａ：信号の先ですね。

2．男Ａ：すみません、デパートはどこでしょうか。

男Ｂ：この道をまっすぐ行くと、ありますよ。

男Ａ：この道をまっすぐですね。

3．男Ａ：あの、銀行どこでしょうか。

男Ｂ：ええっと、2つ目の交差点を右に曲がるとありますよ。

男Ａ：あ、2つ目の交差点を右ですね。

4．男Ａ：この辺に銀行がありますか。

男Ｂ：んん。2つ目の交差点を左にまがると、公園があるんですけど、その公園の向かいにありますよ。

男Ａ：公園の向かいですね。

5．男Ａ：あの、バス停はどこでしょうか。

男Ｂ：その角を曲がると、ありますよ。

男Ａ：角を曲がるんですね。

6．男A：この辺にバス停ありますか。

　　男B：ええ、その橋を渡るとありますよ。

　　男A：あ、橋を渡るんですね。

7．男A：あの、郵便局はどこですか。

　　男B：ええっと、あの歩道橋を渡るとすぐありますよ。

　　男A：歩道橋を渡るんですね。

8．男A：あの、この辺に銀行ありますか。

　　男B：この道をまっすぐ行くと、左側にありますよ。

　　男A：まっすぐ行って、左ですね。

第45課　はやく帰ったほうがいいですよ

女の人はどんなアドバイスをしましたか。適当な方を選んでください。

例1　女：はやく帰ったほうがいいですよ。

　　男：そうだね。

例2　女：それは買わないほうがいいですよ。

　　男：あ、そうですか。じゃあ。

練習

1．女：ドアを閉めたほうがいいわよ。

　　男：あ、そうだ。

2．女：東京は、車で行かないほうがいいわよ。

　　男：あ、そう。

3．女：これ、田中さんには見せないほうがいいよ。

　　男：あ、そうか。

4．女：コンピュータを使ったほうがいいですよ。

　　男：そうだね。

5．女：うるさいから、窓(まど)は開(あ)けないほうがいいよ。

　男：あ、ほんとう。

6．女：英語(えいご)で説明(せつめい)したほうがいいよ。

　男：あ、そう。

7．女：それは、今(いま)、決(き)めないほうがいいですよ。

　男：そうですか。

8．女：あしたは、早(はや)く起(お)きたほうがいいよ。

　男：そうだね。

9．女：この本屋(ほんや)では、注文(ちゅうもん)しないほうがいいですよ。

　男：あ、そう。

10．女：ホテルは早(はや)く予約(よやく)したほうがいいですよ。

　男：あ、そうですか。

第46課　おきてからコーヒーを飲みました

テープを聞(き)いて、順番(じゅんばん)を(かっこ　)に書(か)いてください。

例1　朝起(あさお)きてから、コーヒーを飲(の)みました。

例2　テレビを見(み)るまえに、手紙(てがみ)を書(か)きました。

練習

1．新聞(しんぶん)を読(よ)んだあとで、テニスをしました。

2．バスに乗(の)るまえに、お金(かね)を払(はら)いました。

3．家(いえ)に帰(かえ)ってから、5時間(ごじかん)、勉強(べんきょう)しました。

4．辞書(じしょ)を買(か)ってから、専門(せんもん)の本(ほん)を読(よ)みました。

5．たばこを吸(す)うまえに、窓(まど)を開(あ)けました。

6．薬(くすり)を買(か)うまえに、病院(びょういん)に行(い)きました。

7．食事(しょくじ)をしたあとで、映画(えいが)を見(み)ました。

8. 出かけてから、電話をしました。
9. 大学に入るまえに、働きました。
10. ドアを開けてから、電気をつけました。

第47課　何をしていますか

Aから Hのどの人ですか。選んでください。

例　高橋さんは電話ボックスで電話をしています。

練習

1. 小林さんは公園で絵をかいています。
2. 藤本さんは男の人で、バス停でバスを待っています。
3. 山本さんはきれいな女の人といっしょに歩いています。
4. 清水さんはベンチにすわってギターをひいています。
5. 酒井さんはバス停で時計を見ています。
6. 三宅さんはベンチにすわって本を読んでいます。
7. 丹羽さんは小さい女の子と散歩しています。

第48課　すずきさんがくれました

これはサリーさんと山田さんの会話です。(　　)に　←　か　→　を書いてください。

例　山田　：サリーさん、きれいな花ですね。どうしたんですか。
　　サリー：鈴木さんがくれたんです。

練習

1. 山田　：サリーさん、たくさんチョコレート持っていますね。
　　サリー：ええ、ボーイフレンドにあげるんです。

2. サリー：山田さん、その時計いいですね。
　　山田　：そう。田中さんにもらったんです。

3．サリー：山田さん、この写真１枚くれませんか。
　　山田　：もちろん、いいですよ。サリーさん。どうぞ。

4．山田　：わあ。サリーさん、すてきですね。どうしたんですか。
　　サリー：これ。鈴木さんがくれたセーターなんです。

5．サリー：山田さん、この本どこで買ったんですか。
　　山田　：これは、買ったんじゃないんです。木村先生がくださったんです。

6．サリー：木村先生に映画の切符をいただいたんですけど、いっしょに行きませんか。
　　山田　：ええ、いいですね。

7．山田　：大きいケーキですね。
　　サリー：ええ、木村先生にさしあげるんです。

8．サリー：山田さん、それ、いい辞書ですね。
　　山田　：そう。サリーさん、じゃ、あげますよ。
　　サリー：わあ。どうもありがとう。山田さん。

9．山田　：サリーさん、このお菓子もらってもいいですか。
　　サリー：ええ、どうぞ、食べてください。

10．山田　：サリーさん、このインドの切手、くれませんか。
　　サリー：ええ。いいですよ。

第49課　山田さんが行ったきっさてんです

（　　）にａかｂか書いてください。

例　女：山田さん、これどこですか。
　　男：これ、大学の近くにある喫茶店。学生のときよく行ったんだ、この喫茶店。

a．これは山田さんが行った喫茶店です。

b．これは山田さんが行く喫茶店です。

練習

1．女：この本、どうしたの。

男：ああ、図書館で借りたんだ。

女：あ、そう。

a．これは図書館で借りる本です。

b．これは図書館で借りた本です。

2．男：サリーさん、今忙しい。

女：うん。今からこの論文読むの。

a．これはサリーさんが読んだ論文です。

b．これはサリーさんが読む論文です。

3．女：鈴木さん、この映画、知ってる。

男：うん。今度見るんだ、友だちと。

a．これは鈴木さんが見る映画です。

b．これは鈴木さんが見た映画です。

4．男：サリーさん、このお菓子、どうしたの。

女：これ、私が作ったの。おいしいわよ。

a．これはサリーさんの作ったお菓子です。

b．これはサリーさんの作るお菓子です。

5．男：この古いアパートにだれが住んでいるのかな。

女：アリさんが住んでいるんですよ。

a．これはアリさんが住むアパートです。

b．これはアリさんが住んでいるアパートです。

6．女：この写真(しゃしん)の人(ひと)、だれ。きれいですね。

男：北海道(ほっかいどう)で会(あ)ったんです。

a．これは北海道(ほっかいどう)で会(あ)う人(ひと)です。

b．これは北海道(ほっかいどう)で会(あ)った人(ひと)です。

7．男：あ、それ、ぼくにくれるの。

女：ちがいますよ。これは田中(たなか)さんにあげるんですよ。

a．これは田中(たなか)さんにあげたプレゼントです。

b．これは田中(たなか)さんにあげるプレゼントです。

第50課　駅前でバスをおります

テープを聞(き)いてからaかbか選(えら)んでください。その後(あと)で確(たし)かめてください。

例1． 駅前(えきまえ)でバスを▼

駅前(えきまえ)でバスを降(お)ります。

例2． 東京駅(とうきょうえき)でバスに▼

東京駅(とうきょうえき)でバスに乗ります。

練習

1．大阪(おおさか)まで飛行機(ひこうき)で▼

大阪(おおさか)まで飛行機(ひこうき)で行(い)きました。

2．田中(たなか)さんはタクシーを▼

田中(たなか)さんはタクシーを呼(よ)びました。

3．サリーさんと図書館(としょかん)で▼

サリーさんと図書館(としょかん)で会(あ)います。

4．駅(えき)で中山(なかやま)さんを▼

駅(えき)で中山(なかやま)さんを見(み)ました。

5．大学(だいがく)の事務室(じむしつ)で▼

大学(だいがく)の事務室(じむしつ)で相談(そうだん)しました。

6．大学のキャンパスを▼
大学のキャンパスを歩きました。

7．まっすぐ行ってあの橋を▼
まっすぐ行ってあの橋を渡ってください。

8．まっすぐ行くと橋が▼
まっすぐ行くと橋があります。

9．いいアパートを▼
いいアパートを見つけました。

10．ボールペンで▼
ボールペンで書いてください。

11．ボールペンを▼
ボールペンを貸してください。

12．おもしろい本を▼
おもしろい本を読みました。

13．この本は田中さんに▼
この本は田中さんにもらいました。

14．中山さんは部屋を▼
中山さんは部屋をきれいにしました。

15．入口の電気が▼
入口の電気が消えましたよ。

16．部屋の電気を ▼
部屋の電気を消しました。

17. 日本の円が▼
日本の円が高くなりました。

18. だんだんお金が▼
だんだんお金が少なくなりました。

第51課　田中さんが日本語をおしえてくれました

してもらった人に○をつけてください。

例1　田中さんが日本語を教えてくれました。

例2　田中さんがサリーさんに英語を教えてもらいました。

練習

1. アリさんは田中さんに本を買ってあげました。
2. アリさんは田中さんに本を買ってもらいました。
3. 先生がプレゼントを送ってくださいました。
4. 先生にプレゼントを送ってさしあげました。
5. 田中さんがドアを開けてくれました。
6. 田中さんがサリーさんにドアを開けてあげました。
7. 妹は田中さんに部屋をそうじしてもらいました。
8. 妹が田中さんの部屋をそうじしてあげました。
9. 母にセーターを選んであげました。
10. 母がセーターを選んでくれました。
11. 先生に日本の料理を作っていただきました。
12. 先生に日本の料理を作ってさしあげました。
13. 先生が日本の料理を作ってくださいました。
14. 田中さんが友だちの仕事を手伝ってあげました。
15. 田中さんは友だちに仕事を手伝ってもらいました。
16. 友だちに仕事を手伝ってもらいました。

第52課　サリーさんは漢字が100読めます

動詞が可能形の時は○を書いてください。

例1　サリーさんは漢字が100読めます。

例2　私はとうふは食べません。

練習

1. サリーさんのアパートに行ったけど、会えなかったよ。
2. 仕事がたくさんあるから、まだ帰れないんだよ。
3. きのう、夜遅くまで勉強したので、朝起きられなかった。
4. きのうカラオケで歌を歌った。
5. となりの部屋がうるさくて寝られません。
6. 日本の着物が着たいんですが。
7. みなさん、旅行の予定が変わりましたよ。
8. お酒は好きですが、日本では飲みません。
9. スプーンありますか。まだ、はしが上手に使えないんです。
10. 橋がこわれていたので、渡れなかったんです。
11. まだ疲れてないから、休みません。
12. この着物はあしたのパーティーで着ます。
13. 家から大学まで歩いて10分で行けます。
14. あした、クラスに来られないんだ。
15. ここに車を止めたいんですが。

第53課　作ってくれませんか

男の人がしますか。女の人がしますか。する方に○を書いてください。

例　女：作ってくれませんか。

　　男：ええ。

練習

1．女：すみません、これ見てもいいですか。
　　男：ええ。

2．女：ここに送っていただけますか。
　　男：はい。

3．女：これ、ちょっと使ってもいいですか。
　　男：ええ。

4．女：ねえ、あれ、とってもらえない。
　　男：うん。

5．女：まど開けてもいい。
　　男：うん。

6．女：ねえ、ちょっと来てくれる。
　　男：うん。

7．女：これ読んでもいいでしょうか。
　　男：ええ。

8．女：もっと説明してくださいませんか。
　　男：はい。

9．女：少し手伝ってもらえませんか。
　　男：ええ。

10．女：もう帰ってもいい。
　　男：うん。

11．女：写真をとってもよろしいでしょうか。
　　男：ええ。

12．女：ドア閉めてくれない。
　　男：うん。

13. 女：そのかばん、取っていただけませんか。

男：ええ。

14. 女：これ買ってくださいますか。

男：ええ。

15. 女：これ買ってもいい。

男：ええ。

第54課　食べてみてください

「～てみる」の前の動詞をａ、ｂ、ｃの中から選んでください。

例　女：わあ、カレーですね。

男：友だちが来るから作ったんですよ。ちょっと食べてみてください。

練習

1．女：すみません、このセーター、着てみてもいいですか。

男：ええ、どうぞ。

2．女：日本語難しいなあ。

男：じゃ、毎日10時間ぐらい勉強してみたら。

3．女：このジュースおいしい。

男：そう。じゃ、ちょっと飲んでみてもいいかな。

4．女：あれ。このドア、こわれているのかな。

男：じゃ、ぼくが開けてみるよ。

5．女：ピーターさんのお国は。

男：アイスランドなんです。

女：わあ、そうですか。行ってみたいな。

6．女：すみません。『日本の経済』って本さがしているんですけど。

男：ちょっと待ってください。調べてみますから。

7．女：ベートーベンの音楽って、いいですよ。

男：へえ。

女：ほんとにいいんだから。一度聞いてみてくださいよ。

8．女：このコンピュータ、中山さんのですか。

男：うん、きのう買ったんだ。

女：わあ、ちょっと使ってみてもいいですか。

第55課　ふくしゅうをしておきます

女の人は「～てある」を使いましたか。「～ておく」を使いましたか。

例　男：あさってテストをします。

女：じゃ、復習をしておきます。

練習

1．男：ただいま。ああ、おなかがすいた。

女：サンドイッチ作っておいたよ。

2．男：お母さん、ぼくの弁当どこ。

女：もう、かばんに入れてありますよ。

3．男：サリーさん、あしたはゼミの発表がありますね。

女：ええ、きょう発表の練習をしておきます。

4．男：このごみ、すてましょうか。

女：いえ、そのままにしておいてください。

5．男：新幹線、すわれるかな。

女：席はもう予約してありますからだいじょうぶですよ。

6．男：田中さんに連絡しましょうか。
　　女：あ、もう電話してありますよ。

7．男：たばこ、吸ってもいいですか。
　　女：あの、ここに禁煙って書いてあるんですが。

8．男：鈴木さん、どこへ行ったのかな。
　　女：あそこに車が止めてありますけどね。

9．男：3時から会議があるんだけど、いすは。
　　女：もう、並べておきました。

10．男：あした友だちが来るんだ。
　　女：じゃ、部屋をそうじしておいたほうがいいわよ。

第56課　映画を見てきました

Ⅰ．「～てくる」と言っていますか。「～ていく」と言っていますか。どちらかに○を書いてください。

例1　映画を見てきました。

例2　夕ごはんを食べて行きましょう。

練習

1．パンを買ってきます。
2．友だちに聞いてきました。
3．サリーさんが借りていきました。
4．子どもたちを呼んできてください。
5．コーヒーを飲んでいきましょう。
6．お金をおろしてきてください。
7．終わったらそうじをしていってください。
8．宅急便を取ってきます。
9．電話をかけてきます。

10. パーティーに花(はな)を持(も)っていきます。

II. 女(おんな)の人(ひと)の言(い)っている動作(どうさ)は、a、b、cのどの意味(いみ)ですか。選(えら)んでください。

例　男：駅(えき)の近(ちか)くにおいしそうな店(みせ)があるよ。

女：じゃ、そこで夕(ゆう)ごはん食(た)べていきましょう。

練習

1. 男：あ、もうパンないよ。

女：じゃ、買(か)ってきて。

2. 男：寒(さむ)いな。

女：私(わたし)はだいじょうぶ。たくさん着(き)てきたから。

3. 男：テニスのラケット、貸(か)してくれるかな。

女：ごめんなさい。きのうサリーさんが借(か)りていきました。

4. 男：ごはん、できた。

女：ええ、子(こ)どもたちを呼(よ)んできてください。

5. 男：まだ遠(とお)いのかな。疲(つか)れたなあ。

女：そうねえ、あの喫茶店(きっさてん)でコーヒーでも飲(の)んでいきましょうか。

6. 男：旅行(りょこう)の準備(じゅんび)は。

女：終(お)わったわ。ねえ、銀行(ぎんこう)でお金(かね)をおろしてきて。

7. 男：ごめんごめん、ずいぶんきたなくして。

女：いいけど、終(お)わったらそうじしていってね。

8. 男：宅急便(たっきゅうびん)が届(とど)いているってメモがあるよ。

女：あ、そう。じゃ、取(と)ってくる。

9. 男：田中(たなか)さん、遅(おそ)いな。もう、30分(さんじゅっぷん)も待(ま)ってるよ。

女：ほんとね。ちょっと電話(でんわ)をかけてくるわ。

10. 男：あしたのパーティーのプレゼント、考(かんが)えた。
　　女：うん、私(わたし)は花(はな)を持(も)っていくわ。

第57課　だれが来ましたか

女(おんな)の人(ひと)はどちらを使(つか)いましたか。aかbか選(えら)んでください。

例1　女：だれが来(き)ましたか。
　　　男：田中(たなか)さんが来(き)ました。

例2　女：だれか来(き)ましたか。
　　　男：はい、田中(たなか)さんが来(き)ました。

練習

1. 女：だれかいますか。
　　男：いいえ、だれもいません。

2. 女：だれがいますか。
　　男：木村(きむら)さんがいます。

3. 女：だれか待(ま)っているんですか。
　　男：はい、アリさんを待(ま)っているんです。

4. 女：だれが待(ま)っているんですか。
　　男：アリさんが待(ま)っているんです。

5. 女：だれか待(ま)っているんですか。
　　男：ええ、山本(やまもと)さんが待(ま)っているんです。

6. 女：何(なに)が入(はい)っていますか。
　　男：くつが入(はい)っています。

7. 女：何(なに)か入(はい)っていますか。
　　男：いいえ、何(なに)も入(はい)っていません。

8. 女：夏休(なつやす)み、どこか行(い)きましたか。
　　男：いいえ、どこにも行(い)きませんでした。

9．女：夏休み、どこか行った。

男：うん、北海道へ行ったんだ。

10．女：どっちを選んだ。

男：どっちも選ばなかった。

11．女：どっちか選んだ。

男：うん、こっちを選んだ。

12．女：何が見える。

男：富士山が見えるよ。

13．女：何か見える。

男：ううん、何も見えない。

14．女：どれが好き。

男：これが好き。

15．女：どれか使ってみる。

男：うん、これ使ってみる。

第58課　本を読もうと思うんだ

男の人は何をしようと思っていますか。（　　）に動詞の辞書形を書いてください。

例　女：あした何するの。

男：これを読もうと思うんだ。

練習

1．女：あしたデパートに行くんですか。

男：ええ。くつを買おうと思うんです。

2．女：これからどうしますか。

男：うん、もう帰ろうと思います。

3．女：ねえ、どれにする。
　　男：これを使(つか)おうと思(おも)うんだ。

4．女：パーティーの服(ふく)、決(き)まった。
　　男：うん。これを着(き)ようと思(おも)うんだけど。

5．女：国(くに)へ帰(かえ)るんですか。
　　男：ええ、でもまた来(こ)ようと思(おも)っています。

6．女：仕事(しごと)、まだやるんですか。
　　男：いえ、もうやめようと思(おも)うんですが。

7．女：あの本(ほん)、買(か)った。
　　男：ううん。借(か)りようと思(おも)うんだけど。

8．女：まだ帰(かえ)りませんか。
　　男：ええ。もう少(すこ)しここにいようと思(おも)います。

9．女：あした何(なに)をするんですか。
　　男：友(とも)だちに会(あ)おうと思(おも)っています。

10．女：きのう遅(おそ)かったね。
　　男：うん。きょうは早(はや)く寝(ね)ようと思(おも)うんだ。

11．女：どれを買(か)うの。これ。
　　男：うん。これにしようと思(おも)っているんだけど。

12．女：田中(たなか)さんは知(し)ってるんですか。
　　男：いえ、あした言(い)おうと思(おも)います。

第59課　たくさん食べろと言っていました

命令形ですか。「～(よ)う」形ですか。○を書いてください。

例1　女：山田さんは何て言ってましたか。

　　　男：たくさん食べろと言っていました。

例2　女：山田さんは何て言ってましたか。

　　　男：たくさん食べようと言っていました。

練習

1．女：山田さんは何て言っていましたか。

　　男：早く帰ろうと言ってました。

2．女：山田さんは何て言っていましたか。

　　男：早く帰れと言ってました。

3．女：山田さんは何て言ってましたか。

　　男：今電話しろと言ってました。

4．女：山田さんは何て言ってましたか。

　　男：今電話しようと言ってました。

5．女：山田さんは何て言ってましたか。

　　男：今すぐやれって言ってました。

6．女：山田さんは何て言ってましたか。

　　男：今すぐやろうって言ってました。

7．女：山田さんは何て言ってた。

　　男：みんなに聞けって言ってた。

8．女：山田さんは何て言ってた。

　　男：みんなに聞こうって言ってた。

9．女：山田さんは何て言ってたの。
　　男：旅行はやめようって言ってた。

10．女：山田さんは何て言ってたの。
　　男：旅行はやめろって言ってた。

第60課　山田さんは田中さんが買った本を読みました

山田さんは何をしましたか。aかbか選んでください。

例　山田さんは田中さんが買った本を読みました。

練習

1．山田さんは田中さんが作ったケーキを食べました。
2．山田さんは田中さんが書いたレポートを読みました。
3．田中さんがとった写真を山田さんは見ました。
4．山田さんは田中さんが買ってきたワインを飲みました。
5．田中さんがくれたテープを山田さんはなくしました。
6．山田さんは田中さんがなおした自転車に乗りました。
7．田中さんがくつを買ったデパートへ山田さんは行きました。
8．田中さんが英語を教えた人に山田さんは会いました。
9．山田さんは田中さんが貸してくれた辞書をなくしました。
10．田中さんがいつも行く食堂で山田さんはごはんを食べました。

第61課　音楽を聞くのが好きです

次の文には「の」か「こと」がありますか。選んでください。どちらもない時は「X」を選んでください。

例1　音楽を聞くのが好きです。

例2　音楽が好きです。

練習

1. 敬語は難しいですね。
2. 敬語を使うのは難しいですね。
3. あのレストランが高いのは有名ですよ。
4. あのレストランは有名ですよ。
5. サリーさんは料理が上手ですよ。
6. サリーさんは料理を作るのが上手ですよ。
7. 山田さんがサリーさんと歩いているのを見ました。
8. 山田さんとサリーさんを見ました。
9. 橋本さんを待っています。
10. 橋本さんが来るのを待っています。
11. 田中さんが病気なのを知っていますか。
12. 田中さんを知っていますか。
13. 鈴木さんが歌を歌っているのが聞こえました。
14. きれいな歌が聞こえました。
15. 趣味はテニスをすることです。
16. 趣味はテニスです。
17. 専門はロボットです。
18. 専門はロボットを設計することです。

第62課　写真をとってほしいんですが

男の人がしますか。女の人がしますか。する方に○を書いてください。

例1　男：写真をとりたいんですが。

女：えっ、私のですか。困ったなあ。

どちらが写真をとりますか。

例2　男：あの、すいません。写真をとってほしいんですけど。

女：ええ、いいですよ。

どちらが写真をとりますか。

練習

1．男：この料理食べてみてほしいんだけど。
　女：あっ、もちろん。
　　どちらが食べますか。

2．男：何、これ。食べてみたいなあ。いい。
　女：うん。いいよ。
　　どちらが食べますか。

3．男：あした試験があるから今晩は勉強しておきたいんです。
　女：あ、そう。
　　どちらが勉強しますか。

4．男：ぼくの両親に会ってほしいんです。
　女：はい。
　　どちらが両親に会いますか。

5．男：買い物に行ってきてほしいんだけど。
　女：今。わかったよ。
　　どちらが買い物に行きますか。

6．男：ちょっとトイレに行っておきたいんだ。
　女：わかった。
　　どちらがトイレに行きますか。

7．男：ちょっと電話をかけてきたいんで。
　女：はい、いいですよ。
　　どちらが電話をかけますか。

8．男：ひまだったら、手伝ってほしいんだけど。
　女：うん。いいですよ。
　　どちらが手伝いますか。

9．男：家族を旅行に連れていきたいと思っています。

女：そうですか。

どちらが家族を旅行に連れていきますか。

10．男：この仕事は急ぐから、コンピュータを使ってほしいんだ。

女：はい。わかりました。

どちらがコンピュータを使いますか。

11．男：ぜひ、この歌を歌ってほしいんですけど。

女：うふふ。じゃあ。

どちらが歌いますか。

12．男：もしもし、論文のコピーを送ってほしいんですが。

女：はい。わかりました。

どちらがコピーを送りますか。

第63課　さいふをとられたんです

次の会話に受身形があるときは○を書いてください。

例1　女：何をさがしているんですか。

男：時計。さっきここに置いたんだけど。またなくしたのかなあ。

例2　男：どうしたの。

女：さいふを取られたんです。

練習

1．男：今、お忙しいですか。

女：いいえ、だいじょうぶ。学生に仕事をたのんだから。

2．女：今、忙しい。

男：うん。とても忙しいんだ。先生にこの仕事たのまれたんだ。

3．男：サリーさんどうしたの。何かいいことあったの。
　　女：うふふ。先生に漢字が良くできたってほめられたの。

4．男：サリーさん日本語が上手になったって、みんながほめていましたよ。
　　女：まあ、ほんとう。うれしいわ。

5．男：今晩、いっしょに試験勉強しようよ。
　　女：だめ。山田さんに映画にさそわれているの。

6．男：今度のパーティー、だれを呼ぶ。
　　女：そうねえ。田中さんもさそってみましょうよ。

7．女：足、どうしたんですか。
　　男：ええ、電車で女の人にふまれて、まだ痛いんです。

8．女：どうしたんですか。
　　男：チューインガムふんだんです。

9．女：どうしたの。
　　男：となりの子どもがうるさいから静かにしろって言ったんです。

10．男：どうしたの。
　　女：医者にたばこはだめだって言われたんです。

11．女：どうしたの。
　　男：漢字、まちがえてみんなに笑われたんだ。

12．男：どうしてみんな笑っているんですか。
　　女：アリさんがおもしろいことを言ったので、笑っているんですよ。

第64課　先生にしかられたんだ

男の人が使っている動詞の辞書形を書いてください。

例　女：どうしたの。

　　男：先生にしかられたんだ。

練習

1．女：どうしたんですか。

　　男：カメラとさいふをとられたんです。

2．女：今晩ひま。

　　男：ううん、鈴木さんに映画にさそわれたんだ。

3．女：このコンピュータどうしたの。

　　男：弟にこわされたんだ。

4．女：きょう、忙しい。

　　男：うん、先生に翻訳たのまれたんだ。

5．女：サリーさんいっしょに行くって言いましたか。

　　男：ううん。断わられたよ。

6．女：どうしたんですか。

　　男：朝早く起こされたんです。

7．女：山田さんの犬どうしたんですか。

　　男：車にひかれたんです。

8．女：どうしたんですか。何かいいことがあったんですか。

　　男：いやあ。日本語が上手だって、先生にほめられたんです。

9．女：どうしたんですか。

　　男：自転車、ぬすまれたんです。

10. 女：あ、どこ行(い)くんですか。
　　男：先生(せんせい)のお宅(たく)に招待(しょうたい)されたんです。

11. 女：どうしたの。
　　男：サリーさんにすてられたんだ。

12. 男：どうしたの。
　　女：みんなに笑(わら)われたんだ。

第 65 課　サリーさんは先生に呼ばれました

だれがしましたか。その人(ひと)に○(まる)を書(か)いてください。

例 1　だれが呼(よ)びましたか。▼
　　サリーさんは先生(せんせい)を呼(よ)びました。

例 2　だれが呼(よ)びましたか。▼
　　サリーさんは先生(せんせい)に呼(よ)ばれました。

練習

1. だれがほめましたか。▼
　サリーさんは先生(せんせい)にほめられました。

2. だれがさそいましたか。▼
　サリーさんは鈴木(すずき)さんにさそわれました。

3. だれが叱(しか)りましたか。▼
　サリーさんは子(こ)どもをしかりました。

4. だれが断(こと)わりましたか。▼
　サリーさんは鈴木(すずき)さんに断(こと)わられました。

5. だれがたのみましたか。▼
　サリーさんは鈴木(すずき)さんにたのみました。

6．だれが足(あし)をふみましたか。▼
サリーさんは鈴木(すずき)さんに足(あし)をふまれました。

7．だれがたのみましたか。▼
サリーさんはアリさんにたのまれました。

8．だれが笑(わら)いましたか。▼
サリーさんは田中(たなか)さんに笑(わら)われました。

9．だれが写真(しゃしん)をとりましたか。▼
サリーさんは田中(たなか)さんの写真(しゃしん)をとりました。

10．だれが起(お)こしましたか。▼
サリーさんはアリさんに起(お)こされました。

11．だれが注意(ちゅうい)しましたか。▼
サリーさんはアリさんに注意(ちゅうい)されました。

12．だれが行(い)きましたか。▼
サリーさんはアリさんのうちに行(い)きました。

13．だれがしかりましたか。▼
サリーさんは鈴木(すずき)さんにしかられました。

14．だれがコップを割(わ)りましたか。▼
サリーさんは鈴木(すずき)さんにコップを割(わ)られました。

15．だれがほめましたか。▼
サリーさんは鈴木(すずき)さんの服(ふく)をほめました。

第66課　田中ともうしますが

先生と学生の会話を聞いて、どの動詞の謙譲語を使っているか、下から選んで書いてください。

［いる　行く　来る　食べる　飲む　言う　見る　会う　聞く　する］

例　学生：もしもし、木村先生のお宅でしょうか。

先生：はい、木村ですが。

学生：私、筑波大学の学生で、田中と申しますが。

練習

1．先生：田中さん、もっとビールどうですか。

学生：あ、すみません、いただきます。

2．先生：あしたのゼミは、この教室で1時10分に始めますよ。

学生：はい。わかりました。1時にはまいります。

3．先生：これから会議に行くけど、田中さんは。

学生：あ、私は、まだここにおります。

4．先生：じゃあ、あとで連絡してください。

学生：はい、8時ごろお電話します。

5．先生：何か質問、ありますか。

学生：はい、レポートのことについてうかがいたいんですが。

先生：はい、どうぞ。・

6．先生：田中さん、この本は読みましたか。

学生：いえ、まだ。今、ちょっと、拝見してもいいでしょうか。

先生：ええ、どうぞ。

7．学生：あのう、先生。あした、またお目にかかりたいんですが。

先生：いいですよ。

第 67 課　その荷物お持ちします

女の人が使っている動詞の辞書形を書いてください。

例 1　女：先生、その荷物お持ちします。

男：ああ、ありがとう。

例 2　女：私はここでお待ちしています。

男：そうですか。じゃ、ちょっと失礼。

練習

1．女：暑いですね。エアコンを、おつけしましょうか。

男：あ、いえ、けっこうですよ。

2．女：そのコピー、大変ですね。お手伝いしますよ。

男：あ、すみません。

3．女：すいません、レポート、今お渡ししてもいいでしょうか。

男：え、今はちょっと。

4．女：私のコーヒー、おいしいんですよ。お入れしましょうか。

男：いいですねえ。お願いします。

5．女：先生、駅までお送りしましょうか。

男：あ、どうもありがとう。

6．女：すいません、ちょっとお聞きしてもよろしいでしょうか。

男：はい、何でしょうか。

7．女：ジョンさん、お元気でね。お手紙、お待ちしていますよ。

男：ええ。それじゃ、さようなら。

8．女：きのう、木村先生にお会いしましたよ。

男：あ、そうですか。お元気でしたか。

女：ええ。

9．女：先生(せんせい)、そのかばん、お持(も)ちしましょうか。

男：え、いや、けっこうです。

10．女：あのう、今晩何時(こんばんなんじ)ごろ、お電話(でんわ)しましょうか。

男：そうですね、8時(はちじ)ごろがいいですね。

第68課　本をおかりしました

次(つぎ)のことは先生(せんせい)がしましたか。学生(がくせい)がしましたか。どちらか選(えら)んでください。

例1　きのう本(ほん)をお借(か)りしました。

例2　きのう本(ほん)をお借(か)りになりました。

練習

1．先週(せんしゅう)は授業(じゅぎょう)をお休(やす)みになりました。

2．論文(ろんぶん)をお貸(か)ししました。

3．日曜日(にちようび)は新宿(しんじゅく)へいらっしゃいました。

4．きのう図書館(としょかん)でお会(あ)いしました。

5．ビールを2本(にほん)めしあがりました。

6．きのうの夜(よる)、お電話(でんわ)いたしました。

7．1人(ひとり)で荷物(にもつ)を全部(ぜんぶ)、お持(も)ちになりました。

8．2時(にじ)ごろいらっしゃいました。

9．忙(いそが)しいとおっしゃっていました。

10．きのうは家(いえ)におりました。

11．論文(ろんぶん)をお書(か)きになりました。

12．かばんをお持(も)ちしました。

13．駅(えき)までお送(おく)りしました。

14．そのことは、先週(せんしゅう)お話(はな)しになりました。

15．きのうの会議(かいぎ)に出席(しゅっせき)なさいました。

第69課　もう京都へ行ったかどうか聞きました

「〜かどうか」と言っていますか。「〜か」と言っていますか。選んでください。

例1　アリさんはサリーさんがもう京都へ行ったかどうか聞きました。

例2　アリさんはサリーさんがいつ京都へ行ったか聞きました。

練習

1. アリさんは事務室の人に荷物が届いているかどうか聞きました。
2. サリーさんはアリさんに運転ができるかどうか聞きました。
3. サリーさんは木村先生がどこにいらっしゃるか聞きました。
4. アリさんはサリーさんにどんなアルバイトがしたいか聞きました。
5. アリさんはサリーさんにワープロができるかどうか聞きました。
6. アリさんはサリーさんにだれといっしょに住んでいるか聞きました。
7. アリさんはサリーさんに先生に相談するかどうか聞きました。
8. アリさんはすきやきをどうやって作るか聞きました。
9. アリさんはコンピュータがいつから故障しているか聞きました。
10. ウェイトレスは何を注文するか聞きました。

第70課　五百円しかありません

会話を聞いてください。その後で正しい文に○、違う文に×を書いてください。

例　A：1,000円ありますか。

B：500円しかありません。

a. 500円だけある。

b. 1,500円ある。

c. 500円はない。

練習

1．A：コーヒーにさとうとミルクを入れますか。
　　B：ミルクだけお願いします。
　　　a．さとうだけ入れる。
　　　b．ミルクしか入れない。
　　　c．ミルクだけ入れる。

2．A：うちでも日本語を話すんですか。
　　B：教室でしか話しません。
　　　a．うちでは日本語を話す。
　　　b．教室では日本語を話さない。
　　　c．教室では日本語を話す。

3．A：ご家族みなさん東京に住んでいらっしゃるんですか。
　　B：東京には妹だけ住んでいるんです。
　　　a．妹さんは東京に住んでいる。
　　　b．妹さんは東京に住んでいない。
　　　c．妹さんしか東京に住んでいない。

4．A：外国語は何が話せますか。
　　B：日本語しか話せませんよ。
　　　a．日本語は話せない。
　　　b．日本語は話せる。
　　　c．日本語だけ話せない。

5．A：日本でどこへ行きましたか。
　　B：奈良しか行ったことがないんです。
　　　a．奈良だけ行った。
　　　b．奈良だけ行ったことがない。
　　　c．奈良に行ったことがない。

6．Ａ：土曜日も日曜日も休みですか。

Ｂ：日曜日しか休みじゃないんですよ。

ａ．日曜日は休みだ。

ｂ．日曜日は休みじゃない。

ｃ．日曜日だけ休みじゃない。

7．Ａ：みんないましたか。

Ｂ：サリーさんしかいませんでした。

ａ．みんないた。

ｂ．サリーさんだけいた。

ｃ．サリーさんだけいなかった。

8．Ａ：日本語読めますか。

Ｂ：ひらがなしか読めません。

ａ．ひらがなは読めない。

ｂ．ひらがなだけ読める。

ｃ．日本語はぜんぜん読めない。

9．Ａ：まだ電車あるかなあ。

Ｂ：この時間には、もうタクシーしかありませんよ。

ａ．まだタクシーはある。

ｂ．もうタクシーはない。

ｃ．電車もタクシーもない。

10．Ａ：次の角を右に曲がってください。

Ｂ：あそこは左にしか曲がれませんよ。

ａ．左に曲がれない。

ｂ．右に曲がれる。

ｃ．左にだけ曲がれる。

第71課　雨がふりそうです

次の「～そうです」は人から聞いたことですか。自分の判断ですか。どちらかに○を書いてください。

例1　女：暗くなってきましたね。
　　　男：ええ、雨が降りそうですね。

例2　女：かさを持っていったほうがいいかな。
　　　男：ええ、きょうは午後から雨が降るそうですよ。

練習

1．女：ケーキ、作ったんですけど、お1つどうぞ。
　　男：わあ、おいしそうですね。

2．女：田中さん、きょう元気じゃありませんでしたね。
　　男：ええ、きのうのテストが悪かったそうですよ。

3．女：サリーさんはいつもピーターさんといっしょにいますね。
　　男：ええ、あの2人、来年結婚するそうですよ。

4．女：鈴木さんは病院へ行ったんですか。
　　男：ええ、頭が痛くてはき気がするそうです。

5．女：山本さんは大学院の試験に受かったんですか。
　　男：ええ、とってもうれしそうでしたよ。

6．女：鈴木さんはずっと授業に来ていませんね。
　　男：先週から京都に行っているそうです。

7．女：シャルマさんの奥さんはインドにいるんですね。
　　男：ええ、でも毎日電話で話すそうですよ。

8．女：アリさんはどこの人ですか。
　　男：さあ、知りませんが、牛肉はぜんぜん食べないそうですよ。

9．女：あれが小林先生ですよ。

男：きびしそうな先生ですね。

10．女：きょう、田中さんと「松屋」ってレストランへ行くんですよ。

男：ああ、あそこは安くて良さそうな店ですね。

第 72 課　会議は 3 時からですよ

「～ですよ」と言っていますか。「～でしょう」と言っていますか。○を書いてください。

例 1　男：会議は 3 時からですよ。

女：はい、わかりました。

例 2　男：会議は 3 時からでしょう。

女：ええ、そうです。

練習

1．男：山田さんも京都に行くんでしょう。

女：ええ、行きます。

2．男：山田さんも京都に行くんですよ。

女：あ、そうなんですか。

3．男：あの人が鈴木さんですよ。

女：ああ、あの人ですか。

4．男：あの人が鈴木さんでしょう。

女：ええ。

5．男：家賃は 5 万円ぐらいでしょう。

女：ええ。

6．男：家賃は 5 万円ぐらいですよ。

女：そうですか。安いですね。

7．男：田中さんは結婚しているんでしょう。

女：うん、結婚してると思うけど。

8．男：田中さんは結婚しているんですよ。
　　女：そうなんですか。

9．男：あの映画、良かったですよ。
　　女：そうですか。じゃ来週見に行きます。

10．男：あの映画、良かったでしょう。
　　女：ううん、私はあまり好きじゃなかったわ。

11．男：図書館は日曜日がお休みですよ。
　　女：ああ、そうですか。

12．男：図書館は日曜日がお休みでしょう。
　　女：月曜日じゃないかな。

13．男：いっしょに行ってもいいですよ。
　　女：ええ、ほんと。うれしいわ。

14．男：いっしょに行ってもいいでしょう。
　　女：ええ、もちろん。

第73課　先生はもう帰られました

女の人が使っている動詞は尊敬の意味ですか。受身の意味ですか。○を書いてください。

例1　男：先生は今どちらでしょうか。
　　女：先生はもう帰られました。

例2　男：どうしたの。
　　女：電車の中でさいふをぬすまれたんです。

練習

1．男：うれしそうですね。
　　女：中山さんにデートにさそわれたの。

2．男：きょう、いそがしい。

女：うん、ちょっと仕事たのまれたの。

3．男：どうしたんですか。

女：さっき、先生にうるさいって注意されたんです。

4．男：私は8時まで会社にいます。

女：ええ、そんなに遅くまで仕事をされるんですか。

5．男：田中さんはまだ独身ですよね。

女：いいえ、去年結婚されましたよ。

6．男：ねえねえ、インタビュー難しかった。

女：ううん、日本語で聞かれてわからなかった。

7．男：夏休みにはハワイで遊ぼうと思っているんだ。

女：わあ、海外に行かれるんですか。

8．男：あの論文、おもしろかったよ。

女：ほんと。うれしいな。じつは、先生にもほめられたんだ。

9．男：ちょっと出かけてきます。

女：何時ごろ、もどられますか。

10．男：まだ、時間あるかな。

女：いやあ、急がれたほうがいいですよ。

第74課　あのレストランへ行ったことがありますか

動詞を書いてください。そして、したことがあるかないか選んでください。

例　男：あのレストランへ行ったことがありますか。

女：ええ、ありますよ。

練習

1．男：ねえ、これ使(つか)ったこと、ある。
　　女：ううん、ない。

2．男：これ、飲(の)んだことがある。
　　女：うん、おいしいよ。

3．男：木村(きむら)さんの奥(おく)さんに会(あ)ったこと、ありますか。
　　女：いいえ、まだありません。

4．男：カラオケに行(い)ったこと、ある。
　　女：ええ、一度(いちど)だけ。

5．男：おまんじゅうを食(た)べたこと、ありますか。
　　女：はい、何度(なんど)もあります。

6．男：おすもうを見(み)に行(い)ったこと、ありますか。
　　女：ええ、2回(にかい)ありますよ。

7．男：日本(にほん)の会社(かいしゃ)で働(はたら)いたこと、ある。
　　女：ううん、ない。

8．男：大学(だいがく)の図書館(としょかん)で本(ほん)を借(か)りたこと、ありますか。
　　女：いえ、まだ一度(いちど)もないんです。

9．男：ねえ、お金(かね)をとられたこと、ある。
　　女：うん、東京(とうきょう)の電車(でんしゃ)の中(なか)で、一度(いちど)あるんだ。

10．男：どこか外国(がいこく)へ行(い)ったこと、ある。
　　女：ええ、去年(きょねん)までタイで働(はたら)いていました。

第75課　日本に来るとき買ったんです

どこでしましたか。aかbか選(えら)んでください。

例　男：そのかばん、どこで買(か)ったんですか。

女：日本(にほん)に来(く)るとき、買(か)ったんです。

練習

1．男：そのカメラ、どこで買(か)ったんですか。

女：日本(にほん)に来(き)たとき、買(か)ったんです。

2．男：どこでお金(かね)、払(はら)うんですか。

女：バスを降(お)りるとき、払(はら)うんですよ。

3．男：電気(でんき)、消(け)しましたか。

女：ええ、部屋(へや)を出(で)るとき、消(け)しました。

4．男：何時(なんじ)ごろ来(こ)られますか。

女：ううん。そちらへ行(い)くとき、電話(でんわ)します。

5．男：きのう田中(たなか)さんに会(あ)ったんですか。

女：ええ。郵便局(ゆうびんきょく)へ行(い)くとき、会(あ)ったんです。

6．男：テキーラ、どこで飲(の)んだんですか。

女：メキシコに行(い)ったとき、飲(の)みました。

7．男：この写真(しゃしん)、どこでとったんですか。

女：ああ、これ。日本(にほん)に来(く)るとき、みんなでとったんです。

8．男：歌(うた)の練習(れんしゅう)しましたか。

女：ええ、おふろに入(はい)ったとき、しました。

9．男：このあいだ買(か)ったテーブル、どうしたんですか。

女：ええ。引(ひ)っ越(こ)すとき、となりの人(ひと)にあげたんですよ。

10. 男：それ、どこでもらったんですか。
　　女：これ。山に登るとき、もらいました。

第 76 課　よく読めばわかります

テープを聞いてからａかｂか選んでください。その後で確かめてください。

例　男：先生、これ、どんな意味ですか。
　　女：よく読めば▼
　　　　よく読めばわかります。

練習

1．男：大変だ。電車に遅れそうだ。
　　女：タクシーで行けば▼
　　　　タクシーで行けば、まだ間に合いますよ。

2．男：大阪へ旅行するんですか。
　　女：ええ。時間があれば▼
　　　　ええ。時間があれば、京都にも行くつもりです。

3．男：英語がぜんぜんわからないんだ。
　　女：毎日英語を聞けば▼
　　　　毎日英語を聞けば、わかるようになりますよ。

4．男：このスープ、まずい。
　　女：塩を入れれば▼
　　　　塩を入れれば、おいしくなるよ。

5．男：あ、おいしそうなケーキ。
　　女：私、ケーキきらいなの。食べたければ▼
　　　　私、ケーキきらいなの。食べたければ、食べてもいいよ。

6．男：何かお仕事をしていますか。

女：いいえ。子どもがいなければ▼

いいえ。子どもがいなければ、働くんですが。

7．男：ええっ。電車の中にかばん忘れたんですか。

女：ええ。どうすれば▼

ええ。どうすればいいと思いますか。

8．男：来週の日曜日、ひま。

女：ううん。スケジュールを見てみなければ▼

ううん。スケジュールを見てみなければわからない。

9．男：毎日、暑いですね。

女：本当にね。雨が降れば▼

本当にね。雨が降れば少し涼しくなるんですが。

10．男：日本語は好きですか。

女：まあまあです。漢字が難しくなければ▼

まあまあです。漢字が難しくなければ、もっと好きになると思います。

第77課　どうしたんですか

質問を聞いてください。その後で、2つの答えを聞いて、正しい方を選んでください。

例　田中さんの着てるTシャツいいですね。どうしたんですか。

a．これ、もらったんです。

b．これ、あげるんです。

練習

1．田中さん、きのう試験受けなかったでしょう。どうしたんですか。

a．かぜをひいたんです。

b．試験はきのうだったんです。

2．田中さん、きのう試験受けなかったでしょう。どうするんですか。

　a．かぜをひいたんです。

　b．また来年受けます。

3．あ、鈴木さん、遅かったね。もう電車に間に合わないよ。どうしたの。

　a．ごめん、バスが遅れたんだ。

　b．タクシーで行こう。

4．あ、鈴木さん、遅かったね。もう電車に間に合わないよ。どうする。

　a．ごめん、バスが遅れたんだ。

　b．タクシーで行こう。

5．元気がありませんね。どうしたんですか。

　a．母は元気です。

　b．母が病気になったんです。

6．あ、雨だ。かさはないし、どうする。

　a．かさ、買おう。

　b．電車の中に忘れたらしい。

7．鈴木さん、きのうのテスト、できなかったね。どうしたの。

　a．漢字がよくわかったんです。

　b．漢字がよくわからなかったんです。

8．この車、ずいぶんきたないな。どうする。

　a．日曜日に洗うよ。

　b．ドライブに行ったからだよ。

第78課　少し話せるようになりました

男の人は何と言っていますか。書いてください。

例1．女：国に帰ったら、先生になるの。

　　　男：ええ、日本語の先生になるんです。

例2．女：スミスさんは日本語が話せるようになった。

　　　男：ええ、少し話せるようになりましたよ。

練習

1．女：暑くなったわね。

　　男：ほんとう、暑くなりましたね。

2．女：ねえ、田中さんは、ピアノが上手になったわね。

　　男：ええ、上手になりましたね。

3．女：自分で料理するようになった。

　　男：ええ、料理するようになりました。

4．女：体のぐあい、どう。もう元気になった。

　　男：ええ、元気になりました。

5．女：ワープロ、もう使えるようになった。

　　男：ええ、使えるようになりました。

6．女：この部屋、どう。きれいになったでしょう。

　　男：ええ、ずいぶんきれいになりましたね。

7．女：あの道、先週通れなかったけど、通れるようになった。

　　男：ええ、きのうから、通れるようになりましたよ。

8．女：アパート、ひっこしたの。前より広くなった。

　　男：ええ、広くなりましたよ。

9．女：なべに、スープと野菜を入れて、やわらかくなるまで煮てね。

男：あ、やわらかくなるまで煮るんですね。

10．女：赤ちゃん、笑うようになった。

男：うん、よく笑うようになったよ。

第79課　まいにち歩くようにしてください

「～ようにしてください」と言っていますか、「～てください」と言っていますか。最初にどちらか選んでください。それから、その前の動詞を書いてください。

Ⅰ．医者と患者の会話です。

例1　医者：毎日もっと歩くようにしてください。

患者：はい、歩くようにします。

例2　医者：ええっと、立って、ドアのところまで歩いてください。

患者：あ、はい。

練習

1．医者：この薬は、毎日飲むようにしてください。

患者：はい。飲みます。

2．医者：ええっと、この薬、今すぐ飲んでください。はい、水。

患者：はい。

3．医者：この字、見えますか。ちょっと読んでください。

患者：あ、読むんですか。はい。

4．医者：本は明るいところで読むようにしてくださいね。

患者：はい、わかりました。

5．医者：ええっと、10分ほど、そこで休んでください。

患者：はい。

6．医者：そんなに働かないで、ときどき休むようにしてください。

患者：ええ、なるべく休むようにします。

II．次は先生と学生の会話です。

1．先生：あれ、田中さんがいませんね。ちょっと田中さんに電話してください。

学生：はい、じゃ、電話してきます。

2．先生：私は、夜は早く寝ますから、用事があるときは、9時前に電話するようにしてください。

学生：はい。

3．先生：いつも、欠席するときは、連絡するようにしてください。

学生：はい、ご連絡します。

4．先生：山田さん、ちょっと、田中さんに連絡してください。

学生：あ、今ですか、はい。

5．先生：部屋を出るときは、電気を消すようにしてください。

学生：はい、気をつけます。

6．先生：では、次にスライドを見ます。すみません、電気を消してください。

学生：はい。

第80課　忘れないように書いておきます

テープを聞いてからaかbか選んでください。その後でテープを聞いて確かめてください。

例　忘れないように▼
忘れないように書いておきます。

練習

1．日本語が上手になるように▼
日本語が上手になるように練習しました。

2．たくさん漢字を覚えるように▼
たくさん漢字を覚えるように勉強しました。

3．太らないように▼
太らないように甘いものは食べません。

4．もっとよく聞こえるように▼
もっとよく聞こえるように大きい声で話してください。

5．このかぎ、落とさないように▼
このかぎ、落とさないようにかばんに入れておきます。

6．外がよく見えるように▼
外がよく見えるように窓を開けましょう。

7．眠らないように▼
眠らないようにコーヒーを飲みます。

8．ころばないように▼
ころばないようにゆっくり歩きましょう。

9．かぜをひかないように▼

かぜをひかないようにセーターを着ました。

10．みんなに聞こえないように▼

みんなに聞こえないように小さい声で話しましょう。

第81課　お金がなくて買えませんでした

原因・理由を表す「～て」のときは、○を書いてください。

例1　朝起きて、シャワーをあびました。

例2　お金がなくて、買えませんでした。

練習

1．たくさん食べて、気持ちが悪くなったよ。

2．たくさん食べて、帰ったんだ。

3．デパートに行って、くつを買ったよ。

4．デパートに行って、疲れました。

5．あのレストランはおいしくて、安いです。

6．勉強できなかったよ。暑くて。

7．電話をして、友だちのうちへ行きます。

8．あれね、買えなかったよ、高くて。

9．予約して、行ったほうがいいですよ。

10．ほめられて、うれしくなりました。

11．電気を消して、帰ってくださいね。

12．きのうの夜はうるさくて、寝られませんでした。

13．勉強しすぎて、頭が痛くなりました。

14．早く宿題をして、映画に行こう。

15．バスに乗って、友だちの家へ行きました。

第 82 課　子どもにそうじをさせます

a か b か選んでください。

例 1　山田さんは子どもにそうじをさせます。

例 2　子どもにそうじをさせます。

練習

1. むすこに車を洗わせます。
2. 山田さんは子どもにゴミをすてさせます。
3. サリーさんは弟に手伝わせます。
4. 社長が客を待たせます。
5. 鈴木さんは弟を泣かせました。
6. 両親は子どもに勉強させます。
7. お母さんは赤ちゃんにミルクを飲ませます。
8. 先生が学生を笑わせました。
9. 先生は学生に答えを言わせました。
10. けい子さんは両親をびっくりさせました。
11. コンピュータに計算させます。
12. 犬に新聞を持ってこさせます。
13. 友だちをおこらせました。
14. 学生は先生を喜ばせました。
15. 子どもにピアノを習わせています。

第 83 課　ちょっと待たせていただけますか

男の人がしますか。女の人がしますか。する方に○を書いてください。

例 1　女：すいません。ちょっと待っていただけますか。

男：はい、いいですよ。

例 2　女：すいません。ちょっと待たせていただけますか。

男：はい、いいですよ。

練習

1. 女：この仕事おもしろそうですね。ぜひ、やらせてください。
   男：ええ、いいですよ。

2. 女：簡単な仕事ですから。
   男：はい。じゃあ、やらせていただきます。

3. 女：何か意見があったらどうぞ言ってください。
   男：じゃあ、あの。

4. 女：私にも言わせていただきたいんですけど。
   男：何ですか。

5. 女：気分が悪そうですね。ちょっと休んだほうがいいですよ。
   男：ええ。

6. 女：気分が悪いんです。ちょっと休ませてください。
   男：ええ、いいですよ。

7. 女：このコンピュータ、使わせてもらってもいいですか。
   男：ええ、いいですよ。

8. 女：あの、仕事、今月で、やめさせていただきたいんですけど、
   男：どどどうしてですか。

9. 女：もう一度よく考えていただけませんか。
   男：はい、わかりました。

10. 女：すいませんが、もう一度考えさせてくださいませんか。
    男：はい、わかりました。

第 84 課　これ使わせてもらえませんか

男(おとこ)の人(ひと)がしますか。女(おんな)の人(ひと)がしますか。する方(ほう)に○(まる)を書(か)いてください。

例　女：あの、これ使(つか)わせてもらえませんか。
　　男：ええ。

練習

1．女：ねえ、ドア開(あ)けてくれる。
　　男：うん。

2．女：ここに名前(なまえ)を書(か)いていただけますか。
　　男：はい。

3．女：すみません、これ使(つか)ってもいいでしょうか。
　　男：ええ。

4．女：ねえ、これ聞(き)きたいんだけど。
　　男：うん。

5．女：ねえ、あれ、取(と)ってくれない。
　　男：うん。

6．女：ここに送(おく)っていただきたいんですが。
　　男：はい。

7．女：ちょっと見(み)てもよろしいですか。
　　男：ええ。

8．女：少(すこ)し説明(せつめい)させてくださいませんか。
　　男：ええ。

9．女：これ、読(よ)んでほしいんですけど。
　　男：はい。

10. 女：ちょっとやらせてくれる。

男：うん、いいよ。

11. 女：あした休(やす)ませてほしいんですが。

男：ええ。

12. 女：連絡(れんらく)していただけないでしょうか。

男：ええ。

13. 女：あした持(も)ってきてもらえませんか。

男：はい。

14. 女：あと少(すこ)し待(ま)たせてください。

男：はい。

15. 女：写真(しゃしん)をとらせてもらってもいいでしょうか。

男：ええ。

第85課　カメラをこわしてしまったんです

会話(かいわ)を聞(き)いて、すること、または、したことを書(か)いてください。

例1　女：どうしたんですか。

男：カメラをこわしてしまったんです。

例2　女：この仕事(しごと)、早(はや)くやってしまおう。

男：はあい。

練習

1. 女：どうしたの。

男：パスポート、落(お)としちゃったんだ。

2. 男：宿題(しゅくだい)は。

女：うん。やっちゃった。

3．男：あのお金は。
　　女：使ってしまいました。

4．女：この本、だれの。おもしろそうね。
　　男：ああ、それ、もう読んじゃったから、いいよ。

5．男：全部食べちゃって。
　　女：うん、じゃあ。

6．女：どうしたの。
　　男：指、切っちゃった。

7．女：早く。バス、行っちゃうよ。
　　男：うん。

8．男：きょうひま。
　　女：ううん。この本、読んでしまおうと思っているんだ。

9．男：うああ、このビール安い。
　　女：ほんとだ。20本、買っちゃおう。

10．女：アリさん、字が違うよ。
　　男：あ、まちがえちゃった。

11．男：きょうは授業が1つだけだよね。
　　女：うん。休んじゃおうか。

12．男：いそがしそうですね。
　　女：ええ。この論文を早く書いてしまおうと思っているんです。

第86課　いいんじゃない

答えている人は、a、bどちらの考えに近いですか。選んでください。

例1　男：このセーター、どう。
　　　女：いいんじゃない。

例2　男：このセーター、どう。
　　　女：よくないんじゃない。

例3　女：あしたは。
　　　男：雨じゃない。

例4　女：あしたは。
　　　男：雨じゃないんじゃない。

例5　男：あした、雨。
　　　女：降るんじゃない。

例6　男：あした、雨。
　　　女：降らないんじゃない。

練習

1．男：山田さんはあした行くんでしょうか。
　　女：行くんじゃない。

2．女：吉田さんも行くんでしょうか。
　　男：行かないんじゃないんでしょうか。

3．男：これ、高いですか。
　　女：高くないんじゃない。

4．女：駅の近くにポストあるかなあ。
　　男：ないんじゃない。

5．男：これ、山田さん、好きかな。
　　女：好きじゃないんじゃない。

6．女：きのう、吉田さんは行ったんでしょうか。
　　男：行ったんじゃないですか。

7．男：きのう、吉田さんは行ったんでしょうか。
　　女：行かなかったんじゃないですか。

8．女：あれ、何(なん)ですか。
　　男：銀行(ぎんこう)じゃない。

9．女：あれ、銀行(ぎんこう)ですか。
　　男：銀行(ぎんこう)じゃないんじゃない。

10．男：あの人(ひと)、何(なに)をしているんですか。
　　女：何(なに)かさがしているんじゃない。

11．男：吉田(よしだ)さん、何才(なんさい)ぐらいでしょうか。
　　女：さあ、まだ若(わか)いんじゃない。

12．女：吉田(よしだ)さん、何才(なんさい)ぐらいでしょうか。
　　男：さあ、もう若(わか)くないんじゃない。

13．女：山田(やまだ)さんは。
　　男：帰(かえ)ったんじゃない。

14．女：じゃあ、山田(やまだ)さんは今(いま)うちにいるかなあ。
　　男：いないんじゃない。

15．男：リーさん漢字(かんじ)わかるかなあ。
　　女：わかるんじゃない。

16．男：キムさん漢字(かんじ)わかるかなあ。
　　女：わからないんじゃない。

17．女：あれ、吉田(よしだ)さん。
　　男：吉田(よしだ)さんじゃないんじゃない。

18．女：電気(でんき)は。
　　男：ついてないんじゃない。

19. 男：これ、使ってもいい。

女：いいんじゃない。

20. 男：もう、終わり。

女：終わったんじゃない。

第87課　行くんじゃないかと思います

答えている人は、a、bどちらの考えに近いですか。選んでください。

例1　女：田中さんも行くんですか。

男：ううん、行かないと思いますよ。

例2　女：田中さんも行くんですか。

男：ううん、行かないんじゃないかと思いますよ。

例3　女：田中さんも行くんですか。

男：行くんじゃないかと思います。

練習

1. 男：雨、降るかなあ。

女：雨は降らないんじゃないかと思います。

2. 男：雨、降るかなあ。

女：雨は降らないと思います。

3. 男：雨、降るかなあ。

女：雨は降るんじゃないかと思います。

4. 女：山の天気はどうなんですか。

男：寒いんじゃないかと思うよ。

5. 女：山の天気はどうなんですか。

男：寒くないんじゃないかと思うよ。

6．女：山の天気はどうなんですか。
　　男：寒いと思うよ。

7．女：あしたは休みですか。
　　男：ええ、休みじゃないかと思います。

8．女：あしたは休みですか。
　　男：休みじゃないと思いますよ。

9．女：あしたは休みですか。
　　男：いえ、休みじゃないんじゃないかと思います。

10．男：このアパートどうでしょうか。
　　女：そうですね、便利じゃないかと思いますが。

11．男：このアパートどうでしょうか。
　　女：そうですね、便利じゃないと思いますが。

12．男：このアパートどうでしょうか。
　　女：そうですね、便利じゃないんじゃないかと思いますが。

第88課　写真をとられました

Ⅰ．「はい」か「いいえ」か選んでください。

練習

1．サリーさんは写真をとりましたか。
　　例　サリーさんが写真をとらせました。
　　a．サリーさんに写真をとらせました。
　　b．サリーさんに写真をとられました。
　　c．サリーさんが写真をとられました。

2．サリーさんが調べましたか。

a．サリーさんが調べさせました。

b．サリーさんに調べさせました。

c．サリーさんに調べられました。

d．サリーさんが調べられました。

3．よしこさんは持っていきましたか。

a．よしこさんに持っていかれました。

b．よしこさんが持っていかせました。

c．よしこさんに持っていかせました。

d．よしこさんが持っていかれました。

4．たろうさんは電気を消しましたか。

a．たろうさんが電気を消させました。

b．たろうさんが電気を消されました。

c．たろうさんに電気を消させました。

d．たろうさんに電気を消されました。

II．正しいものには○、正しくないものには×を書いてください。

例　男　：田中さん、山田先生の電話番号、ちょっと調べて。

田中：はい、今調べます。

a．男の人は田中さんに調べられました。

b．男の人は田中さんに調べさせました。

c．田中さんは男の人に調べられました。

練習

1．お父さん：よしこ。

よしこ　：なあに、お父さん。

お父さん：ちょっと、テレビをつけてくれ。

a．よしこはお父さんにテレビをつけられました。

b．お父さんはよしこにテレビをつけさせました。

c．お父さんはよしこにテレビをつけられました。

2．お母さん：たろう、ちょっとお皿を洗ってくれる。

たろう　：うん、いいよ。（ガッチャン）しまった。割っちゃった。

お母さん：あああ。しょうがないわね。

a．お母さんはたろうにお皿を割られました。

b．お母さんはたろうにお皿を割らせました。

c．たろうはお母さんにお皿を割らせました。

3．お母さん：よしこ、買い物に行ってきてくれる。

よしこ　：えっ、今。

お母さん：そうよ、早く、急ぐのよ。

よしこ　：はあい、行ってきます。

a．お母さんはよしこを行かせました。

b．お母さんはよしこに行かれました。

c．よしこはお母さんに行かれました。

第 89 課　シャワーをあびに行くところなんだ

適当な絵を選んでください。

例　女：あ、鈴木さん、どこ行くの。

男：これから、シャワーをあびに行くところなんだ。

練習

1．女：ああ、もしもし鈴木さん。3回も電話したんだけど。

男：ごめん、ごめん。今シャワーをあびてきたところなんだ。

2．女：あれ、鈴木さんは。

男：シャワーあびてるところだと思うよ。

3．女：あ、もしもし、鈴木さん。田中ですけど、手紙読んだ。

男：うん。読んだよ。返事も今書いたところ。

4．女：鈴木さん、先生に手紙書いた。
　男：ううん、これから書くところ。

5．女：わあ、鈴木さんの部屋、きたないね。
　男：ちょっと入らないで。そうじするところだから。

6．女：あ、鈴木さん、今入っていい。
　男：いや、ちょっと待って。部屋をそうじしているところなんだ。

7．女：ああ、おなかすいた。
　男：あ、そう。ちょっと待ってて。今カレー作っているところだから。

8．女：こんばんは。わあ、いいにおい。
　男：ちょうどよかった。今カレー作ったところ。食べる。

第 90 課　レポートを書かなければなりません

I．どの言い方をしていますか。ａかｂか選んでください。

例　レポートを書かなければなりません。

練習

1．辞書を見なければいけません。
2．使い方を覚えなきゃなりません。
3．朝早く来なきゃなりません。
4．毎日 働かなくてはなりません。
5．電話を使わなくちゃなりません。
6．辞書を持っていかなきゃ。
7．１時までに帰んなくちゃ。
8．今晩はテストの勉 強やんなきゃ。

II．何をしなければならないと言っていますか。（　　）に動詞を書いてください。

例　父の仕事を手伝わなくちゃ。

練習

1．図書館に本を返さなければなりません。
2．すぐ行かなくてはいけません。
3．お金を払わなきゃなりません。
4．薬を飲まなきゃいけません。
5．先生に相談しなきゃなりません。
6．日曜日は洗濯しなくちゃ。
7．漢字がもっと読めなきゃねえ。
8．国の母に手紙を送んなきゃ。

第 91 課　これから出かけなきゃならないんです

女の人は何をしなければならないと言っていますか。動詞の辞書形を書いてください。

例　男：すみませんが、私の書いた日本語を直してくださいませんか。
　　女：あしたでもいいですか。これから出かけなきゃならないんで。

練習

1．女：ねえ、今何時。
　男：8時　45　分。
　女：え、もうそんな時間。家に帰んなきゃ。

2．男：私は入学試験に受かるでしょうか。
　女：さあ、わからないけど、もっと勉強しなくちゃね。

3．男：日本人は、遊び方が下手だって、先生がおっしゃってたね。
　女：本当にそうよ。だからもっとよく遊ばなきゃ。

4．男：おーい、雨、降ってきたよ。
　女：えっ。いけない。洗濯物、入れなきゃ。

5．男：あの先生の授業、簡単。

　　女：ぜんぜん。試験はないけど、レポート、30枚も書かなきゃなんないのよ。

6．女：きょうは何日。

　　男：15日だけど。

　　女：いけない、図書館に本返さなきゃ。

7．男：来週から授業を休むんですか。

　　女：ええ。今やってる研究を急いで終わらせなくちゃならないんです。

8．男：研究論文はワープロで書いて出すんですか。

　　女：ええ。だから、ワープロはできなくちゃね。

第92課　レポートは書かなくてもいいでしょうか

男の人がしなければならないことには○、男の人がしなくてもいいことには×を書いてください。

例　男：先生、レポートは書かなくてもいいでしょうか。

　　女：いえ、実験をした人はみんな書かなければなりません。

練習

1．女：どうしたの、そんなに急いで。

　　男：今度のバスに乗んなきゃなんないんだ。じゃね。

2．女：肉と牛乳とトマトを買ってきてね。

　　男：あ、たまごも買わなくちゃ。ないでしょ。

　　女：あ、そうだったわね。

3．女：ああ、夏休み、もう終わりねえ。宿題やった。

　　男：きょうはやらなくてもいいんだ。まだ1週間あるから。

4．男：このお手洗い、100円払わなくちゃいけないんだ。

　　女：うん。日本にはあまりないけどね。

　　男：じゃ、ちょっと100円貸して。

5．女：ねえ、今晩映画に行かない。
　　男：今晩は田中さんと食事に行くんだ。あ、今何時。
　　女：6時。
　　男：じゃあ、もう行かなくちゃ。さよなら。

6．男：ああ、もうおなかいっぱい。残しちゃだめ。
　　女：ううん。全部食べなくてもいいのよ。

7．女：今晩、高橋さんが来るそうよ。
　　男：あ、そう。じゃあ、ビール買っとかなくちゃ。
　　女：ええ、私が買ってくるわ。

8．男：ねえ、実験のレポート、手伝ってくんないか。
　　女：ええっ、私きょう忙しいのよ。
　　男：そこを何とかたのむよ。あしたまでに出さなきゃなんないんだ。
　　女：だめ。自分のことは自分でやんなきゃ。

第93課　日本語を勉強するために来ました

次の「～ため（に）」は原因ですか、目的ですか。どちらかに○を書いてください。

例1　日本語を勉強するために日本へ来ました。

例2　車が故障したために遅れました。

練習

1．遅くまで勉強するためにコーヒーを飲みます。
2．きのう遅くまで勉強したため、きょうは眠いです。
3．コンピュータゲームを買うためにアルバイトをしました。
4．コンピュータゲームを買ったために勉強しなくなりました。
5．体を強くするために毎日泳いでいます。
6．父が死んだために大学へ行けませんでした。
7．字が下手なために、会社に入れませんでした。

8. 今年の夏は暑かったため、エアコンがよく売れました。
9. 田中さんは会社のために朝から晩まで働いています。
10. 遠足は雨のために中止になりました。
11. 戦争のため、たくさんの人が死にました。
12. 今年は雪があまり降らないため、スキーができません。

第94課　引っこしなのにまだかたづけていません

テープを聞いてからaかbか選んでください。その後で確かめてください。

例1　キムさんはあした引っこしなのに▼
　　キムさんはあした引っこしなのに、まだかたづけていません。

例2　キムさんはあした引っこしなので▼
　　キムさんはあした引っこしなので、忙しいです。

練習

1. なっとう、きらいなのに▼
   なっとう、きらいなのに食べるんですか。

2. なっとう、きらいなので▼
   なっとう、きらいなので食べません。

3. フリオさんはメキシコ人なので▼
   フリオさんはメキシコ人なのでスペイン語が話せます。

4. たくさん働いたので▼
   たくさん働いたので、疲れました。

5. コーヒーを注文したのに▼
   コーヒーを注文したのに紅茶が来ました。

6. 病院へ行くので▼
   病院へ行くので授業を休んでもいいですか。

7．ずっとバスを待っているのに▼
　ずっとバスを待っているのにまだ来ません。

8．田中さんは、あした試験なので▼
　田中さんは、あした試験なので、きょうはうちで勉強しています。

9．近いのに、▼
　近いのに、車で行くんですか。

10．雨が降っているので▼
　雨が降っているのでテニスはやめましょう。

第95課　雨がふったら中止ですか

テープを聞いてからaかbか選んでください。その後で確かめてください。

例　男：雨が降ったら中止ですか。
　　女：いえ、雨が降っても▼
　　　　いえ、雨が降ってもやります。

練習

1．男：あのコンピュータ、高くても買いますか。
　　女：ううん、高かったら▼
　　　　ううん、高かったら買いません。

2．男：ねえ、としを聞かれたら教える。
　　女：ううん、聞かれても▼
　　　　ううん、聞かれても教えない。

3．男：遠かったら車で行きましょうか。
　　女：遠くても▼
　　　　遠くても歩いて行きましょう。

4．男：そんなに食べたら太りますよ。
　　女：だいじょうぶ。私はいくら食べても▼
　　　　だいじょうぶ。私はいくら食べても太らないんです。

5．男：急いだら電車に間に合うでしょうか。
　　女：そうですね。急いでも▼
　　　　そうですね。急いでも間に合わないかもしれませんね。

6．男：どんなにさがしても見つかりません。
　　女：そうですか。見つからなかったら▼
　　　　そうですか。見つからなかったらいいですよ。

7．男：夏休みになったら何をしますか。
　　女：夏休みになったら▼
　　　　夏休みになったら旅行します。

8．男：お国に帰ったら日本語があまり使えなくなりますね。
　　女：でも、国に帰っても▼
　　　　でも、国に帰っても日本語の勉強を続けるつもりです。

9．男：それ、田中さんにたのんだらやってくれますよ。
　　女：でも、いくらたのんでも▼
　　　　でも、いくらたのんでもだめなんです。

10．男：奨学金がもらえたらアルバイトをやめますか。
　　女：いいえ、奨学金がもらえても▼
　　　　いいえ、奨学金がもらえても続けようと思ってます。

第 96 課　読むならかしてあげる

テープを聞いてからａかｂか選んでください。その後で確かめてください。

例１　男：おもしろそうな本だね。
　　　女：うん、読むなら▼
　　　　　うん、読むなら貸してあげるよ。

例２　男：この本、おもしろいよ。
　　　女：そう。じゃ、読んだら▼
　　　　　そう。じゃ、読んだら貸してくれる。

練習

１．男：コンピュータを買おうと思うんだ。
　　女：コンピュータを買うなら▼
　　　　コンピュータを買うなら、あの店がいいよ。

２．男：コンピュータを買おうと思うんだ。
　　女：コンピュータを買ったら▼
　　　　コンピュータを買ったら、私にも使わせて。

３．男：日本語、難しいな。
　　女：いっしょうけんめい勉強したら▼
　　　　いっしょうけんめい勉強したら、わかるようになります。

４．男：ぼくのアパート、うるさくて、毎日勉強できないんだ。
　　女：勉強するなら、▼
　　　　勉強するなら、図書館がいちばんいいですよ。

５．男：来年、国へ帰ります。
　　女：国へ帰ったら▼
　　　　国へ帰ったら手紙をください。

6．男：仕事、やめたいんだ。

女：仕事をやめるなら▼

仕事をやめるなら今がいいよ。

7．男：ピアノを習いたいな。

女：ピアノを習うなら▼

ピアノを習うなら、いい先生を紹介しますよ。

8．男：夏には富士山に登るつもりです。

女：富士山に登ったら▼

富士山に登ったら、写真をたくさんとってきてください。

9．男：きょう高橋さんが来るよ。

女：そう。高橋さんが来るなら、▼

そう。高橋さんが来るなら、ごちそうを作らなきゃ。

10．男：車で来ましたから、お酒はちょっと。

女：あ、そう。車で来たなら▼

あ、そう。車で来たなら、お酒は飲まないほうがいいね。

第97課　田中さんが入れたんですよ

（　）に「は」か「が」を書いてください。

例1　A：このコーヒー、おいしいですね。だれが入れたんですか。

B：これ、田中さんが入れたんですよ。

例2　A：あれ。田中さんは。

B：田中さんは今コーヒーを入れていますよ。

練習

1．A：この本、買ったんですか。

B：いいえ、私じゃなくて、田中さんが買ったんですよ。

2．A：田中(たなか)さんはどこでこの本(ほん)を買(か)ったんですか。

B：田中(たなか)さんはいつも駅前(えきまえ)の本屋(ほんや)で買(か)うそうですよ。

3．A：あれ、もう10時半(じゅうじはん)ですよ。木村(きむら)さんは遅(おそ)いですね。

B：あ、木村(きむら)さんは少(すこ)し遅(おく)れるそうですよ。

4．A：みんないますか。だれがまだ来(き)ていませんか。

B：あの、木村(きむら)さんがまだ来(き)ていないんですけど。

5．A：あの、どちらさまでしょうか。

B：あ、私(わたし)は木村(きむら)ともうします。

6．A：あの、社長(しゃちょう)さんはいらっしゃいますか。

B：あ、私(わたし)が社長(しゃちょう)の木村(きむら)ですが。何(なに)か。

7．A：社長(しゃちょう)さんはいらっしゃいますか。

B：社長(しゃちょう)は今(いま)会議中(かいぎちゅう)です。

8．A：あれっ、田中(たなか)さんがいませんね。休(やす)みでしょうか。

B：ええ、田中(たなか)さんは、きのう足(あし)の骨(ほね)を折(お)ったんですよ。

9．A：えっ、だれが足(あし)の骨(ほね)を折(お)ったんですか。

B：田中(たなか)さんが折(お)ったんですよ。

10．A：ねえ、ねえ、この花(はな)きれいね。だれが持(も)ってきたの。

B：田中(たなか)さんが持(も)ってきてくれたんですよ。

11．A：あしたのパーティーに山田(やまだ)さんは何(なに)か持(も)っていく。

B：ええ、私(わたし)は花(はな)を持(も)っていくつもりよ。

12．A：お母(かあ)さん、ごはんはまだ。

B：うん、もうすぐだから待(ま)って。

13．A：けんちゃん、ごはんができたわよ。

B：うわあ、おいしそう。

第98課　1時間も待たされたんだ

男の人ですか。女の人ですか。質問を聞いて選んでください。

例1　男：あ、来た、来た。遅いじゃないか。

女：ごめんなさい。電車が遅れて。

待たせたのはどちらですか。

例2　男：あ、ごめん、ごめん、遅れちゃって。

女：ごめんじゃないわよ。1時間も待たされたんだから。

待たされたのはどちらですか。

練習

1．男：ねえ、このジュースおいしいよ。飲んでみて。

女：どれどれ。うう、全然おいしくない。

ジュースを飲まされたのはどちらですか。

2．男：おおい、お客さんのビールがないぞ。買ってこいよ。

女：え。私、今お料理で忙しいんだから、あなた行ってよ。

男：そうか。しょうがない、行ってくるか。

ビールを買いに行かされるのはどちらですか。

3．男：悪いけど、レポート手伝ってくれないか。

女：ええ。いいけど、きょうだけよ。

男：うん。ありがとう。

レポートを手伝わせるのはどちらですか。

4．男：あ、西村さん、たばこ吸うの。

女：ええ。

男：ぼく、たばこきらいなんだ。

女：そう。じゃあ、やめるわ。

たばこをやめさせられたのはどちらですか。

5．男：おおい、お酒（さけ）、もう1本（いっぽん）。

　　女：はい、どうぞ。

　　男：あれ、これ水（みず）じゃないか。

　　女：そうよ。もうたくさんお酒（さけ）飲（の）んだでしょ。

　　　　水（みず）を飲（の）ませたのはどちらですか。

6．男：あれ、もう6時（ろくじ）だよ。早（はや）く帰（かえ）ろう。

　　女：ええ。じゃあ、この荷物（にもつ）持（も）ってくれない。

　　男：いいよ。ん、ずいぶん重（おも）いね。

　　　　荷物（にもつ）を持（も）たされたのはどちらですか。

7．男：あ、さいふ忘（わす）れた。お金（かね）、払（はら）ってくれないか。

　　女：え、私（わたし）もあんまり持（も）ってないのよ。

　　男：ごめん、後（あと）で返（かえ）すよ。

　　　　お金（かね）を払（はら）わされるのはどちらですか。

8．男：この電車（でんしゃ）、こんでるね。

　　女：あ、1つ（ひとつ）席（せき）があるよ。

　　男：ほんとだ。すわっていいよ。

　　女：ありがとう。

　　　　すわらせたのはどちらですか。

9．男：(拍手（はくしゅ）) 高橋（たかはし）さんは、カラオケが上手（じょうず）だね。

　　女：いえ、そんな。

　　男：上手（じょうず）だよ。だからもう1曲（いっきょく）歌（うた）って。

　　女：ええ、また。じゃ、歌（うた）おう。

　　　　カラオケを歌（うた）わせたのはどちらですか。

10. 男：パーティーの料理(りょうり)作(つく)ったよ。
女：そう。じゃあ、今度(こんど)はへやをそうじしてね。
男：え、そうじもぼくがするの。
女：ありがとう。
そうじをさせられるのはどちらですか。

第99課　駅まで送りましょうか

だれがしますか。○(まる)をつけてください。

例1　女：あ、雨(あめ)だ。
男：じゃ、駅(えき)まで送(おく)りましょうか。
女：ええ。

例2　女：あ、雨(あめ)だ。
男：ほんとだ。ちょっと喫茶店(きっさてん)で休(やす)んでいきませんか。
女：ええ。

練習

1. 女：ああ、おなかすいた。
男：うん。食(た)べに行(い)きませんか。
女：ええ。

2. 女：よいしょ。ああ、重(おも)い。
男：その荷物(にもつ)、持(も)ちましょうか。
女：ええ。

3. 女：疲(つか)れましたね。
男：ええ。お茶(ちゃ)でも飲(の)みましょうか。
女：ええ。

4. 女：もしもし、山田(やまだ)さんいらっしゃいますか。
男：いえ、今会議中(いまかいぎちゅう)なので。伝言(でんごん)しましょうか。
女：ええ。

5．女：どうしよう。ああ、もう時間がない。
男：手伝おうか。
女：ええ。

6．女：もう7時ですね。
男：じゃ、そろそろ帰りましょうか。
女：ええ。

7．女：あしたのミーティングは何時から。
男：わからない。だれかに聞いて、後で電話しようか。
女：ええ。

8．女：試験、全部終わったね。
男：うん。ねえ、映画でも行かない。
女：ええ。

9．女：あ、雨だ。
男：このかさ貸そうか。
女：ええ。

10．女：あ、いやだ。おさいふ忘れちゃった。
男：じゃ、払っておこうか。
女：ええ。

3

付　録

A. 解　答

L1：I. 1. c　2. b　3. a　4. b　II. 1. a　2. c　3. b　4. b　5. c
III. 1. c　2. b　3. a　4. a　5. a

L2：1. =　2. ≠　3. =　4. ≠　5. ≠　6. =　7. =　8. =　9. ≠　10. ≠

L3：1. は　2. も　3. は、の　4. は、の　5. は、の　6. は、の　7. も、の　8. の、は
9. の、も　10. の、は

L4：a. 18　b. 81　c. 56　d. 65　e. 605　f. 69　g. 96　h. 906　i. 48　j. 418
k. 408
l. 110　m. 111　n. 350　o. 305　p. 3,035　q. 801　r. 810　s. 811
t. 1,600　U. 1,160　v. 16,100　w. 267　x. 2,607　y. 7,850　z. 78,500

L5：1. 50　2. 85　3. 200　4. 890　5. 1,980　6. 605　7. 138　8. 2,390　9. 4,560
10. 9,180　11. 13,000　12. 5,015　13. 48,300　14. 15,980　15. 67,300

L6：1. 1. b　2. c　3. a　2. 1. a　2. c　3. b　3. 1. b　2. c
3. a　4. 1. c　2. b　3. a

L7：1. c　2. d　3. b　4. a　5. f　6. i　7. h　8. j　9. g　10. e
11. a　12. b　13. g　14. h　15. f　16. d　17. i　18. e　19. c　20. j

L8：1. i　2. n　3. e　4. l　5. m　6. j　7. d　8. c　9. b　10. f
11. k　12. a

L9：1. →　2. ←　3. →　4. ←　5. ←　6. →　7. ←　8. ←　9. →　10. →
11. ←　12. ←　13. →　14. ←　15. →　16. →　17. ←　18. →　19. →　20. ←

L10：1. a　2. a　3. a　4. b　5. b　6. a　7. b　8. a　9. b　10. a
11. a　12. b　13. b　14. b　15. a　16. b

L11：I. 1. あります　2. あります　3. います　4. います　5. あります
6. あります　7. います　8. あります　9. います　10. あります
II. 1. あります　2. います　3. あります　4. います　5. あります
6. あります　7. います　8. あります　9. います　10. あります

L12：1. ○　2. ○　3. ×　4. ×　5. ○　6. ×　7. ○　8. ×　9. ○　10. ×

L13：Ⅰ．1．b　2．a　3．f　4．d　5．e

Ⅱ．1．A　2．C　3．B　4．G　5．F

L14：Ⅰ．1．b　2．d　3．c　4．a　Ⅱ．1．d　2．a　3．b　4．c

Ⅲ．1．a　2．c　3．d　4．b

L15：1．a　2．c　3．a　4．c　5．c　6．a　7．c　8．b　9．c　10．b

11．c　12．a　13．c　14．b　15．c

L16：1．f　2．j　3．h　4．b　5．i　6．g　7．c　8．e

L17：1．a　2．b　3．a　4．a　5．b　6．b　7．b　8．b

L18：Ⅰ．1．d　2．j　3．o　4．n　5．i　6．l　7．p　8．m　9．w　10．e

Ⅱ．1．r　2．t　3．p　4．n　5．j　6．c　7．u　8．k　9．b　10．h

L19：1．t　2．l　3．a　4．n　5．i　6．q　7．m　8．g　9．k　10．o

11．v　12．b　13．f　14．p　15．w　16．u　17．d

L20：1．m＋e　2．f＋o　3．h＋i　4．d＋j　5．a＋j　6．l＋m

7．d＋n　8．b＋g　9．n＋c　10．k＋l

L21：1．b　2．a　3．a　4．b　5．b　6．a　7．a　8．b　9．a　10．b

L22：Ⅰ．1．h　2．e　3．i　4．b　5．f　6．d　7．g　8．a　9．j　10．c

Ⅱ．1．g　2．d　3．e　4．j　5．c　6．f　7．l　8．b　9．a　10．i

L23：a．2:00（まで）　b．8:30（から）　c．1:00（に）　d．5:00（ごろ）　e．4:00（に）

f．6:10（に）　g．9:30（まで）　h．7:20（ごろ）　i．12:15（から）、1:15（まで）

j．7:40（から）、9:10（まで）

L24：a．1月1日　b．4月4日　c．2月3日　d．6月10日　e．7月16日　f．8月9日

g．3月3日　h．5月5日　i．9月2日　j．10月8日　k．11月6日

l．12月7日　m．2月12日　n．6月11日　o．7月20日　p．9月28日

q．12月19日　r．4月24日　s．3月18日　t．8月27日

L25：Ⅰ．1．○　2．×　3．○　4．×　5．×　6．○　7．×　8．○　9．×　10．○

Ⅱ－1．1．k　2．i　3．l　4．f　5．j　6．g　7．e　8．a　9．c　10．d

Ⅱ－2．1．k　2．i　3．d　4．l　5．c　6．a　7．e　8．g　9．j　10．f

L26：○＝1，3，4，6，7，8，10，12

L27：Ⅰ．1．いかない　2．こない　3．のらない　4．たたない　5．いわない

6. またない　7. みない　8. しなない　9. かわない　10. ねない

II. 1. a　2. d　3. i　4. h　5. f　6. g　7. b　8. c

L28：1. b　2. a　3. b　4. a　5. b　6. b　7. b　8. b　9. b　10. b

L29：1-1. a　1-2. a　2-1. c　2-2. b　3-1. b　3-2. c　4-1. a　4-2. c　5-1. a

5-2. c

L30：1. a　2. c　3. b　4. c　5. a　6. a　7. a　8. c　9. a　10. a

11. c　12. b

L31：

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
男	○	×	×	×	×	○	×	○	×	×	○	○	×	×
女	○	×	○	×	○	○	×	×	○	×	×	○	○	×

L32：

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
男	×	×	×	○	×	×	×	×	○	×	×	×	×	○	○
女	×	×	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×

L33：1. いる　2. する　3. いく　4. のむ　5. みる　6. たべる　7. いう

L34：1. いる　2. いう　3. する　4. のむ　5. たべる　6. みる　7. いく

L35：1. d　2. b　3. j　4. a　5. c　6. f　7. i　8. g　9. h

L36：1. a　2. b　3. c　4. a　5. b　6. c

L37：1. h　2. c　3. b　4. k　5. j　6. e　7. f　8. d　9. a　10. g

L38：I. 1. くらい　2. みじかい　3. ひろい　4. ふるい　5. かんたんな

6．にぎやかな　7．おもしろい　8．ひくい

II．1．な　2．な　3．の　4．い　5．な　6．い　7．い　8．な　9．×　10．い

L39：I．1．a　2．a　3．b　4．b　5．a　6．b　7．b　8．a　9．b　10．b

II．1．×　2．○　3．○　4．×　5．×　6．○

L40：1．まつ　2．のむ　3．はいる　4．よむ　5．あう　6．つかれる

7．すわる　8．わかる　9．かく　10．きく

L41：1．ビスケット　2．ドーナツ　3．キャンディー　4．おせんべい　5．おおきい

6．みじかい　7．すくない　8．高い　9．多い　10．べんりだ

11．たくさんある　12．長い　13．あまりよくない

L42：1．b　2．a　3．b　4．a　5．a　6．b　7．a　8．a　9．b　10．b

L43：1．a　2．a　3．a　4．b　5．b　6．b　7．b　8．a　9．b　10．b

L44：1．b　2．c　3．b　4．b　5．a　6．b　7．b　8．c

L45：1．しめる　2．行かない　3．見せない　4．つかう　5．あけない

6．せつめいする　7．きめない　8．おきる　9．ちゅうもんしない

10．よやくする

L46：1．(1)(2)　2．(2)(1)　3．(1)(2)　4．(1)(2)　5．(2)(1)　6．(2)(1)　7．(1)(2)　8．(1)(2)

9．(2)(1)　10．(1)(2)

L47：1．C　2．H　3．B　4．G　5．E　6．F　7．D

L48：1．→　2．←　3．→　4．←　5．←　6．←　7．→　8．←　9．←　10．←

L49：1．b　2．b　3．a　4．a　5．b　6．b　7．b

L50：1．b　2．a　3．b　4．b　5．a　6．b　7．b　8．a　9．a　10．b　11．a

12．a　13．b　14．b　15．a　16．b　17．a　18．a

L51：○＝1．田中さん　2．アリさん　3．わたし　4．先生　5．わたし

6．サリーさん　7．いもうと　8．田中さん　9．母　10．わたし　11．わたし

12．先生　13．わたし　14．ともだち　15．田中さん　16．私

L52：○＝1．（あえる）　2．（かえれる）　3．（おきられる）　5．（ねられる）

9．（つかえる）　10．（わたれる）　13．（いける）　14．（こられる）

（　）は使われている可能形動詞の辞書形

L53：1．女　2．男　3．女　4．男　5．女　6．男　7．女　8．男　9．男

10. 女　11. 女　12. 男　13. 男　14. 男　15. 女

L54：1. c　2. b　3. a　4. c　5. b　6. a　7. c　8. c

L55：1. ～ておく　2. ～ある　3. ～ておく　4. ～ておく　5. ～てある
6. ～てある　7. ～てある　8. ～てある　9. ～ておく　10. ～ておく

L56：I. 1. ～てくる　2. ～てくる　3. ～ていく　4. ～てくる　5. ～ていく
6. ～てくる　7. ～ていく　8. ～てくる　9. ～てくる　10. ～ていく
II. 1. c　2. b　3. a　4. c　5. a　6. c　7. a　8. c　9. c　10. a

L57：1. b　2. a　3. a　4. a　5. b　6. a　7. b　8. a　9. a　10. a
11. a　12. a　13. b　14. a　15. b

L58：1. かう　2. かえる（帰る）　3. つかう　4. きる（着る）　5. くる　6. やめる
7. かりる　8. いる　9. あう　10. ねる　11. する　12. いう

L59：命令形＝2，3，5，7，10　～(よ)う形＝1，4，6，8，9

L60：1. a　2. a　3. b　4. a　5. a　6. b　7. b　8. a　9. b　10. a

L61：1. ×　2. の　3. の　4. ×　5. ×　6. の　7. の　8. ×　9. ×
10. の　11. の　12. ×　13. の　14. ×　15. こと　16. ×　17. ×　18. こと

L62：1. 女　2. 男　3. 男　4. 女　5. 女　6. 男　7. 男　8. 女
9. 男　10. 女　11. 女　12. 女

L63：○＝2，3，5，7，10，11

L64：1. （とる）　2. （さそう）　3. （こわす）　4. （たのむ）　5. （ことわる）
6. （おこす）　7. （ひく）　8. （ほめる）　9. （ぬすむ）　10. （しょうたいする）
11. （すてる）　12. （わらう）

L65：1. 先生　2. すずき　3. サリー　4. すずき　5. サリー　6. すずき
7. アリ　8. 田中　9. サリー　10. アリ　11. アリ　12. サリー　13. すずき
14. すずき　15. サリー

L66：1. のむ　2. くる　3. いる　4. する（電話する）　5. きく　6. みる
7. あう

L67：1. つける　2. てつだう　3. わたす　4. いれる　5. おくる　6. きく
7. まつ　8. あう　9. もつ　10. でんわする

L68：1. 先生　2. 学生　3. 先生　4. 学生　5. 先生　6. 学生　7. 先生

8．先生　9．先生　10．学生　11．先生　12．学生　13．学生　14．先生
15．先生

L69：1．～かどうか　2．～かどうか　3．～か　4．～か　5．～かどうか
6．～か　7．～かどうか　8．～か　9．～か　10．～か

L70：1．a.（×）b.（○）c.（○）　2．a.（×）b.（×）c.（○）　3．a.（○）b.（×）c.（○）
4．a.（×）b.（○）c.（×）　5．a.（○）b.（×）c.（×）　6．a.（○）b.（×）c.（×）
7．a.（×）b.（○）c.（×）　8．a.（×）b.（○）c.（×）　9．a.（○）b.（×）c.（×）
10．a.（×）b.（×）. c.（○）

L71：伝聞（I hear...）＝2，3，4，6，7，8　様態（It looks like...）＝1，5，9，10

L72：～ですよ＝2，3，6，8，9，11，13
～でしょう＝1，4，5，7，10，12，14

L73：尊敬語（Honorific）＝4，5，7，9，10　受身（Passive）＝1，2，3，6，8

L74：1．つかった・ない　2．のんだ・ある　3．あった・ない　4．いった・ある
5．たべた・ある　6．（みに）いった・ある　7．はたらいた・ない
8．かりた・ない　9．とられた・ある　10．いった・ある

L75：1．a　2．a　3．a　4．b　5．b　6．a　7．b　8．a　9．b　10．b

L76：1．a　2．a　3．a　4．b　5．a　6．a　7．a　8．b　9．a　10．a

L77：1．a　2．b　3．a　4．b　5．b　6．a　7．b　8．a

L78：1．あつく　2．じょうずに　3．りょうりするように　4．げんきに
5．つかえるように　6．きれいに　7．とおれるように　8．ひろく
9．やわらかく　10．わらうように

L79：I．1．のむ（ようにしてください）　2．のんで（ください）
3．よんで（ください）　4．よむ（ようにしてください）　5．やすんで（ください）
6．やすむ（ようにしてください）
II．1．でんわして（ください）　2．でんわする（ようにしてください）
3．れんらくする（ようにしてください）　4．れんらくして（ください）
5．けす（ようにしてください）　6．けして（ください）

L80：1．a　2．a　3．b　4．b　5．b　6．a　7．b　8．a　9．a　10．a

L81：○＝1，4，6，8，10，12，13

L82：1. b　2. b　3. b　4. b　5. b　6. b　7. b　8. b　9. b　10. b
11. a　12. b　13. a　14. b　15. b

L83：1. 女　2. 男　3. 男　4. 女　5. 男　6. 女　7. 女
8. 女　9. 男　10. 女

L84：1. 男　2. 男　3. 女　4. 女　5. 男　6. 男　7. 女
8. 女　9. 男　10. 女　11. 女　12. 男　13. 男　14. 女　15. 女

L85：1. おとした　2. やった　3. つかった　4. よんだ　5. たべる　6. きった
7. いく　8. よむ　9. かう　10. まちがえた　11. やすむ　12. かく

L86：1. a　2. b　3. b　4. b　5. b　6. a　7. b　8. a　9. b　10. a
11. a　12. b　13. a　14. b　15. a　16. b　17. b　18. b　19. a　20. a

L87：1. b　2. b　3. a　4. a　5. b　6. a　7. a　8. b　9. b　10. a
11. b　12. b

L88：I. 1. a. はい　b. はい　c. いいえ　2. a. いいえ　b. はい
c. はい　d. いいえ　3. a. はい　b. いいえ　c. はい　d. いいえ
4. a. いいえ　b. いいえ　c. はい　d. はい
II. 1. a. ×　b. ○　c. ×　2. a. ○　b. ×　c. ×　3. a. ○　b. ×
c. ×

L89：1. c　2. b　3. c　4. a　5. a　6. b　7. b　8. c

L90：I. 1. a　2. b　3. a　4. b　5. b　6. a　7. b　8. b
II. 1. (かえさ)なければなりません　2. (いか)なくてはいけません　3. (はらわ)なきゃなりません　4. (のま)なきゃいけません　5. (そうだんし)なきゃなりません
6. (せんたくし)なくちゃ　7. (よめ)なきゃねえ　8. (おくん)なきゃ

L91：1. かえる　2. べんきょうする　3. あそぶ　4. いれる　5. かく
6. かえす　7. おわらせる　8. できる

L92：1. ○　2. ○　3. ×　4. ○　5. ○　6. ×　7. ×　8. ○

L93：原因 (Cause)＝2，4，6，7，8，10，11，12　目的 (Purpose)＝1，3，5，9

L94：1. b　2. a　3. a　4. a　5. b　6. b　7. b　8. b　9. b　10. b

L95：1. b　2. b　3. b　4. a　5. b　6. b　7. b　8. b　9. b　10. a

L96：1. b　2. a　3. b　4. b　5. b　6. b　7. b　8. b　9. b　10. a

L97：1．B（が）　2．A（は）B（は）　3．A（は）B（は）　4．A（が）B（が）
5．B（は）　6．A（は）B（が）　7．A（は）B（は）　8．A（が）B（は）
9．A（が）B（が）　10．A（が）B（が）　11．B（は）　12．A（は）　13．A（が）

L98：1．女の人　2．男の人　3．男の人　4．女の人　5．女の人　6．男の人
7．女の人　8．男の人　9．男の人　10．男の人

L99：1．男と女　2．男　3．男と女　4．男　5．男　6．男と女　7．男
8．男と女　9．男　10．男

B. 教科書対応表

課	課のタイトル	学習文法項目
第 1 課	中山さんはがくせいです	「～は～です」
第 2 課	中山さんはせんせいじゃありません	「～です」「じゃありません」
第 3 課	サリーさんの国もイギリスです	「～の～」「も」
第 4 課	25、205、250	すうじ
第 5 課	100 円です	ねだん
第 6 課	だれといきますか	「だれ」「どこ」「なに」「いくら」「なんまい」
第 7 課	きのうよみましたか	「～ます」「～ません」「～ました」 「～ませんでした」
第 8 課	四人です	助数詞「～つ」「～人」「～名」「～枚」
第 9 課	ともだちにとけいをあげました	授受動詞(1)「あげる」「もらう」「かす」 「かりる」など
第 10 課	田中さんはきってをかいました	助詞「を」「へ」「に」「で」＋動詞
第 11 課	でんわがあります	「あります」「います」
第 12 課	へやの中に男の子がいます	位置(1)
第 13 課	でんわはかいだんの近くにあります	位置(2)
第 14 課	きく、たべる、くる、する、	動詞の辞書形
第 15 課	かいてください	動詞の「て」形(1)
第 16 課	どうぞたべてください	動詞の「て」形(2)
第 17 課	お金がありませんからかいません	理由の「～から」
第 18 課	あたらしいです	形容詞(1)
第 19 課	日本語はむずかしくないですね	形容詞(2)
第 20 課	うちへ帰ってべんきょうします	継起の「～て」

SFJ	IMJ	しんにほんごのきそ	日本語初歩
1	2，3	1	1
1	2，3	1	1
1	2，3	1	1
2	2	3	6
2	2	3	6
2	4，(5)	3，5，(6)	8
2	4，5	6	8
3	1，7，19	11	5
3	14，20，21	7，14	12，13，14，29
3	5	7	8
4	3	10	3，4
4	3	10	3，4
4	3	10	3，4
5	9	18	12
5	7	14	14
5	7	14	14
4，5	(7)，22	9，(14)	27
6	6	8	6，8，10
6	6	8	6，8，10
6	9	16	13

課	課のタイトル	学習文法項目
第 21 課	へやでお茶をのみました	「で」「に」
第 22 課	何時ですか	時刻
第 23 課	10 時からです	時刻＋「から」「まで」「に」「ごろ」
第 24 課	5 月 3 日	日にち
第 25 課	ちょっと休みたいです	「～たい」「～たくない」
第 26 課	あたまがいたいんです	「～んです」
第 27 課	ここには入らないでください	「～ないでください」
第 28 課	えんぴつで書いてもいいですか	「～てもいい」
第 29 課	すわってもいいですか	「～てもいいですか」 「～ないでください」
第 30 課	あいていますか	状態の「～ている」
第 31 課	しっていますか	「～ている」「まだ～ていない」
第 32 課	車をもっていますか	「～ている」「～ていない」
第 33 課	先生はいつ日本にいらっしゃいましたか	尊敬語(1)　不規則形
第 34 課	先生はすぐいらっしゃいますよ	尊敬語(2)　不規則形
第 35 課	おなかがいたいんです	体の部位
第 36 課	かぜをひいたので病院へ行きます	「～ので」
第 37 課	きょうはおそくなると言っていました	「～と言う」「～って言う」
第 38 課	小さい、高い、しずかな、げんきな	名詞修飾(1)「い」形容詞と「な」形容詞
第 39 課	アメリカのほうが日本より広いです	形容詞の比較
第 40 課	もうお買いになりましたか	尊敬語(3)　規則形「お～になる」 「お～ください」
第 41 課	この家はやねがチョコレートです	「～は～が～」
第 42 課	あした雨がふったらへやで勉強します	「～たら」
第 43 課	むずかしいと思います	「～と思う」

SFJ	IMJ	しんにほんごのきそ	日本語初歩
6	3，4	6，10，13，16	3，4，6，12
7	1	4	9
7	13	4，(16)	9
7	6	5	7
7	15	13，(26)	22
7	12	26	31
8	18	17	14
8	14	15	26
8	14，18	15，17	14，26
8	18	29	18
8	(9)	15，29．31	
8	8，18	15，29，31	16，18
9	15，25，29	49	33
9	15，25，29	49	33
9	12	9，26，39	24
9	8	39	27
9	9，14	21	15
10	6，(15)	8，(13)	5，6
10	11，(26)	12，(16，21)	25
10	19	49	33
10		16	24
11	20	25	32
11	9	21	19

課	課のタイトル	学習文法項目
第 44 課	右にまがるとありますよ	条件の「～と」と道順
第 45 課	はやく帰ったほうがいいですよ	「～たほうがいい」「～ないほうがいい」
第 46 課	おきてからコーヒーを飲みました	「～てから」「～たあとで」「～るまえに」
第 47 課	何をしていますか	進行の「～ている」
第 48 課	すずきさんがくれました	授受動詞(2)「あげる」「もらう」「くれる」「さしあげる」「いただく」「くださる」
第 49 課	山田さんが行ったきっさてんです	名詞修飾(2)
第 50 課	駅前でバスをおります	助詞＋動詞
第 51 課	田中さんが日本語をおしえてくれました	「～てもらう」「～ていただく」など
第 52 課	サリーさんは漢字が 100 読めます	可能形
第 53 課	作ってくれませんか	依頼の「～てもいいか」「～てくれるか」など
第 54 課	食べてみてください	「～てみる」
第 55 課	ふくしゅうをしておきます	「～てある」「～ておく」
第 56 課	映画を見てきました	「～てくる」「～ていく」
第 57 課	だれが来ましたか	「だれが」「だれか」「だれも」「なにが」「なにか」など
第 58 課	本を読もうと思うんだ	「～(よ)うと思う」
第 59 課	たくさん食べろと言っていました	命令形と「～(よ)う」形
第 60 課	山田さんは田中さんが買った本を読みました	名詞修飾(3)
第 61 課	音楽を聞くのが好きです	「～の」「～こと」
第 62 課	写真をとってほしいんですが	「～たい」「～てほしい」
第 63 課	さいふをとられたんです	受身形(1)
第 64 課	先生にしかられたんだ	受身形(2)

SFJ	IMJ	しんにほんごのきそ	日本語初歩
12	18, (24, 27)	23	26
12	11	32	24
12	22	16, 18, 34	13, (28)
13	8	14	16
13	20	7, 24	29
13	10	22	17
12	24	13, 16, 23	26
14	21	24, 41	29
14	17	27	23
8, 14	14, 21, 22	15, (24), 26, 41	26, 29
15	14	40	20
15	18	30, (32)	18, 32
15	12	43	14
15	5, (3, 9)	37	8
16	13	31	19
15, 16		31, 33	19, 30
(13), 16	10	22	12, 16
16	12	38	22
17			
17	24	37	31
17	24	37	31

課	課のタイトル	学習文法項目
第 65 課	サリーさんは先生に呼ばれました	受身形(3)
第 66 課	田中ともうしますが	謙譲語(1) 不規則形
第 67 課	その荷物お持ちします	謙譲語(2) 規則形「お～します」
第 68 課	本をおかりしました	尊敬語と謙譲語
第 69 課	もう京都へ行ったかどうか聞きました	「～かどうか」「～か」
第 70 課	五百円しかありません	「～しか...ません」
第 71 課	雨がふりそうです	様態と伝聞の「～そうだ」
第 72 課	会議は3時からですよ	「～ですよ」「～でしょう」
第 73 課	先生はもう帰られました	尊敬と受身
第 74 課	あのレストランへ行ったことがありますか	「～したことがある」
第 75 課	日本にくるとき買ったんです	「～とき」
第 76 課	よく読めばわかります	条件の「～ば」
第 77 課	どうしたんですか	「どうしたんですか」「どうするんですか」など
第 78 課	少し話せるようになりました	「～くなる」「～になる」「～ようになる」
第 79 課	まいにち歩くようにしてください	「～ようにしてください」「～てください」
第 80 課	忘れないように書いておきます	目的の「～ように」
第 81 課	お金がなくて買えませんでした	原因・理由の「～て」
第 82 課	子どもにそうじをさせます	使役(1)
第 83 課	ちょっと待たせていただけますか	使役(2)
第 84 課	これ使わせてもらえませんか	依頼の「～してくれるか」「～させてくれるか」など
第 85 課	カメラをこわしてしまったんです	「～てしまう」
第 86 課	いいんじゃない	「～んじゃない」
第 87 課	行くんじゃないかと思います	「～じゃないかと思う」

SFJ	IMJ	しんにほんごのきそ	日本語初歩
17	24	37	31
18	19, 22, 30	50	33
18	22	50	33
10, 18	22, 25	49, 50	33
18	26	40	15, 20
18	28	27	5
17, 19	13, 16	43, 47	20, 21
19	(5, 7)	21	10
17, 19	24	37, 49	31, 33
20	15	19	25
20		23	15
20	14, (22)	35, (40)	32
9	12	9, 26	(31)
21	30	19, 36	23
21	29	36	
21		36	
21	12, (17)	39	13, (23)
22	23	48	30
22	23	48	30
(7, 8), 14, 17, 22	21, 22, 23	26, 41, 48	29, 30
22	16	29	20
22	30		28
22	30		28

課	課のタイトル	学習文法項目
第 88 課	写真をとられました	使役と受身
第 89 課	シャワーをあびに行くところなんだ	「〜ところだ」
第 90 課	レポートを書かなければなりません	「〜なければならない」「〜なきゃ」など
第 91 課	これから出かけなきゃならないんです」	「〜なきゃならない」など
第 92 課	レポートは書かなくてもいいでしょうか	「〜なければならない」「〜なくてもいい」
第 93 課	日本語を勉強するために来ました	原因と目的の「〜ため(に)」
第 94 課	引っこしなのにまだかたづけていません	「〜(な)ので」「〜(な)のに」
第 95 課	雨がふったら中止ですか	「〜たら」「〜ても」
第 96 課	読むならかしてあげる	「〜なら」「〜たら」
第 97 課	田中さんが入れたんですよ	「は」「が」
第 98 課	1時間も待たされたんだ	使役と使役受身
第 99 課	駅まで送りましょうか	「〜ましょうか」「〜ませんか」など

*注　(　)：未習の関連項目が含まれているので、(　)の課以降に練習することをすすめます。

SFJ	IMJ	しんにほんごのきそ	日本語初歩
22	23, 24	37, 48	30, 31
23	21	46	
23	20, 23	17	26
23	20, 23	17	26
20, 23	20, 23	17	26
23	28	42	30
9, 24	8, 25	39, 45	27
11, 24	20	25, (27, 31, 35)	32
11, 24	17, 20, 27	25, (26, 36)	32
(19)	(22)	(30)	(34)
	23, 24	48	30
3, (13), 18	7, 17	6, 14	26 (一部)

筑波ランゲージグループ著『Situational Functional Japanese Vol. 1〜3』1992〜1995、凡人社
水谷修・水谷信子著『An Introduction to Modern Japanese』1977、ジャパンタイムス
海外技術者研修協会編『新日本語の基礎Ⅰ・Ⅱ』1990、93、スリーエーネットワーク
国際交流基金『日本語初歩』1981、凡人社

あ と が き

この教材で一番多くを学んだのは制作者自身かもしれません。制作の過程では、時に激論もあり、聞きとりの認知のプロセスに、あらたに気づかされたり、日本語の文法現象に気づかされたりする場合も多々ありました。新しい試みの教材ですので、改善しなければならない点も多いかもしれません。使用してくださった皆様からの率直な御意見、御批判を期待いたしております。

最後に、試作版作成のときに協力してくださったり、試用して意見をくださった筑波大学留学生センターの先生、留学生の皆様に感謝いたします。また、凡人社の今美津子さん、イラストレーターの酒井弘美さん、ありがとうございました。

著者一同

著者紹介

小林　典子（こばやし　のりこ）
1987年　筑波大学大学院修士課程地域研究研究科、修了。
現在、筑波大学留学生センター　助教授。

フォード丹羽　順子（ふぉーどにわ　じゅんこ）
1987年　筑波大学大学院修士課程地域研究研究科、修了。
現在、城西国際大学人文学部　専任講師。

高橋　純子（たかはし　じゅんこ）
1991年　国際基督教大学大学院教育学研究科博士前期課程
教育方法学（視聴覚教育法）専攻、修了。
現在、筑波大学留学生センター　非常勤講師。

藤本　　泉（ふじもと　いずみ）（梅田　泉）
1992年　国際基督教大学大学院教育学研究科博士前期課程
教育方法学（視聴覚教育法）専攻、修了。
現在、熊本大学留学生センター　専任講師。

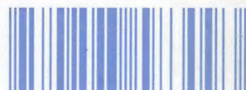
三宅　和子（みやけ　かずこ）
1992年　筑波大学大学院修士課程地域研究研究科、修了。
現在、東洋大学短期大学日本文学科　助教授。

わくわく　文法リスニング　99　指導の手引

1995年6月30日　初版第1刷　発行
1999年4月10日　初版第2刷　発行
著　者　小林典子・フォード丹羽順子・高橋純子・藤本泉・三宅和子
発　行　株式会社　凡　人　社　〒102-0093　東京都千代田区平河町1-3-13
菱進平河町ビル1階
Tel 03-3263-3959

©1995 KOBAYASHI, Noriko, FORD-NIWA, Junko, TAKAHASHI, Junko, FUJIMOTO, Izumi and MIYAKE, Kazuko

ISBN 4-89358-309-3









にほんごの
BONJINSHA 凡人社

定価 本体2,600円＋税 ISBN4-89358-309-3 C3081